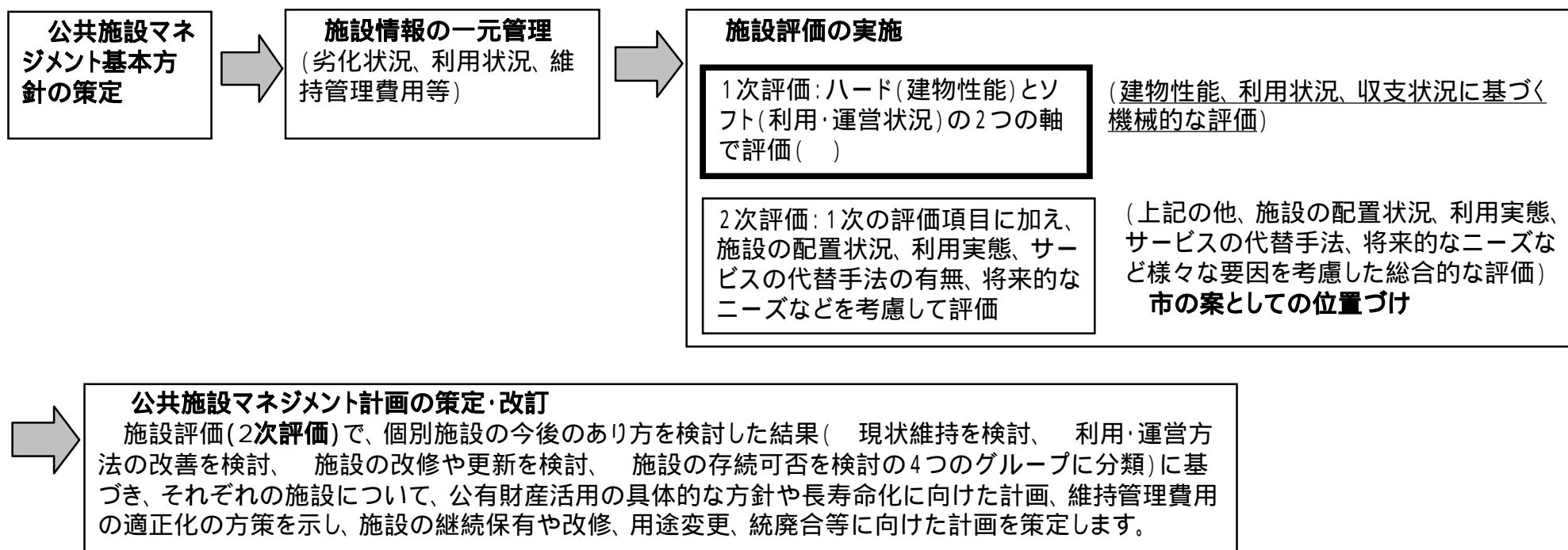

尼崎市における公共施設の現況分析(1次評価) について

平成26年11月

公共施設マネジメントを推進する取組(プロセス)

目標 「本市の公共施設の保有量を今後35年間で30%以上削減する。」

基本方針 圧縮と再編:施設の圧縮と再編を図り、「量の最適化」を目指します。
予防保全による長寿命化:これまでの事後保全から予防保全へと転換し、施設の質の向上と長寿命化を図り、「質の最適化」を目指します。
効率的・効果的な運営:管理運営にかかるコスト削減やサービスの質の向上につながる事業手法等を検討します。



この資料(1次評価)は、今後行う2次評価やマネジメント計画の策定において、市の案を検討する際の資料として活用するものである。

公共施設の現況

公共施設保有状況と用途分類について

本市では、評価対象として304施設、124.5万㎡(1)を保有し全建物の平均築年数は約33.4年(2)となっている。昭和45年頃をピークに、昭和40年代、50年代に建てられた施設、また阪神淡路大震災後の平成7年頃に建てられた施設が多く、これらの施設を建替えを迎える時期が集中し、同一時期に多額の費用が発生するものと想定される。

本市が有する公共施設について、施設の用途(利用目的)に基づいて21種類に区分し(カテゴリ)、各カテゴリごとに評価した(施設評価。どのカテゴリにも属さないものは、その他の施設とし、現況を示すデータの作成のみ。)

- 1 データは平成25年度末時点で過去3年間のものを活用
- 2 尼崎市全施設の平均築年数は、全施設について棟ごとの面積加重平均値として算出した

表 施設用途分類

分類(評価カテゴリ)	施設	延べ面積(㎡)	施設例
1 庁舎等施設・事務所	5	45,136.99	中央支所、市政情報センター等
2 集会場	12	14,998.41	総合センター、地区会館等
3 福祉会館等	29	5,734.92	
4 高齢者施設	9	6,830.96	総合老人福祉センター等
5 障害者施設	6	3,703.51	身体障害者福祉センター等
6 保育所・障害児施設	9	6,082.49	保育所、あこや学園、たじかの園
7 その他保育施設	2	306.32	子育て支援事業モデル施設、つどいの広場
8 児童ホーム・こどもクラブ	22	2,562.03	
9 青少年施設	2	3,512.06	青少年センター、いこいの家
10 産業振興施設	2	1,768.94	ものづくりセンター等
11 市営住宅等施設	102	609,246.39	
12 公園施設	5	3,247.95	緑の相談所、芦原公園、魚釣り公園等
13 消防施設	9	10,706.79	
14 幼稚園	13	8,499.00	
15 小学校	37	276,452.00	
16 中学校	15	124,521.00	
17 高等学校	3	62,753.00	尼崎高、双星高、琴ノ浦高
18 教育系研修施設	2	11,156.50	教育総合センター、自然の家
19 図書館	2	7,792.17	中央図書館、北図書館
20 公民館	4	6,621.94	
21 体育施設	9	27,095.64	記念公園総合体育館、各地区体育館等
22 その他	5	6,849.66	女性・勤労婦人センター、健康の家、弥生ヶ丘斎場、整備工場、田能資料館
	304	1,245,578.67	

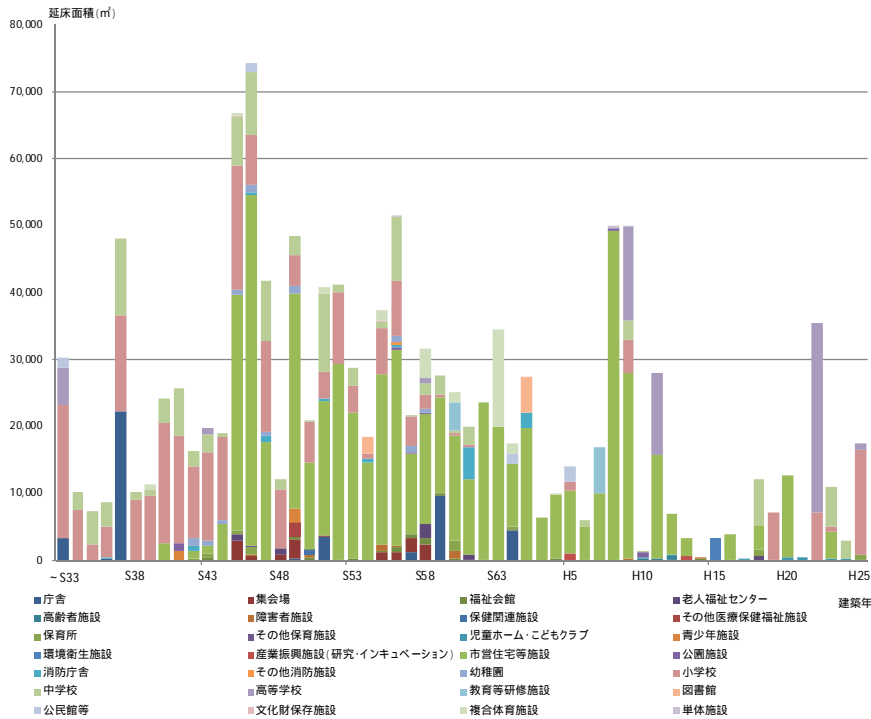


図 用途別施設整備状況(面積)

現況分析について

施設評価、施設カルテの作成に必要な情報を収集

- 既存情報、アンケート調査、現地調査をもとにデータベースを構築する。
- 収集された情報はシステムに一元化するとともに、施設評価および施設カルテに活用する。

1. 管理データの明確化

1) データ項目の設定

収集データの設定・整理

2. データの調査・整備及び一元管理

1) 既存情報の収集・分析

2) 品質状況調査

アンケート調査
現地調査

3) 運営・利用状況等調査

アンケート調査

4) 収支状況調査

アンケート調査

5) データの一元化

3. 施設評価

1) 施設カルテの作成

2) 施設評価

施設評価

1. 本市が保有する公共施設について、以下の2軸により現況を評価する。
 - 「品質状況(ハード)」(旧耐震・新耐震の区分、築年数、耐震対応、現地調査)
 - 「供給・財務状況(ソフト)」(利用状況、収支状況)
2. 、 の2軸において、各施設が属する象限により、今後の方向性を明らかにする。
3. 各公共施設を用途ごとに分類し、この分類ごとに評価を行う。

施設評価

施設評価のプロセス

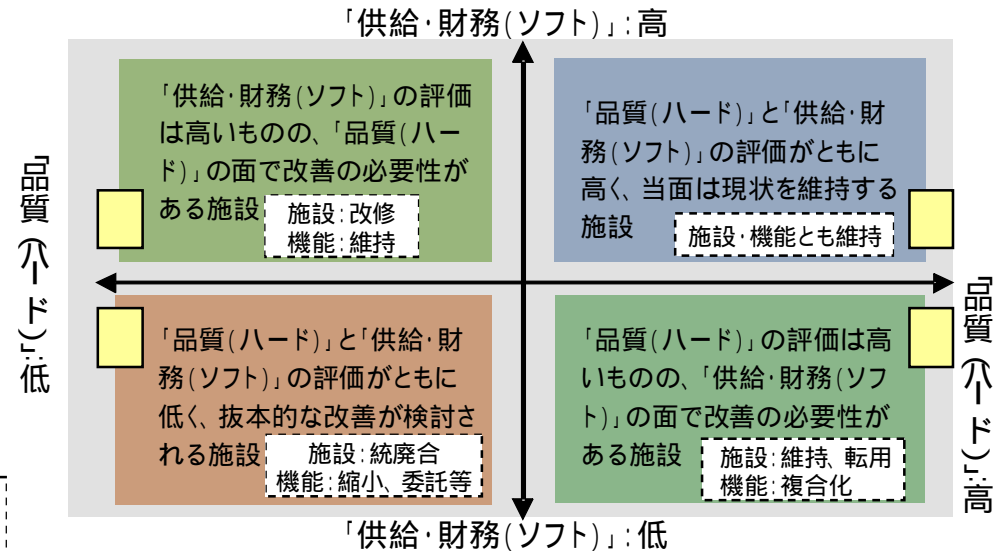
- 1) 同一用途内の全施設を、新耐震基準でつくられている施設、旧耐震基準でつくられている施設に分類する。
- 2) 施設用途ごとに適切な評価指標を設定し、各指標の偏差値を算出した上で、品質(ハード)、供給・財務(ソフト)それぞれの平均偏差値を算出する。
- 3) 評価結果を示す。
 こうしたプロセスを経て、品質(ハード)、供給・財務(ソフト)それぞれの評価結果が偏差値として算出され、新耐震の施設群、旧耐震の施設群内それぞれで、各施設の位置を示し、今後の施設の方向性を明らかにする。

1) 旧耐震基準の施設と新耐震基準の施設に分類 1

2) 適切な評価指標を設定し、偏差値を算出 2

施設名称	品質(ハード)偏差値				供給・財務(ソフト)偏差値				
	築年数	耐震対応率	現地調査	総合評価	利用率・利用率	利用者一人あたり面積	面積あたり市負担額	原価率	総合評価
A施設	60.0	70.0	55.0	61.7	40.0	50.0	45.0	60.0	48.8
B施設	45.0	55.0	45.0	48.3	700.0	60.0	55.0	55.0	60.0

3) 評価結果を示す

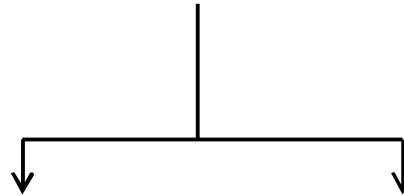


1 旧耐震基準の施設と新耐震基準の施設
 昭和56年6月以前に着工したものを旧耐震基準の施設、それ以降のものを新耐震基準の施設としている。
 旧耐震基準とは中地震(震度5強)でほとんど損傷しないもので、大地震(震度6~7程度)を想定したものではない。
 新耐震基準とは中地震に対して損傷しないことに加え、大地震で人命に係わる倒壊や崩壊などは生じないものとされている。

2 偏差値の算出
 品質(ハード)は各指標とも全施設を母集団として偏差値を算出する。
 施設種別ごとに別途調査を行っている種別(市営等住宅、学校教育施設)があるが、本調査と整合が取れるよう変換する。
 供給・財務(ソフト)は各指標とも、同一用途を母集団として偏差値を算出する。
 施設種別ごとに適切な評価指標を設定し、類似した施設間で、各施設の運営状況が把握できる。

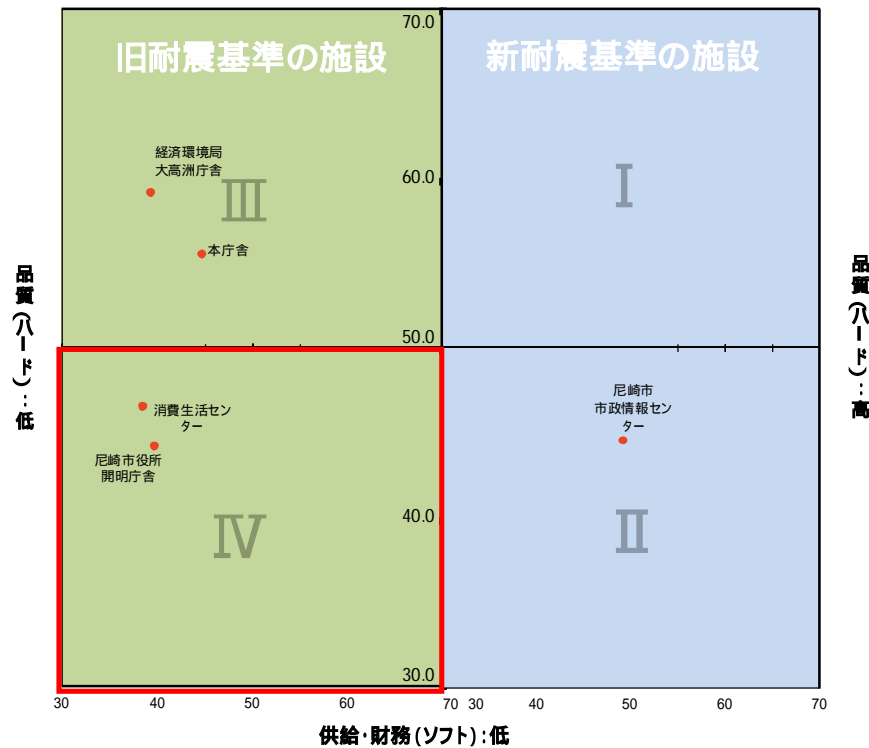
分析のフロー

1. 旧耐震基準の施設と新耐震基準の施設に分類



2. ハード面、ソフト面の評価を用途ごとに偏差値を算出

供給・財務(ソフト):高



3. 「旧耐震基準」かつ「供給・財務(ソフト)が低い」グループ()を優先的に検討を要する施設に

現況分析に用いる指標

評価の視点と評価指標について

- 品質情報は、「建物性能」を把握するものである。さらに、「劣化状況」と「機能状況」に二分し、劣化状況と、機能状況が良好なものを、建物の性能が確保された施設であるとしている。なお、耐震補強を行っていても旧耐震基準の建物は「旧耐震」の分類としている。
- 供給情報は、「利用状況」を把握するものである。利用状況は、今後の施設の方向性を検討するにあたって、重要な資料とする。
- 財務状況は、「収支状況」を把握するものである。より無駄のない、効率的な運用を図っていくため、課題のある施設を抽出するための基礎情報として収集し、同様に施設の方向性を検討するにあたっての重要な資料とする。

評価区分	評価の視点	評価指標 ¹	算定方法	対象用途分類
品質（ハード）	・施設の劣化状況の確認【劣化状況】	築年数	平成26年を基準とした建築年からの経過年数	全施設（棟ごとの面積加重平均値）
	・施設の劣化状況の確認【劣化状況】	現地調査	現地調査の劣化診断ランクの平均点（全部位）	全用途（棟ごとの面積加重平均値）
	・施設の安全性の確認【機能状況】	耐震対応率	全延床面積 / 耐震対応済みの延床面積	全施設（棟ごとの平均値）
供給（ソフト）	・施設の利用状況の確認【利用状況】	利用率・利用度	年間利用コマ数 / 年間利用可能コマ数 ² 1日あたり利用者数 充足率 学級数 年間貸出冊数 / 蔵書数 入居率（入居戸数 / 入居可能戸数） 入居倍率（入居希望戸数 / 入居可能戸数）	集会場、福祉会館等（一部）、青少年施設、教育系研修施設、公民館、体育施設 高齢者施設、その他保育施設、産業振興施設、公園施設 児童ホーム、保育所・障害者児施設、幼稚園、高等学校 小学校、中学校 図書館 市営住宅
		利用者一人あたり面積	延床面積 / 職員数 延床面積 / 1日あたり利用者数 延床面積 / 生徒数（児童数）	庁舎系施設・事務所、消防施設、消防関連施設 集会場、福祉会館等（一部）、高齢者施設、障害者施設、児童ホーム・子どもクラブ、青少年施設、産業振興施設、公園施設、教育系研修施設、公民館、体育施設 小学校、中学校、高等学校
財務（ソフト）	・施設の収支状況の確認【財務状況】	面積あたり市の収支	市の収支 / 占有面積	全施設（福祉会館、市営住宅以外）
		原価率	市の支出（工事請負費除く） - 収入 / 市の支出	全施設（福祉会館、市営住宅以外）

1 利用状況、収支状況は平成23年度～平成25年度の平均値を使用。

2 コマ数：部屋ごとの貸し出し単位。ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸し出し可能な場合は1部屋3コマと計上する。1時間単位での貸し出しの場合、9:00～17:00まで貸し出し可能であれば1部屋8コマと計上する。また、貸出可能な部屋がある施設のみを対象用途とする。

現況分析に用いる指標 - 用途ごとに異なる指標 1

供給指標1. 利用率・利用度(施設がどれだけ利用されているか)

利用用途別分類	評価分類(小分類)	施設数	内容	計算式	主な施設
庁舎系施設・事務所	庁舎	5		利用者(職員)1人あたり面積で評価	本庁舎、尼崎市市政情報センター、美化事業部本館等
集会系施設	集会場	12	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	上ノ島総合センター、水堂総合センター、今北総合センター等
	福祉会館等	29	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	中難波福祉会館、築地福祉会館、額田福祉会館等
高齢者施設	老人福祉センター	5	1日あたり利用者数	のべ利用者数/開館日数	総合老人福祉センター、鶴の巣園、千代木園等
	高齢者施設	4	1日あたり利用者数	のべ利用者数/開館日数	第2老人福祉工場(名神高架下)、第3老人福祉工場、シルバーワークプラザ等
障害者施設	障害者施設	6		利用者1人あたり面積で評価	身体障害者福祉会館、身体障害者福祉センター等
保健関連施設	保健関連施設	1		-	健康の家
医療保健福祉施設	医療保健福祉施設	1		-	女性・勤労婦人センター
保育所・障害児施設	保育所・障害児施設	9	充足率	実人員/定員	北難波保育所、杭瀬保育所、次屋保育所、たじかの園等
その他保育施設	その他保育施設	2	1日あたり利用者数	のべ利用者数/開館日数	子育て支援モデル事業施設、杭瀬保育所2階部分(ついの広場)
児童ホーム・こどもクラブ	児童ホーム・こどもクラブ	22	充足率	実人員/定員	浜田児童ホーム、立花こどもクラブ、立花南児童ホーム等
青少年施設	青少年施設	2	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	青少年センター、青少年いこいの家
衛生施設	環境衛生施設	1		-	弥生ヶ丘斎場
産業振興施設	研究・インキュベーション	2	1日あたり利用者数	のべ利用者数/開館日数	ものづくり支援センター、近畿高エネルギー加工技術研究所
市営住宅	市営住宅	102	入居率	入居戸数/入居可能戸数	上ノ島第1、上ノ島第2、上ノ島第3等
			入居倍率	入居希望戸数/入居可能戸数	
公園施設	公園施設	5	1日あたり利用者数	のべ利用者数/開館日数	上坂部西公園緑の相談所、芦原公園、北雁替公園等
消防施設	消防施設	9		利用者(職員)1人あたり面積で評価	消防本部・中消防署、中消防署三和分署、東消防署等
消防関連施設	消防関連施設	1		-	整備工場
幼稚園	幼稚園	13	充足率	実人員/定員	竹谷幼稚園、長洲幼稚園、大島幼稚園等
小学校	小学校	37	学級数	クラス数で評価	明城小学校、難波小学校、竹谷小学校等
中学校	中学校	15	学級数	クラス数で評価	成良中学校、中央中学校、日新中学校等
高等学校	高等学校	3	充足率	実人員/定員	尼崎高等学校、城内高等学校、尼崎双星高等学校
教育系研修施設	教育系研修施設	2	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	教育総合センター、尼崎市立美方高原自然の家
社会教育施設	図書館	2	稼働率	年間貸出冊数/所蔵冊数	中央図書館、北図書館
	公民館	4	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	園田公民館、大庄公民館、立花公民館等
	文化財保存施設	1		-	田能資料館
体育施設	複合体育施設	6	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	記念公園、本庁体育館屋内プール(サンシビック)、大庄体育館等
	単体施設	3	利用率	部屋の利用コマ数/利用可能コマ数	立花青少年体育道場、園田青少年体育道場、城内青少年体育道場

現況分析に用いる指標 - 用途ごとに異なる指標 2

供給指標2 . 利用者1人あたり面積(施設が効率的に利用されているか)

利用用途別分類	評価分類(小分類)	施設数	類型	計算式	主な施設
庁舎系施設・事務所	庁舎	5	職員型	延床面積/職員数	本庁舎、尼崎市市政情報センター、美化事業部本館等
集会系施設	集会場	12	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	上ノ島総合センター、水堂総合センター、今北総合センター等
	福祉会館等	29	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	中難波福祉会館、築地福祉会館、額田福祉会館等
高齢者施設	老人福祉センター	5	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	総合老人福祉センター、鶴の巣園、千代木園等
	高齢者施設	4	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	第2老人福祉工場(名神高架下)、第3老人福祉工場、シルバーワークプラザ等
障害者施設	障害者施設	6	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	身体障害者福祉会館、身体障害者福祉センター等
保健関連施設	保健関連施設	1		-	健康の家
医療保健福祉施設	医療保健福祉施設	1		-	女性・勤労婦人センター
保育所・障害児施設	保育所・障害児施設	9		充足率で評価	北難波保育所、杭瀬保育所、次屋保育所、たじかの園等
その他保育施設	その他保育施設	2		1日あたり利用者数で評価	子育て支援モデル事業施設、杭瀬保育所2階部分(つどいの広場)
児童ホーム・こどもクラブ	児童ホーム・こどもクラブ	22	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	浜田児童ホーム、立花こどもクラブ、立花南児童ホーム等
青少年施設	青少年施設	2	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	青少年センター、青少年いこいの家
衛生施設	環境衛生施設	1		-	弥生ヶ丘斎場
産業振興施設	研究・インキュベーション	2	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	ものづくり支援センター、近畿高エネルギー加工技術研究所
市営住宅	市営住宅	102		入居率、入居倍率で評価	上ノ島第1、上ノ島第2、上ノ島第3等
公園施設	公園施設	5	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	上坂部西公園緑の相談所、芦原公園、北雁替公園等
消防施設	消防施設	9	職員型	延床面積/職員数	消防本部・中消防署、中消防署三和分署、東消防署等
消防関連施設	消防関連施設	1		-	整備工場
幼稚園	幼稚園	13		充足率で評価	竹谷幼稚園、長洲幼稚園、大島幼稚園等
小学校	小学校	37	生徒型	延床面積/児童数	明城小学校、難波小学校、竹谷小学校等
中学校	中学校	15	生徒型	延床面積/生徒数	成良中学校、中央中学校、日新中学校等
高等学校	高等学校	3	生徒型	延床面積/生徒数	尼崎高等学校、城内高等学校、尼崎双星高等学校
教育系研修施設	教育系研修施設	2	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	教育総合センター
社会教育施設	図書館	2	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	中央図書館、北図書館
	公民館	4	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	園田公民館、大庄公民館、立花公民館等
	文化財保存施設	1		-	田能資料館
体育施設	複合体育施設	6	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	記念公園、本庁体育館屋内プール(サンシビック)、大庄体育館等
	単体施設	3	利用型	延床面積/(年間延利用者数/開館日数)	立花青少年体育道場、園田青少年体育道場、城内青少年体育道場

現況分析の総括

施設評価を行った結果、80施設・325千㎡を優先的に検討を要する施設()として分類した。

	新耐震基準						旧耐震基準						合計	
	施設数	延床面積[m ²]		施設数	延床面積[m ²]		施設数	延床面積[m ²]		施設数	延床面積[m ²]		施設数	延床面積[m ²]
		割合[%]	割合[%]		割合[%]	割合[%]		割合[%]	割合[%]					
庁舎系施設・事務所	0	0.00	0.0	1	4,526.96	10.0	2	36,783.68	81.5	2	3,826.35	8.5	5	45,136.99
集会場	1	1,776.70	11.8	2	2,554.50	17.0	3	5,631.65	37.5	6	5,035.56	33.6	12	14,998.41
福祉会館等	11	1,597.05	27.8	9	1,618.86	28.2	6	1,682.70	29.3	3	836.31	14.6	29	5,734.92
高齢者施設	3	3,043.88	44.6	4	1,950.57	28.6	2	1,836.51	26.9	0	0.00	0.0	9	6,830.96
障害者施設	1	222.00	6.0	2	2,388.53	64.5	3	1,092.98	29.5	0	0.00	0.0	6	3,703.51
保健関連施設	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	712.60	100.0	0	0.00	0.0	1	712.60
医療保健福祉施設	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	2,012.60	100.0	0	0.00	0.0	1	2,012.60
保育所・障害児施設	2	2,323.41	38.2	2	1,341.88	22.1	2	1,219.20	20.0	3	1,198.00	19.7	9	6,082.49
その他保育施設	0	0.00	0.0	1	112.30	36.7	1	194.02	63.3	0	0.00	0.0	2	306.32
児童ホーム・こどもクラブ	13	1,604.13	62.6	7	822.41	32.1	0	0.00	0.0	2	135.49	5.3	22	2,562.03
青少年施設	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	2	3,512.06	100.0	0	0.00	0.0	2	3,512.06
衛生施設	1	3,345.67	100.0	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	3,345.67
産業振興施設	1	655.47	37.1	1	1,113.47	62.9	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	2	1,768.94
市営住宅	23	127,562.41	20.9	31	210,443.08	34.5	24	130,957.65	21.5	24	140,283.25	23.0	102	609,246.39
公園施設	1	295.78	9.1	2	1,144.19	35.2	1	1,386.70	42.7	1	421.28	13.0	5	3,247.95
消防施設	1	4,753.28	44.4	1	2,408.57	22.5	2	517.42	4.8	5	3,027.52	28.3	9	10,706.79
消防関連施設	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	407.40	100.0	0	0.00	0.0	1	407.40
幼稚園	2	1,504.00	17.7	0	0.00	0.0	3	2,167.00	25.5	8	4,828.00	56.8	13	8,499.00
小学校	3	27,185.00	9.8	2	14,156.00	5.1	15	118,805.00	43.0	17	116,306.00	42.1	37	276,452.00
中学校	0	0.00	0.0	4	31,264.00	25.1	7	57,409.00	46.1	4	35,848.00	28.8	15	124,521.00
高等学校	2	55,417.00	88.3	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	7,336.00	11.7	3	62,753.00
教育系研修施設	1	7,014.34	62.9	1	4,142.16	37.1	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	2	11,156.50
図書館	1	5,314.68	68.2	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	2,477.49	31.8	2	7,792.17
公民館	1	2,154.36	32.5	1	1,537.54	23.2	1	1,369.54	20.7	1	1,560.50	23.6	4	6,621.94
文化財保存施設	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0	1	371.39	100.0	0	0.00	0.0	1	371.39
体育施設	3	17,689.36	65.3	3	6,465.16	23.9	1	192.78	0.7	2	2,748.34	10.1	9	27,095.64
合計	71	263,458.52	21.2	74	287,990.18	23.1	79	368,261.88	29.6	80	325,868.09	26.2	304	1,245,578.67

現況分析(庁舎系施設・事務所)

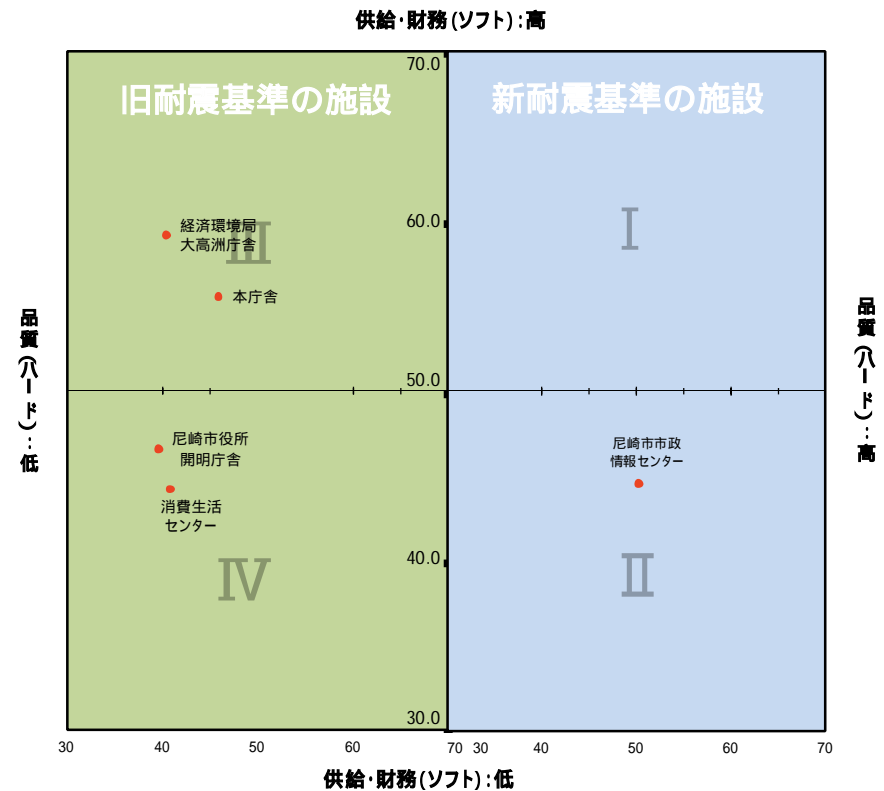
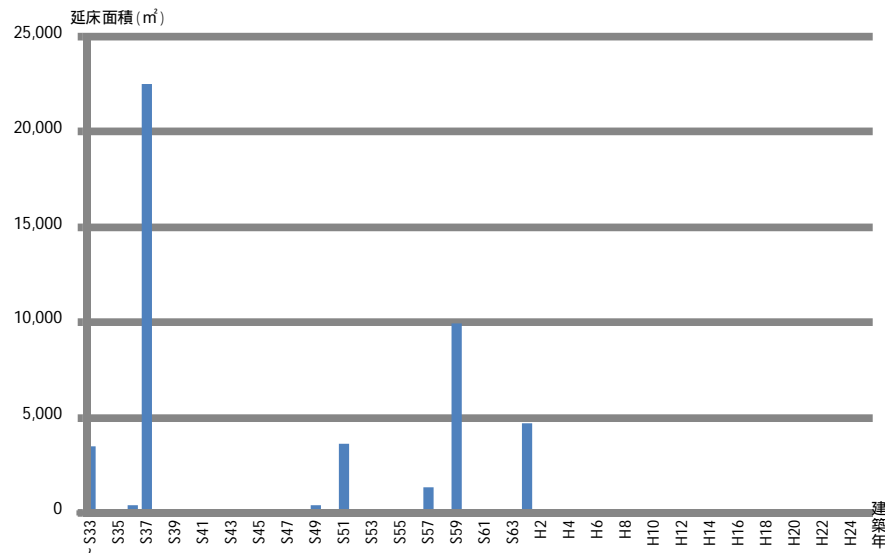
現状の評価

評価対象施設は5、面積は45千㎡で全体の3.6% を占めており、そのうち耐震基準を満たしている施設は53.3%で、安全面で課題のある施設が多くなっている。また、平均築年数は44.8年で、古くなった施設が多く含まれている。

供給面において、市政情報センター及び開明庁舎は、職員一人当たり面積の点で大きくなっているが、職員向け研修事業や保健関連事業を実施しており、活用の実績があるが、一方で開明庁舎においては、3階部分に未利用床が存在している。

財務面では、消費生活センターが面積あたり市の収支で最も数値が高くなっている。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	2	36,783.68	81.5	0	0.00	0.0	
50未満	2	3,826.35	8.5	1	4,526.96	10.0	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
44.8	53.3	2.54

現況分析(庁舎系施設・事務所)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		職員一人あたり面 積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の 収支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
5	尼崎市市政情報センター	4,526.96	25.0	55.2	100.0	56.6	2.83	39.0	50.3	140.01	36.5	19.31	53.0	98.53	44.2	44.6	

旧耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		職員一人あたり面 積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の 収支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
1	本庁舎	33,284.46	44.8	40.2	66.4	48.9	2.30	48.6	45.9	21.77	56.7	7.27	55.6	89.31	54.3	55.5	
98	経済環境局大高洲庁舎	3,499.22	38.0	45.4	0.0	33.6	2.65	42.3	40.4	20.59	56.9	10.51	54.9	78.91	65.7	59.2	
1929	尼崎市役所開明庁舎	3,593.65	76.2	16.5	100.0	56.6	2.46	45.7	39.6	107.81	42.0	12.78	54.4	99.38	43.2	46.5	
2324	消費生活センター	232.70	40.0	43.9	0.0	33.6	2.49	45.0	40.8	15.23	57.8	116.86	32.2	100.00	42.6	44.2	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 延床面積 / 職員数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

人件費を算出する際の職員数は担当職員数、職員一人あたり面積を算出する際の職員数は施設全体の職員数を利用している。

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(集会場)

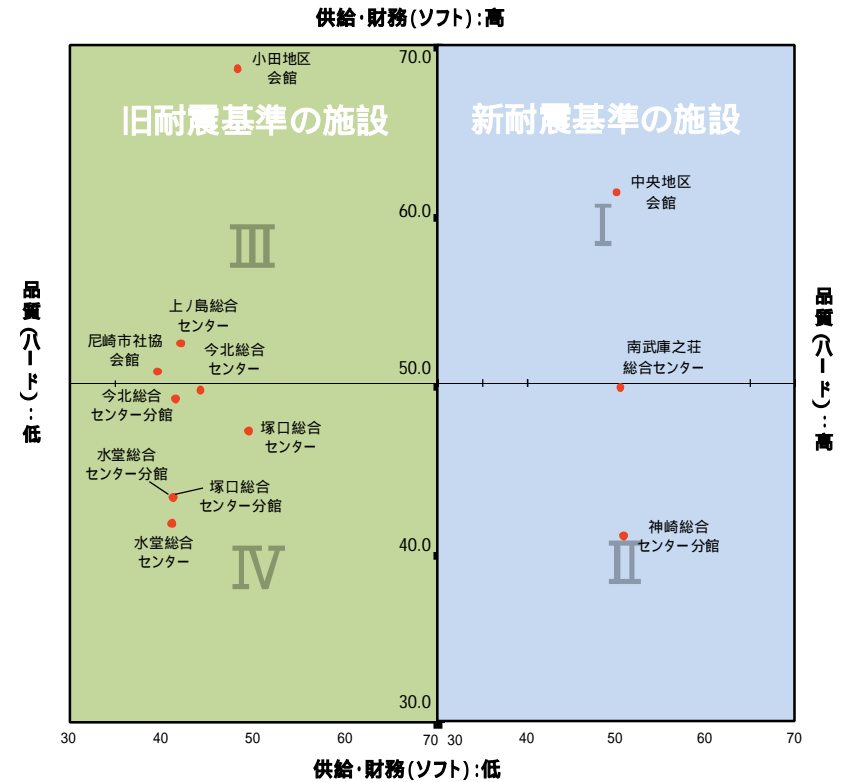
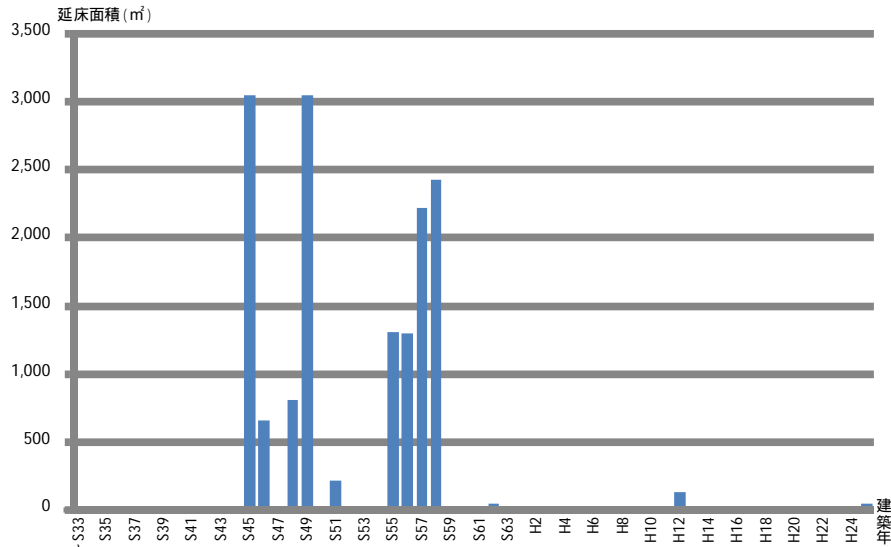
現状の評価

評価対象施設は12、面積は約15千㎡で全体の約1.2%を占めており、そのうち耐震基準を満たしている施設は48.2%で、安全面で課題のある施設が多い。築年数では、平均は35.9年で全体の平均33.4年を上回っている。

利用率では、小田地区会館の48.28%、中央地区会館の34.32%を除き、他の施設は30%を切っている。なお、総合センターについては、6地区18ヶ所あった施設の6館体制への集約化を実施し効率的な利用を図るとともに、平成27年度から指定管理者制度を導入し、より効果的な事業展開を行うことにより、利用者数増加及び施設の利用率の向上に努めることとしている。

財務面は、条例により無料で利用できる施設については、評価指標上高コストという表れ方をしている。なお、総合センターについては既に条例改正を行い、平成27年度から有料化を決定している。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	3	5,631.65	37.5	1	1,776.70	11.8	
50未満	6	5,035.56	33.6	2	2,554.50	17.0	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
35.9	48.2	2.58

現況分析(集会場)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
798	南武庫之荘総合センター	1,952.42	32.0	49.9	100.0	56.6	2.50	45.0	50.5	11.67	43.6	18.31	52.5	28.15	56.6	99.59	46.1	49.7		武庫
889	中央地区会館	1,776.70	31.0	50.7	100.0	56.6	2.61	42.9	50.1	34.32	61.2	6.31	60.0	14.05	61.5	79.20	62.5	61.3		本庁
2095	神崎総合センター分館	602.08	31.0	50.7	100.0	56.6	2.48	45.2	50.8	-	-	46.98	34.8	70.60	42.0	99.59	46.1	41.0		小田

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
793	上ノ島総合センター	1,055.16	38.7	44.8	25.1	39.4	2.65	42.2	42.1	26.98	55.5	4.65	61.0	56.21	47.0	99.70	46.0	52.4		立花
795	水堂総合センター	963.43	39.6	44.2	0.0	33.6	2.46	45.6	41.1	7.91	40.7	52.26	31.5	51.32	48.6	99.80	46.0	41.7		立花
796	今北総合センター	1,362.61	37.6	45.7	53.0	45.8	2.70	41.3	44.3	14.10	45.5	14.72	54.8	41.29	52.1	99.72	46.0	49.6		大庄
797	塚口総合センター	837.71	36.6	46.4	100.0	56.6	2.48	45.4	49.5	10.63	42.8	13.99	55.2	62.86	44.7	99.78	46.0	47.2		立花
890	小田地区会館	1,548.65	39.4	44.3	100.0	56.6	2.56	43.9	48.3	48.28	72.0	4.56	61.1	8.77	63.3	59.99	77.9	68.6		小田
1717	尼崎市社協会館	3,027.84	44.0	40.9	0.0	33.6	2.54	44.2	39.6	15.07	46.3	30.23	45.2	2.21	65.5	100.00	45.8	50.7		本庁
2222	塚口総合センター分館	483.71	34.0	48.4	0.0	33.6	2.67	41.8	41.3	5.53	38.9	15.89	54.0	93.15	34.3	100.00	45.8	43.2		立花
2225	今北総合センター分館	804.22	34.0	48.4	0.0	33.6	2.63	42.6	41.5	26.11	54.8	23.36	49.4	58.13	46.3	99.99	45.8	49.1		大庄
2117	水堂総合センター分館	583.88	33.0	49.2	0.0	33.6	2.71	41.1	41.3	17.97	48.5	37.56	40.6	81.59	38.2	100.00	45.8	43.3		立花

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(福祉会館等)

現状の評価

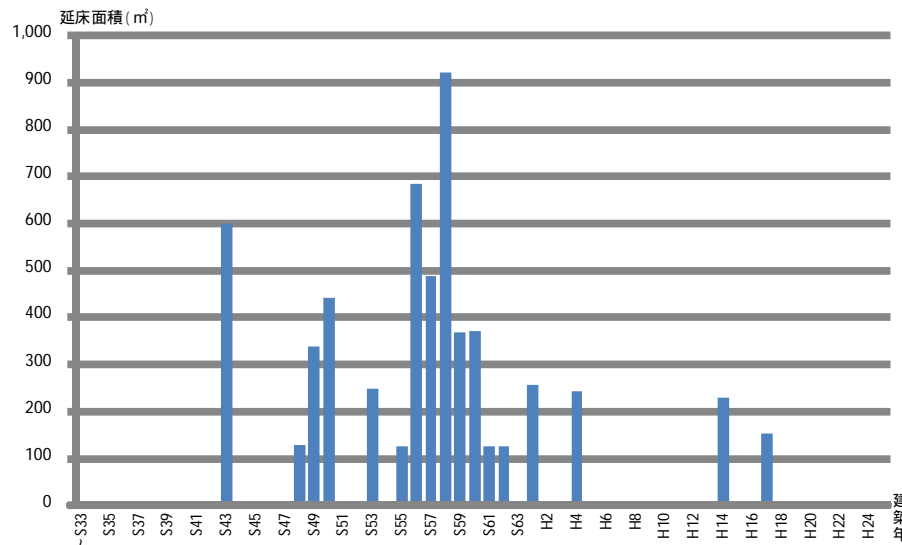
評価対象施設は29、面積は約6千㎡で、全体の0.5% を占めている。旧耐震基準は9施設、新耐震基準は20施設で、平均耐震対応率は7割を超え、安全面で課題のある施設は少なくなっている。築年数では、平均値は30.7年で全体の平均値33.4年を下回っている。

供給面では、他のカテゴリの施設と比較して相対的に利用率は低くなっており、また、1%から48%と各施設でばらつきが生じている。

財務面では、各施設の運営は地域での自主運営となっており、基本的には市が経費負担を伴うことのない運営を行っている。

旧耐震基準の施設のうち、善法寺会館は耐震が未対応で、利用率が8%程度であること、旧上坂部幼稚園は耐震が未対応で、利用者一人当面積が大きいこと、長溝会館は利用率が17%台であることから、相対的な評価が低くなっている。

延床面積で算出。

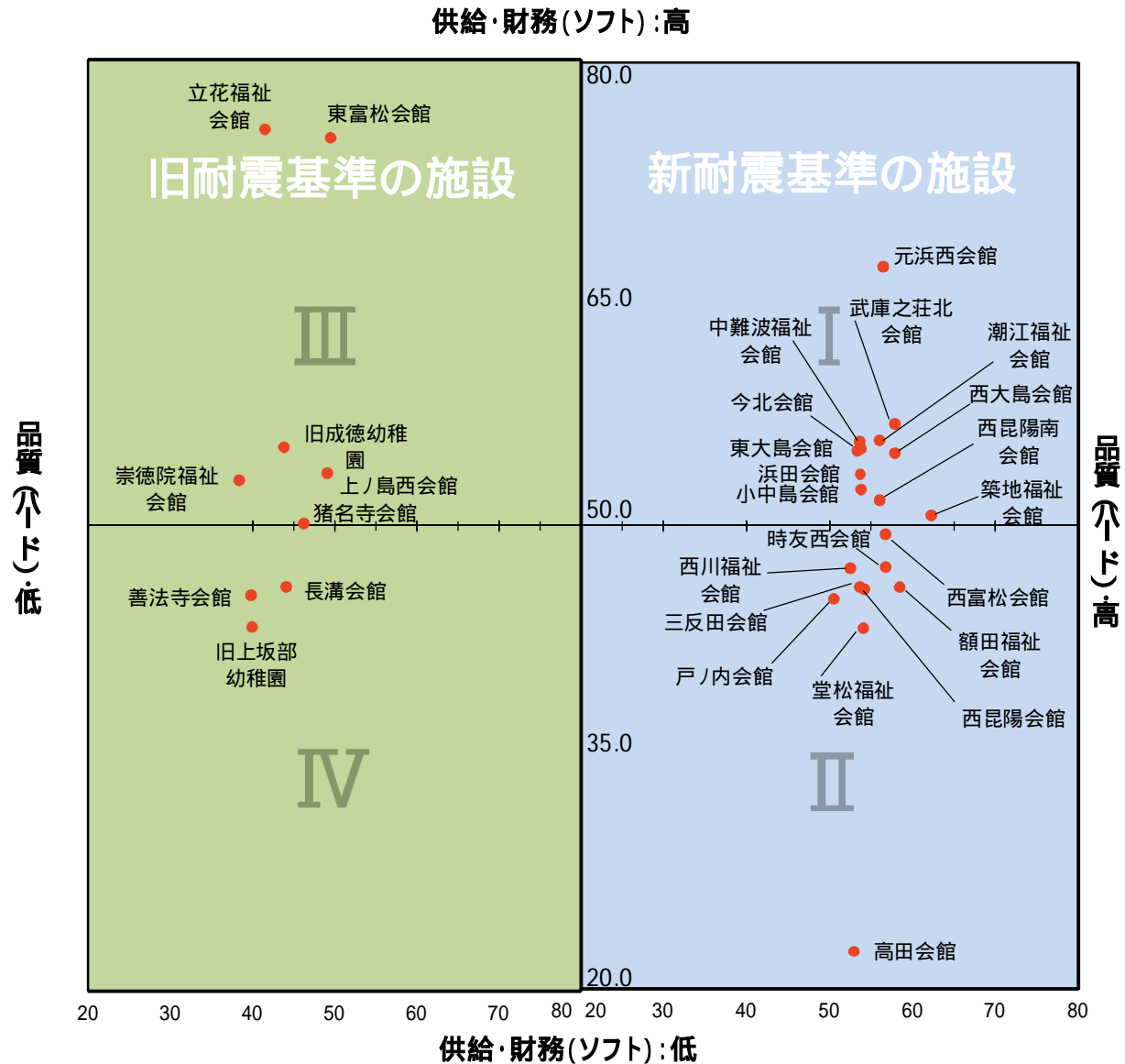


評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

	施設数	旧耐震		新耐震			
		延床面積		施設数	延床面積		
		面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]	
ソフト	50以上	6	1,682.70	29.3	11	1,597.05	27.8
	50未満	3	836.31	14.6	9	1,618.86	28.2

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
30.7	69.0	1.97

現況分析(福祉会館等)



現況分析(福祉会館等)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値		
1138	中難波福祉会館	250.26	25.0	55.2	100.0	56.6	2.27	49.2	53.7	-	-	2.42	55.5	55.5	
1139	築地福祉会館	145.74	9.0	67.3	100.0	56.6	1.50	63.2	62.3	-	-	13.73	50.7	50.7	
1147	額田福祉会館	222.27	12.0	65.0	100.0	56.6	2.00	54.0	58.5	5.6	39.5	9.33	52.5	46.0	
1166	堂松福祉会館	151.22	31.0	50.7	100.0	56.6	1.93	55.2	54.2	11.5	43.3	-	-	43.3	
1195	西川福祉会館	120.25	28.0	52.9	100.0	56.6	2.32	48.2	52.6	10.5	42.7	11.16	51.8	47.2	
1682	高田会館	120.00	32.0	49.9	100.0	56.6	2.08	52.6	53.0	1.3	36.7	114.17	8.1	22.4	
1683	三反田会館	120.73	32.0	49.9	100.0	56.6	1.96	54.7	53.8	15.7	46.0	-	-	46.0	
1684	西富松会館	120.50	32.0	49.9	100.0	56.6	1.46	63.9	56.8	15.6	46.0	8.42	52.9	49.4	
1685	小中島会館	120.00	32.0	49.9	100.0	56.6	1.94	55.2	53.9	-	-	9.76	52.3	52.3	
1686	浜田会館	120.26	31.0	50.7	100.0	56.6	2.00	54.0	53.8	-	-	7.41	53.3	53.3	
1687	東大島会館	120.77	31.0	50.7	100.0	56.6	2.06	53.0	53.4	-	-	3.82	54.9	54.9	
1689	元浜西会館	120.54	30.0	51.4	100.0	56.6	1.59	61.6	56.5	47.6	66.7	-	-	66.7	
1690	今北会館	121.88	29.0	52.2	100.0	56.6	2.07	52.8	53.8	-	-	3.57	55.0	55.0	
1691	西大島会館	120.39	29.0	52.2	100.0	56.6	1.40	65.0	57.9	-	-	4.19	54.7	54.7	
1693	武庫之荘北会館	120.26	27.0	53.7	100.0	56.6	1.49	63.4	57.9	34.5	58.2	3.64	54.9	56.6	
1702	戸ノ内会館	522.66	31.0	50.7	100.0	56.6	2.53	44.3	50.5	-	-	26.57	45.2	45.2	
2364	西昆陽会館	120.25	30.0	51.4	100.0	56.6	1.96	54.7	54.3	8.0	41.0	13.62	50.7	45.9	
2365	西昆陽南会館	121.48	30.0	51.4	100.0	56.6	1.66	60.3	56.1	18.8	48.0	3.01	55.2	51.6	
2366	時友西会館	120.98	29.0	52.2	100.0	56.6	1.58	61.8	56.8	10.3	42.5	10.28	52.1	47.3	
1146	潮江福祉会館	235.47	22.0	57.5	100.0	56.6	2.00	54.0	56.0	39.3	61.3	15.94	49.7	55.5	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値		
1156	崇徳院福祉会館	331.78	40.0	43.9	0.0	33.6	2.90	37.6	38.4	-	-	10.70	51.9	51.9	
1167	立花福祉会館	433.92	39.0	44.6	0.0	33.6	2.43	46.3	41.5	48.1	67.0	-	-	67.0	
1677	善法寺会館	121.48	41.0	43.1	0.0	33.6	2.62	42.8	39.9	8.3	41.2	8.72	52.8	47.0	
1678	東富松会館	120.25	36.0	46.9	0.0	33.6	1.23	68.0	49.5	47.5	66.6	-	-	66.6	
1679	上ノ島西会館	120.25	36.0	46.9	0.0	33.6	1.30	66.9	49.1	25.3	52.2	-	-	52.2	
1680	猪名寺会館	120.00	34.0	48.4	0.0	33.6	1.84	56.9	46.3	-	-	15.08	50.1	50.1	
1198	旧上坂部幼稚園	594.58	46.0	39.3	0.0	33.6	2.39	46.9	40.0	-	-	25.62	45.6	45.6	
1171	旧成徳幼稚園	556.50	33.0	49.2	0.0	33.6	2.28	48.9	43.9	27.0	53.4	-	-	53.4	
1681	長溝会館	120.25	33.0	49.2	0.0	33.6	2.24	49.7	44.2	17.8	47.4	-	-	47.4	

福祉会館は自主財源のため、ソフト評価に財務指標は含めていない。

ただし、「支出」は突発的に発生する
「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(高齢者施設)

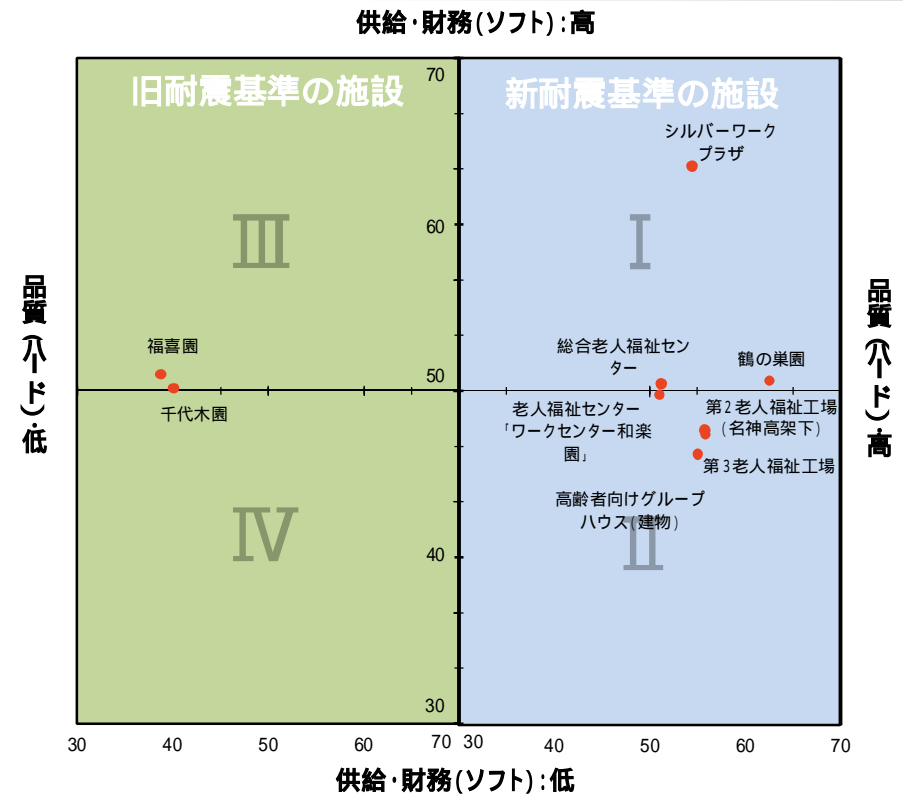
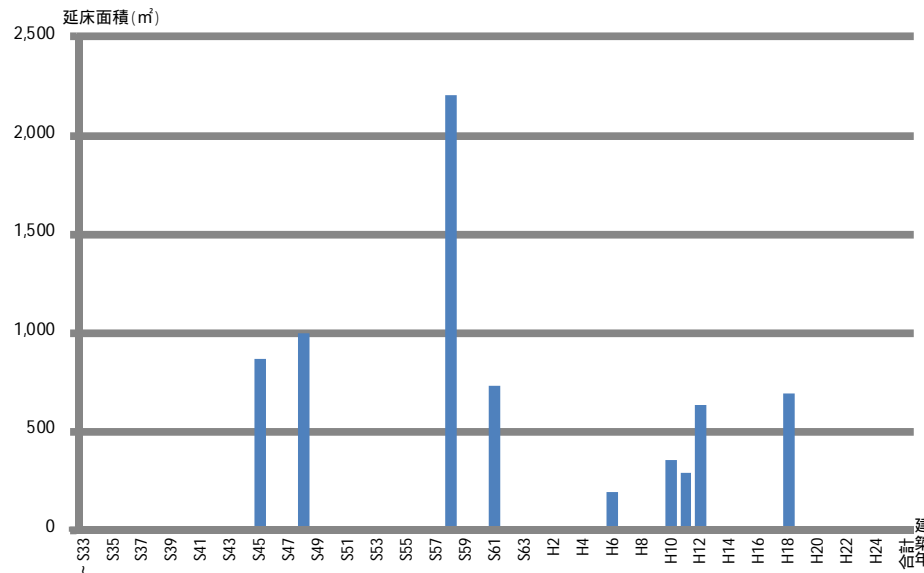
現状の評価

評価対象施設は9、6.8千㎡で面積は全体の0.55% を占めている。そのうち2が旧耐震基準、7が新耐震基準の施設で、平均築年数は24.1年で平均値を下回り、耐震化率も70%を超えており、安全面で課題のある施設は比較的少ない。

供給面では、カテゴリ内で利用状況における差は少ない。

旧耐震基準の施設である、千代木園は築年数が44年、福喜園は41年で、いずれも耐震対応率が0%で品質面で課題がある。

延床面積で算出。



		供給・財務(ソフト):低					
		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
面積[m²]	割合[%]		面積[m²]	割合[%]			
ソフト	50以上	2	1,836.51	26.9	3	3,043.88	44.6
	50未満	0	0.00	0.0	4	1,950.57	28.6

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
24.1	77.8	2.35

現況分析(高齢者施設)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(1日あたり利用者数)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
810	総合老人福祉センター	2,188.15	31.0	50.7	100.0	56.6	2.42	46.5	51.2	186.69	50.6	11.72	51.3	24.97	54.4	99.87	46.2	50.7	
812	鶴の巣園	677.32	8.0	68.0	100.0	56.6	1.50	63.2	62.6	340.57	61.4	1.99	58.5	68.42	37.6	100.00	46.1	50.9	
825	老人福祉センター「ワークセンター和楽園」	717.64	28.0	52.9	100.0	56.6	2.57	43.7	51.1	259.52	55.7	2.77	57.9	65.10	38.9	100.00	46.1	49.7	
823	第2老人福祉工場(名神高架下)	272.67	15.0	62.7	100.0	56.6	2.32	48.3	55.9	11.47	38.4	23.77	42.5	17.45	57.3	100.00	46.1	46.1	
824	第3老人福祉工場	340.67	16.0	62.0	100.0	56.6	2.29	48.8	55.8	14.72	38.7	23.14	43.0	15.25	58.2	100.00	46.1	46.5	
1132	シルバーワークプラザ	178.41	20.0	59.0	100.0	56.6	2.33	48.0	54.5	-	-	-	-	0.00	64.1	0.00	76.4	70.2	
1626	高齢者向けグループハウス(建物)	619.59	14.0	63.5	100.0	56.6	2.49	45.1	55.1	16.00	38.8	38.72	31.5	19.97	56.4	85.20	50.6	44.3	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(1日あたり利用者数)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
814	千代木園	854.48	44.0	40.9	0.0	33.6	2.45	45.9	40.1	256.40	55.5	3.33	57.5	57.57	41.8	100.00	46.1	50.2	
817	福喜園	982.03	41.0	43.1	0.0	33.6	2.79	39.6	38.8	333.83	60.9	2.94	57.8	59.27	41.2	100.00	46.1	51.5	

評価指標
 品質：築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給：1日あたり利用者数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務：収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(障害者施設)

現状の評価

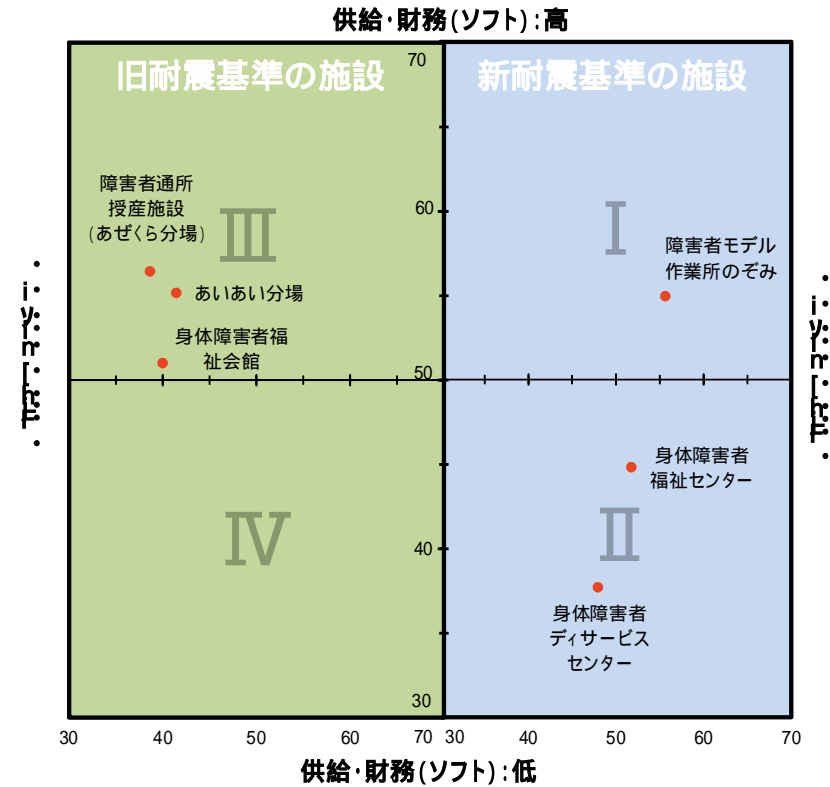
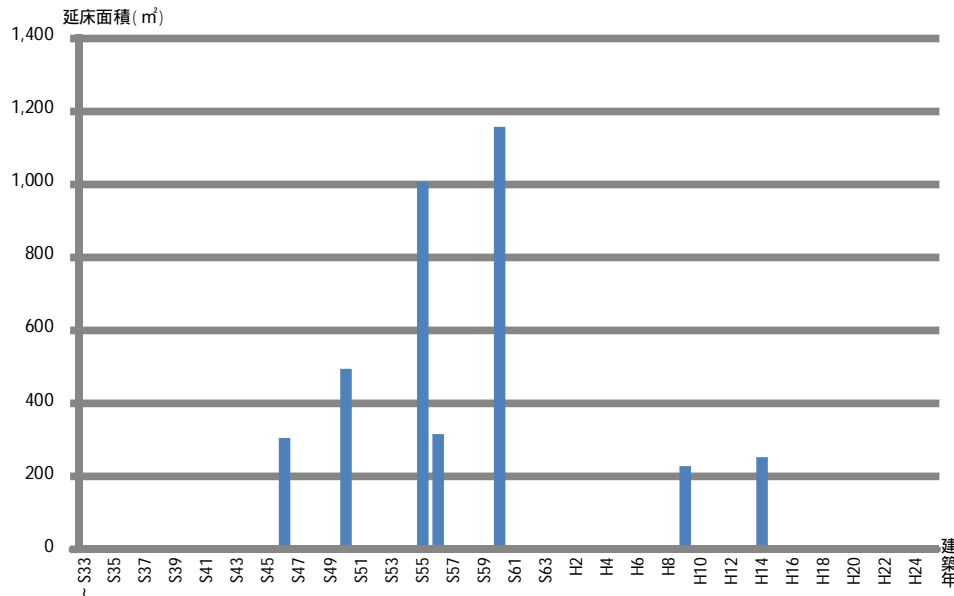
評価対象は6、面積は3.7千㎡で全体の0.3% を占めている。そのうち3が旧耐震基準、3が新耐震基準の施設で、平均築年数は31.8年となっているが、耐震対応率(延床面積で算出)は36.6%となっている。

供給面では、利用者一人あたり面積において、身体障害者サービスセンターが38㎡/人に対して、身体障害者福祉センターが9.88㎡/人と大きな開きがある。

財務面では、全施設ともに原価率がほぼ100%となっている。

グループに属する施設はないが、面積当たり市の収支の値が高く、原価率が約100%の身体障害者福祉センター、身体障害者サービスセンターは運営面での改善を図る必要がある

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	3	1,092.98	29.5	1	222.00	6.0	
50未満	0	0.00	0.0	2	2,388.53	64.5	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
31.8	36.6	2.46

現況分析(障害者施設)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用者一人あた り面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
808	身体障害者福祉センター	1,149.03	29.0	52.2	100.0	56.6	2.41	46.6	51.8	9.88	59.1	70.27	34.4	99.99	40.9	44.8	
826	身体障害者サービスセンター	1,239.50	29.7	51.7	19.7	38.2	2.00	54.0	48.0	38.00	31.7	51.38	40.5	99.97	40.9	37.7	
1216	障害者モデル作業所のぞみ	222.00	17.0	61.2	100.0	56.6	2.27	49.1	55.7	20.78	48.5	0.00	57.1	0.00	59.1	54.9	

旧耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用者一人あた り面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
1231	あいあい分場	307.93	33.0	49.2	0.0	33.6	2.68	41.6	41.5	20.03	49.2	0.00	57.1	0.00	59.1	55.2	
805	身体障害者福祉会館	487.76	39.0	44.6	0.0	33.6	2.68	41.7	40.0	10.69	58.4	10.37	53.8	99.97	40.9	51.0	
1225	障害者通所授産施設(あぜくら分場)	297.29	43.0	41.6	0.0	33.6	2.73	40.7	38.7	16.12	53.1	0.00	57.1	0.00	59.1	56.4	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 1日あたり利用者数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(保育所・障害児施設)

現状の評価

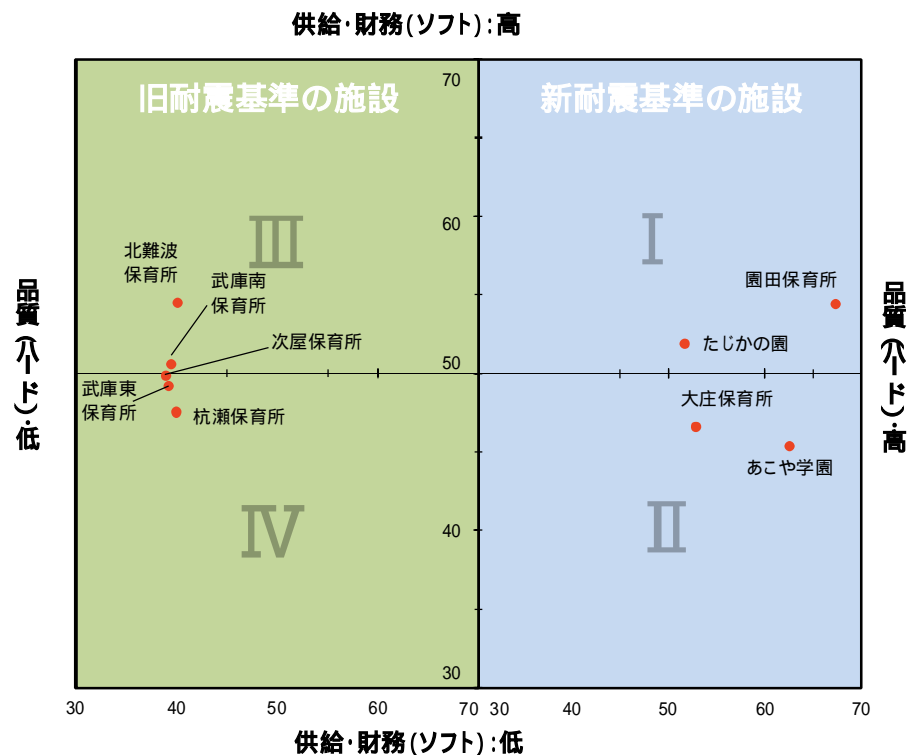
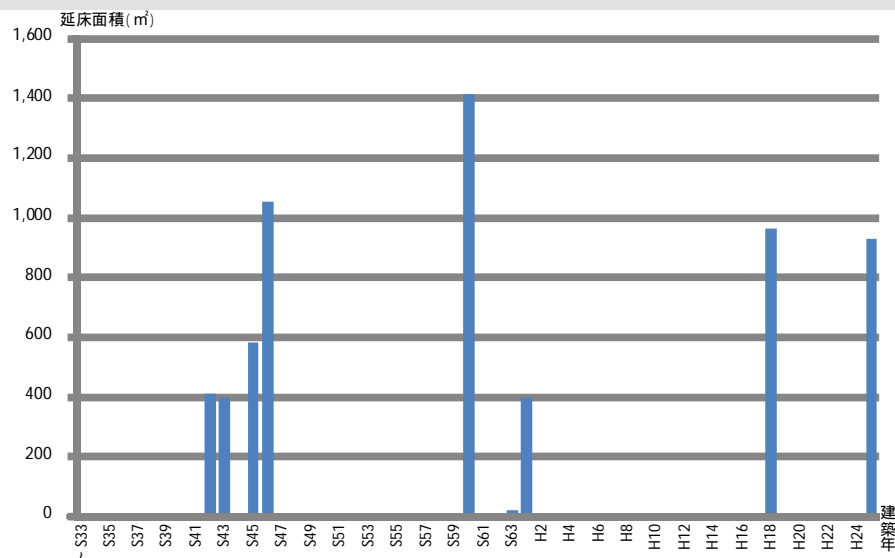
評価対象施設は9、面積は6千㎡で全体の0.49%を占めている。そのうち5が旧耐震基準、4が新耐震基準の施設であり、平均築年数が31.7年、耐震対応率も5割に満たず、安全面で課題のある施設が多くなっている。

供給面では、たじかの園を除き充足率が90～100%弱となっており、利用度は高い。

財務面では、面積あたり市の収支において、他の用途の施設と比較して数値が総じて高く、高コストとなっている。

今回対象としなかった保育所は現在、保育環境の改善を図りながら、民間事業者に運営を委ねる民間移管を進めている。

延床面積で算出。



	ソフト	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	2	1,219.20	20.0	2	2,323.41	38.2	
50未満	3	1,198.00	19.7	2	1,341.88	22.1	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
31.7	44.8	2.21

現況分析(保育所・障害児施設)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給		財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
843	大庄保育所	389.26	25.0	55.2	100.0	56.6	2.40	46.8	52.9	9,333.33	50.7	170.79	41.6	86.0750	47.59	46.6	
865	團田保育所	921.07	1.0	73.3	100.0	56.6	1.00	72.3	67.4	9,366.67	50.9	121.95	56.9	81.7244	55.45	54.4	
809	たじかの園	1,402.34	29.0	52.2	100.0	56.6	2.41	46.6	51.8	5,266.67	24.0	74.94	71.6	79.1320	60.13	51.9	
1777	あこや学園	952.62	8.0	68.0	100.0	56.6	1.50	63.2	62.6	10,133.33	55.9	130.76	54.2	98.0349	25.99	45.4	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給		財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
829	北難波保育所	645.22	43.0	41.6	0.0	33.6	2.48	45.2	40.2	10,200.00	56.4	136.73	52.3	82.0764	54.81	54.5	
831	杭瀬保育所	409.71	42.5	42.0	2.9	34.3	2.57	43.7	40.0	9,777.78	53.6	165.62	43.3	87.1205	45.70	47.5	
836	次屋保育所	387.24	46.0	39.3	0.0	33.6	2.56	43.9	39.0	9,722.22	53.2	168.22	42.5	82.6061	53.85	49.8	
860	武庫東保育所	401.05	47.0	38.6	0.0	33.6	2.47	45.5	39.3	10,000.00	55.0	171.90	41.3	84.0374	51.27	49.2	
862	武庫南保育所	573.98	44.0	40.9	0.0	33.6	2.55	44.1	39.5	9,266.67	50.2	155.90	46.3	81.8521	55.22	50.6	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 実人員 / 定員
 財務: 収支 / 延床面積
 支出 / 収入

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

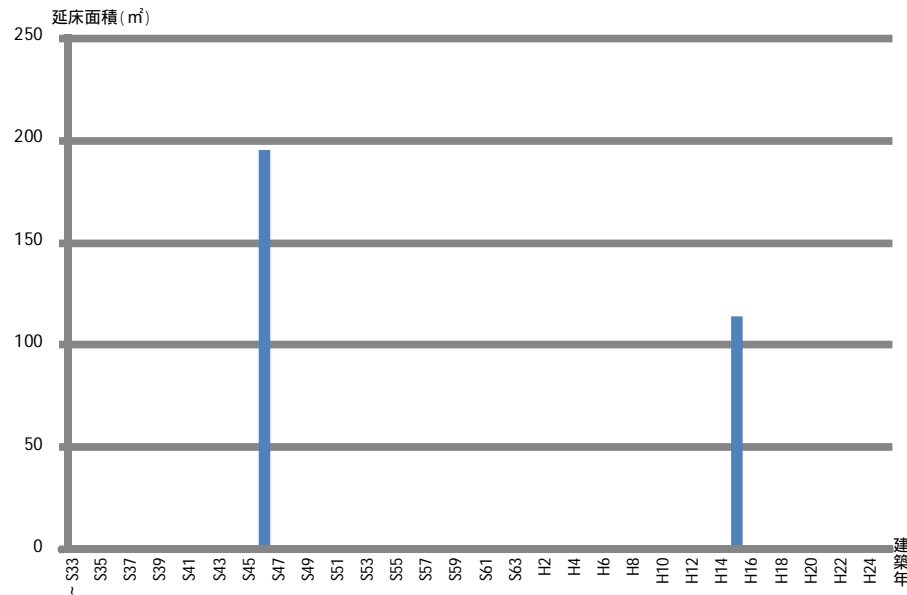
現況分析(その他保育施設)

現状の評価

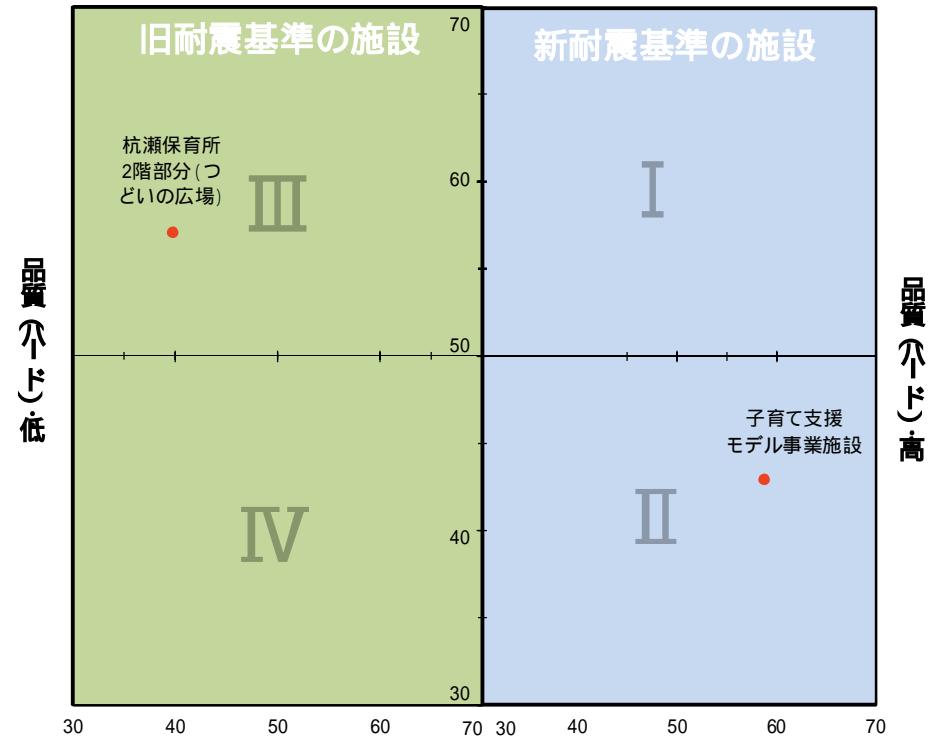
評価対象施設は2、0.3千㎡で面積は全体の0.02% を占めている。その内、1が旧耐震基準、1が新耐震基準であり、平均築年数は26.8年で平均値を下回っているが、耐震化率は50%で安全面で課題のある施設がある。

供給面では、1日あたり利用者数で杭瀬保育所2階部分が27人に対し子育てモデル事業施設17人と差がある。財務面では面積当たりの市の収支で杭瀬保育所2階部分は約13千円に対し、子育てモデル事業施設は約27千円となっており、運営に係るコストにおいても差が生じている。

延床面積で算出。



供給・財務(ソフト):高



供給・財務(ソフト):低

		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	1	194.02	63.3	0	0.00	0.0
	50未満	0	0.00	0.0	1	112.30	36.7

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
26.8	50.0	2.28

現況分析(その他保育施設)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用度(1日 あたり利用者)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
1619	子育て支援モデル事業施設	112.30	11.0	65.8	100.0	56.6	2.00	54.0	58.8	17.33	42.9	27.65	42.9	71.22	42.9	42.9	

旧耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給		財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用度(1日 あたり利用者)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
2182	杭瀬保育所2階部分(つどいの広場)	194.02	42.5	42.0	0.0	33.6	2.57	43.7	39.8	27.07	57.1	13.24	57.1	58.92	57.07	57.1	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

両施設とも支出がないため、原価率は0となっている。両施設とも同一の数値であるため、偏差値は算出できない。

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(児童ホーム・こどもクラブ)

現状の評価

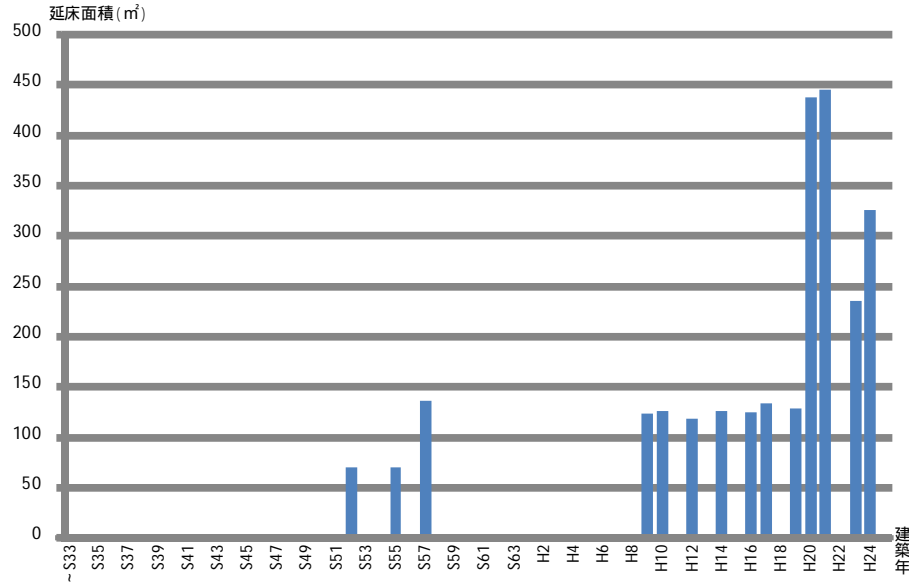
評価対象施設は22、2.5千㎡で全体の0.2% を占めており、そのうち2が旧耐震基準で、20が新耐震基準の施設であり、安全面で課題のある施設は少ない。

供給面では、充足率において低いもので浜田児童ホームや杭瀬児童ホームなどが60%前後がある一方で、高いもので園和児童ホームや塚口児童ホームで110%を越えているなど、ばらつきが見られる。

財務面では、利用料金を徴収していない4つのこどもクラブで面積あたりの市の収支及び原価率での評価が低くなっている。

旧耐震基準である、立花こどもクラブ、小園こどもクラブは、築年数がいずれも平均値を上回り、耐震が未対応であり、課題のある施設となっている。

延床面積で算出。



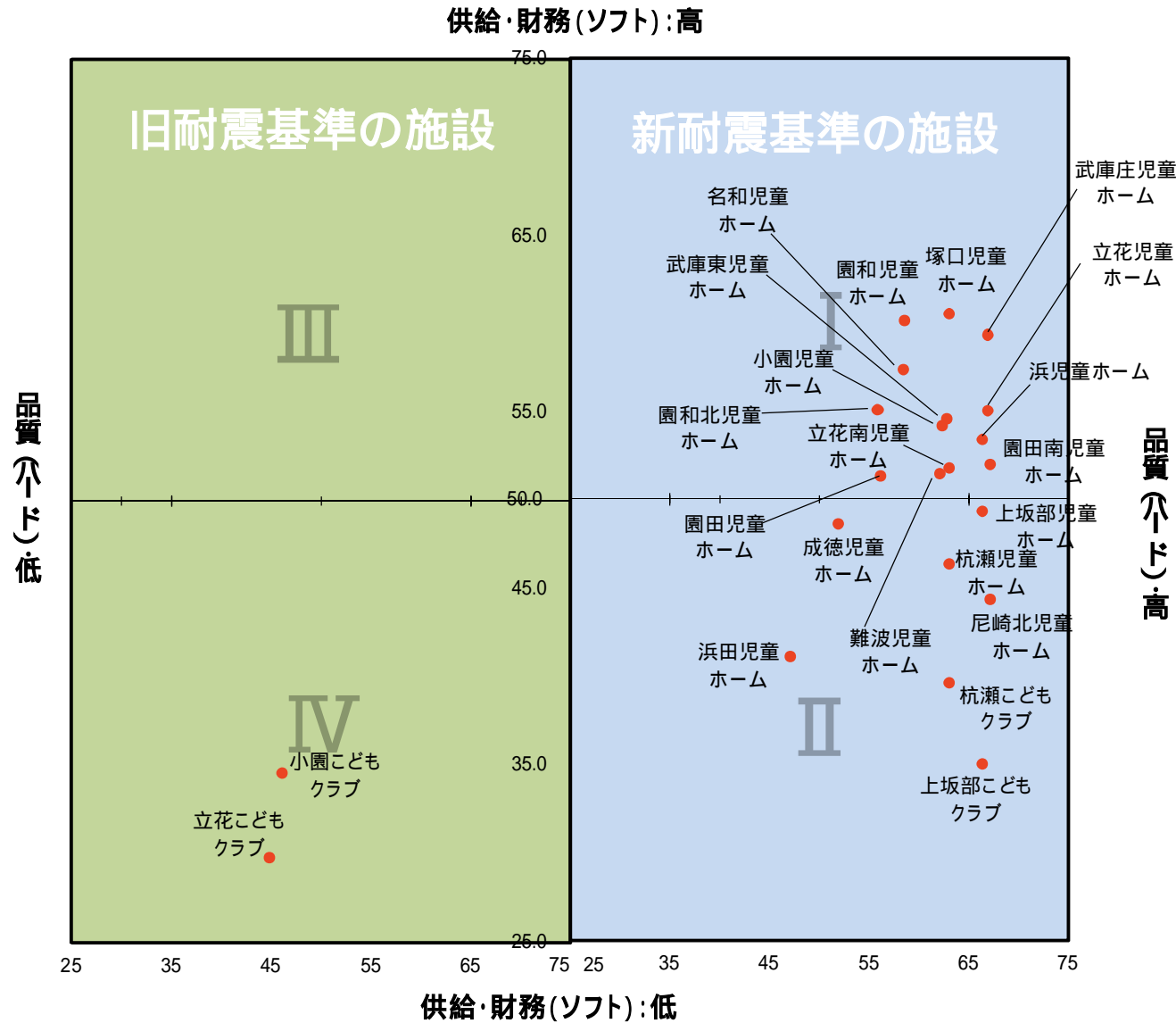
注:以下の児童ホームは、施設内にあるクラブハウスの面積と合計すると100㎡を超えるので、本評価の対象施設とした。

- ・浜田児童ホームは、浜田小学校内クラブハウス(39.56㎡)を含めると105.31㎡
- ・成徳児童ホームは、成徳小学校内クラブハウス(40.43㎡)を含めると107.64㎡
- ・立花児童ホームは、立花小学校内クラブハウス(33.92㎡)を含めると101.55㎡
- ・小園児童クラブは、小園小学校内クラブハウス(39.47㎡)を含めると107.33㎡
- ・杭瀬こどもクラブは、杭瀬クラブハウス(83.83㎡)を含めると167.67㎡

		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	0	0.00	0.0	13	1,604.13	62.6
	50未満	2	135.49	5.3	7	822.41	32.1

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
12.2	90.9	1.59

現況分析(児童ホーム・こどもクラブ)



現況分析(児童ホーム・こどもクラブ)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
1021	浜田児童ホーム	65.75	32.0	49.9	100.0	56.6	3.05	34.9	47.1	56.7	32.1	2.90	45.6	91.09	43.2	84.19	43.5	41.1	
1023	立花南児童ホーム	121.43	10.0	66.5	100.0	56.6	1.50	63.2	62.1	90.6	50.3	2.23	54.4	67.89	51.2	75.60	49.8	51.4	
1025	塚口児童ホーム	115.94	6.0	69.5	100.0	56.6	1.50	63.2	63.1	116.1	64.0	1.66	61.9	60.75	53.7	58.53	62.3	60.5	
1030	武庫東児童ホーム	125.79	7.0	68.8	100.0	56.6	1.50	63.2	62.8	104.4	57.7	2.01	57.4	66.23	51.8	73.60	51.2	54.6	
1031	武庫庄児童ホーム	115.93	3.0	71.8	100.0	56.6	1.00	72.3	66.9	100.6	55.7	1.92	58.5	48.48	58.0	54.75	65.0	59.3	
1033	園田児童ホーム	123.68	16.0	62.0	100.0	56.6	2.23	49.9	56.2	85.0	47.3	2.43	51.9	58.75	54.4	73.04	51.7	51.3	
1036	園和児童ホーム	123.25	12.0	65.0	100.0	56.6	2.00	54.0	58.5	116.1	64.0	1.77	60.5	59.17	54.3	59.38	61.7	60.1	
1037	園和北児童ホーム	120.24	17.0	61.2	100.0	56.6	2.24	49.8	55.9	107.8	59.5	1.86	59.4	71.64	49.9	73.38	51.4	55.1	
1039	小園児童ホーム	130.94	9.0	67.3	100.0	56.6	1.50	63.2	62.3	99.4	55.1	2.19	54.9	61.50	53.5	70.85	53.3	54.2	
1040	成徳児童ホーム	67.21	32.0	49.9	100.0	56.6	2.26	49.3	52.0	69.2	38.8	2.43	51.8	63.97	52.6	73.56	51.3	48.6	
1041	名和児童ホーム	115.93	14.0	63.5	100.0	56.6	1.93	55.3	58.4	116.1	64.0	1.66	61.9	71.19	50.1	70.67	53.4	57.4	
2110	難波児童ホーム	117.57	6.0	69.5	100.0	56.6	1.50	63.2	63.1	85.6	47.6	2.29	53.7	60.82	53.7	72.47	52.1	51.8	
2116	杭瀬児童ホーム	117.57	6.0	69.5	100.0	56.6	1.50	63.2	63.1	62.8	35.4	3.12	42.7	51.13	57.1	75.01	50.2	46.3	
2120	杭瀬こどもクラブ	83.84	6.0	69.5	100.0	56.6	1.50	63.2	63.1	-	-	2.80	47.0	100.64	39.9	100.00	31.9	39.6	
2184	浜児童ホーム	115.93	5.0	70.3	100.0	56.6	1.00	72.3	66.4	96.1	53.3	2.01	57.4	68.54	51.0	72.77	51.8	53.4	
2185	上坂部児童ホーム	270.47	5.0	70.3	100.0	56.6	1.00	72.3	66.4	77.0	43.0	3.51	37.6	42.62	60.0	66.05	56.8	49.3	
2191	上坂部こどもクラブ	56.00	5.0	70.3	100.0	56.6	1.00	72.3	66.4	-	-	2.61	49.5	147.27	23.6	100.00	31.9	35.0	
2242	立花児童ホーム	115.93	3.0	71.8	100.0	56.6	1.00	72.3	66.9	88.3	49.1	2.19	55.0	47.46	58.4	64.79	57.7	55.0	
2295	園田南児童ホーム	161.57	2.0	72.5	100.0	56.6	1.00	72.3	67.1	81.3	45.3	3.21	41.5	38.17	61.6	62.25	59.6	52.0	
2296	尼崎北児童ホーム	161.57	2.0	72.5	100.0	56.6	1.00	72.3	67.1	67.5	37.9	4.01	31.0	46.69	58.6	75.60	49.8	44.3	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
1022	立花こどもクラブ	67.63	37.0	46.1	0.0	33.6	1.96	54.7	44.8	-	-	4.40	25.8	123.98	31.7	100.00	31.9	29.8	
2036	小園こどもクラブ	67.86	34.0	48.4	0.0	33.6	1.88	56.3	46.1	-	-	3.30	40.3	124.34	31.6	100.00	31.9	34.6	

注：利用者一人あたり面積は、こどもクラブは利用者数で算出し、児童ホームは定員数で算出した。

ただし、「支出」は突発的に発生する「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質：築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給：充足率(児童ホームのみ)
 利用者一人あたり面積
 財務：収支/延床面積
 (支出-収入)/支出

現況分析(青少年施設)

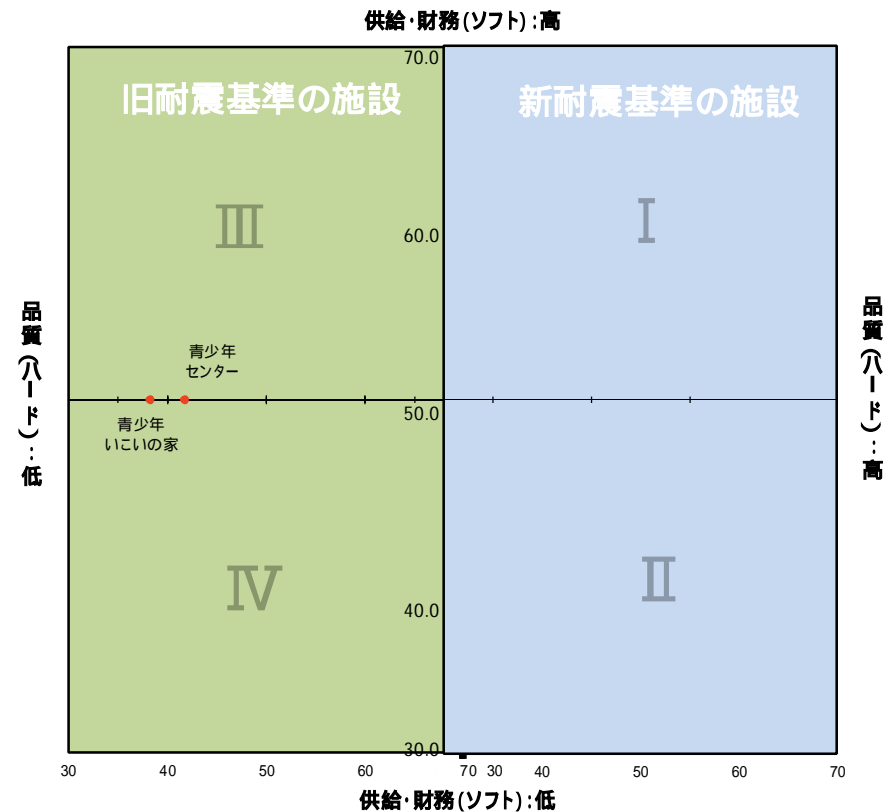
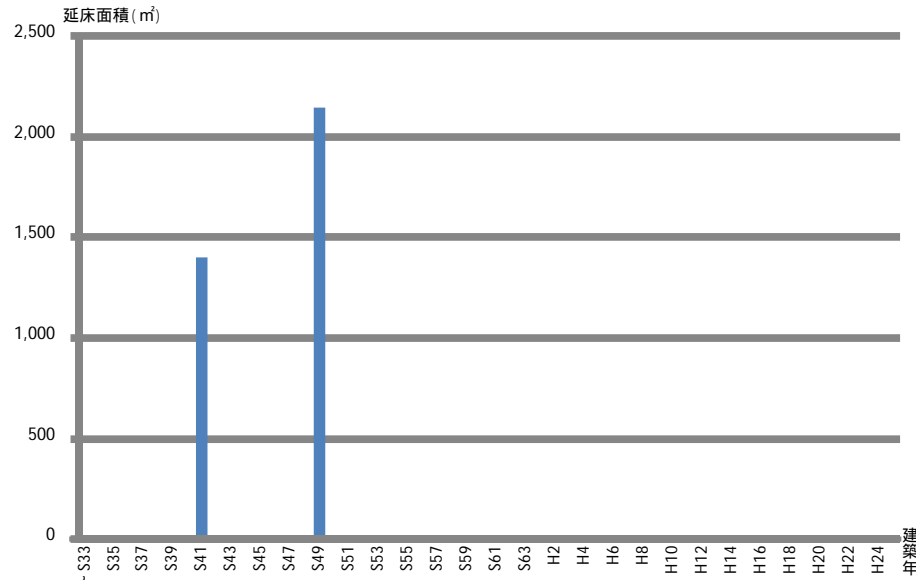
現状の評価

評価対象施設は2、3.5千㎡で面積は全体の0.28% を占めている。全施設が旧耐震基準の施設であり、平均築年数は44年で平均値の33.4年を大きく上回っており、耐震化率は0%で、安全面で課題のある施設となっている。

供給面では、利用率が青少年センターは50%弱であるが、青少年いこいの家は約13%と低く、利用者一人あたり面積も広く、課題となっている。

財務面では、青少年いこいの家は面積あたり市の収支は18千円/㎡であるが、青少年センターは約71千円/㎡となっており、大きな差が生じている。

延床面積で算出。



		供給・財務(ソフト):低				
		旧耐震		新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積
ソフト		面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	2	3,512.06	100.0	0	0.00	0.0
50未満	0	0.00	0.0	0	0.00	0.0

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
44.0	0.0	2.47

現況分析(青少年施設)

新耐震基準の施設

注: 該当施設存在せず

旧耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給				財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率 (%)	偏差値	利用者一人あたり 面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
1044	青少年センター	2,126.44	40.0	43.9	0.0	33.6	2.34	47.8	41.8	48.66	57.1	10.24	57.1	71.37	42.9	98.46	42.9	50.0	
1047	青少年いこいの家	1,385.62	48.0	37.8	0.0	33.6	2.59	43.3	38.3	12.96	42.9	26.56	42.9	18.31	57.1	95.58	57.1	50.0	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(産業振興施設)

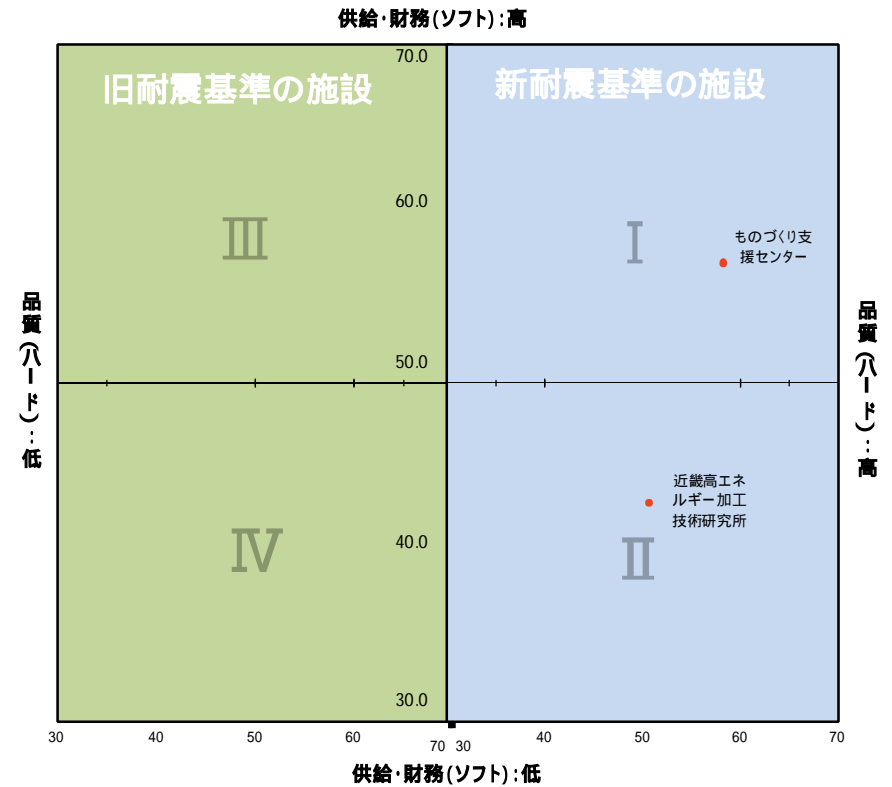
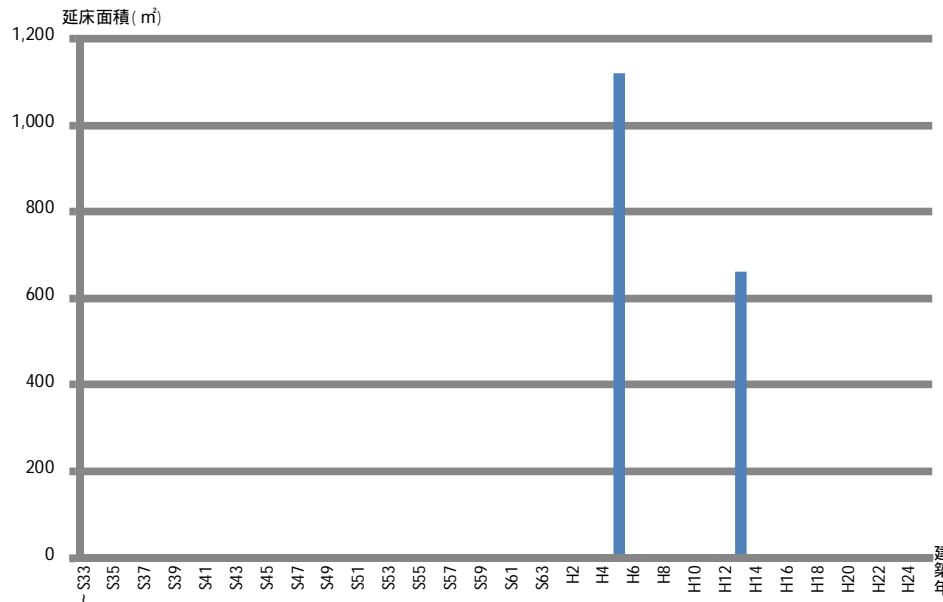
現状の評価

評価対象施設は2、1.7千㎡で面積は全体の0.14% を占めている。全施設が新耐震基準の施設であり、平均築年数は17年で平均値の33.4年を大きく下回っており、かつ耐震化率は100%で、安全面での機能は有している施設となっている。

供給面では、1日あたり利用者数がものづくり支援センターで8.07人、近畿高エネルギー加工技術研究所で3.6人となっており、課題となっている。

財務面では、面積あたり市の収支でものづくり支援センターは約99千円/㎡である一方で、近畿高エネルギー加工技術研究所は約10千円/㎡となっており、大きな差が生じている。

延床面積で算出。



ソフト	施設数	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	0	0.00	0	1	655.47	37.1	
50未満	0	0.00	0	1	1,113.47	62.9	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
17.0	100.0	2.46

現況分析(産業振興施設)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給				財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(1日 あたり利用者数)	偏差値	利用者一人あた り面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
166	ものづくり支援センター	655.47	13.0	64.2	100.0	56.6	2.00	54.0	58.3	8.07	57.1	260.23	57.1	99.38	42.9	100.00	-	57.1	
1131	近畿高エネルギー加工技術研究所	1,113.47	21.0	58.2	100.0	56.6	2.92	37.3	50.7	3.60	42.9	1,463.64	42.9	10.61	57.1	100.00	-	42.9	

旧耐震基準の施設

注: 該当施設存在せず

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 1日あたり利用者数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(市営住宅_全地区)

現状の評価

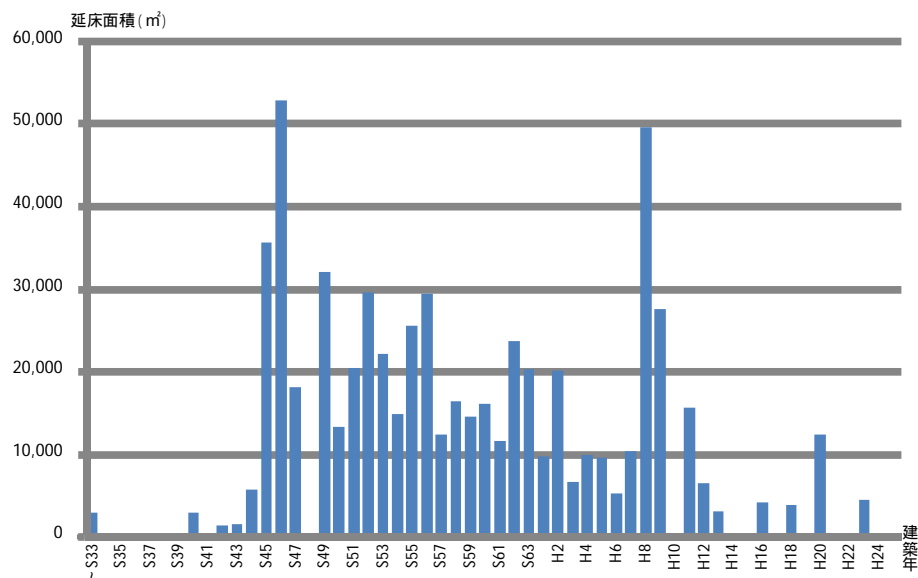
【施設の状況(品質面)】

評価対象施設は102、面積は609千㎡で全体の49%を占めており、評価対象の公共施設の約半数を占めている。

旧耐震基準の施設は48、新耐震基準の施設は54となっているが、耐震対応率は約7割である。

平均築年数は30.3年と全体の平均値である33.4年を下回っている。

延床面積で算出。



		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	24	130,957.65	21.50	23	127,562.41	20.94
	50未満	24	140,283.25	23.03	31	210,443.08	34.54

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
30.3	71.8	2.37

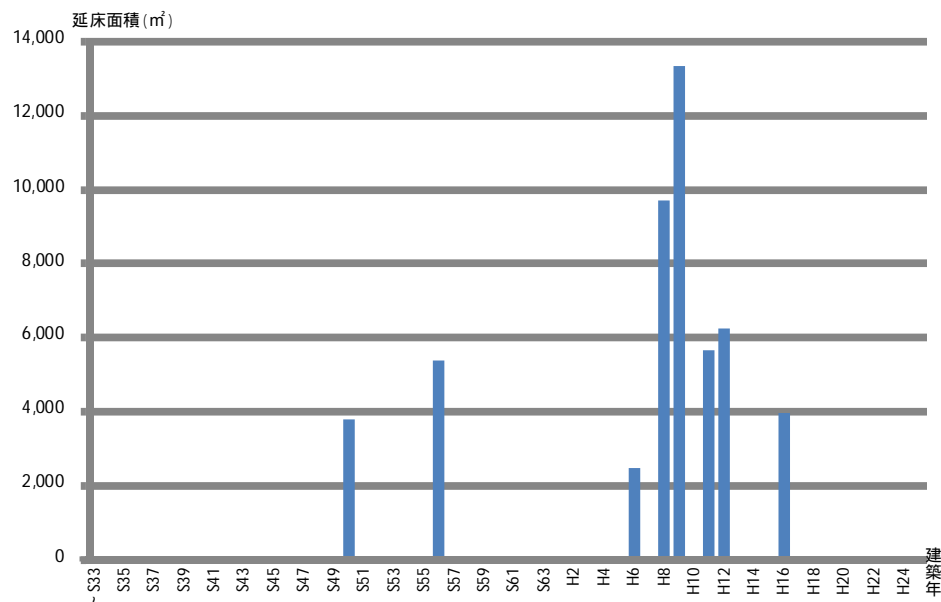
現況分析(市営住宅 本庁地区)

現状の評価

評価対象施設は10、面積は約50千㎡で、旧耐震基準は1施設、新耐震基準は9施設となっており、安全面で課題のある施設は少なくなっている。築年数では、平均値は19.3年で全体の平均値33.4年を下回っており、比較的新しい施設が多くなっている。

供給面では入居率において差は見られないが、入居倍率では3倍から16倍となっており、ばらつきが見られる。

旧耐震基準の建物である東難波住宅は、耐震化の対応が一定なされているが、入居倍率において6倍程度で相対的な評価が低くなっている。
延床面積で算出。

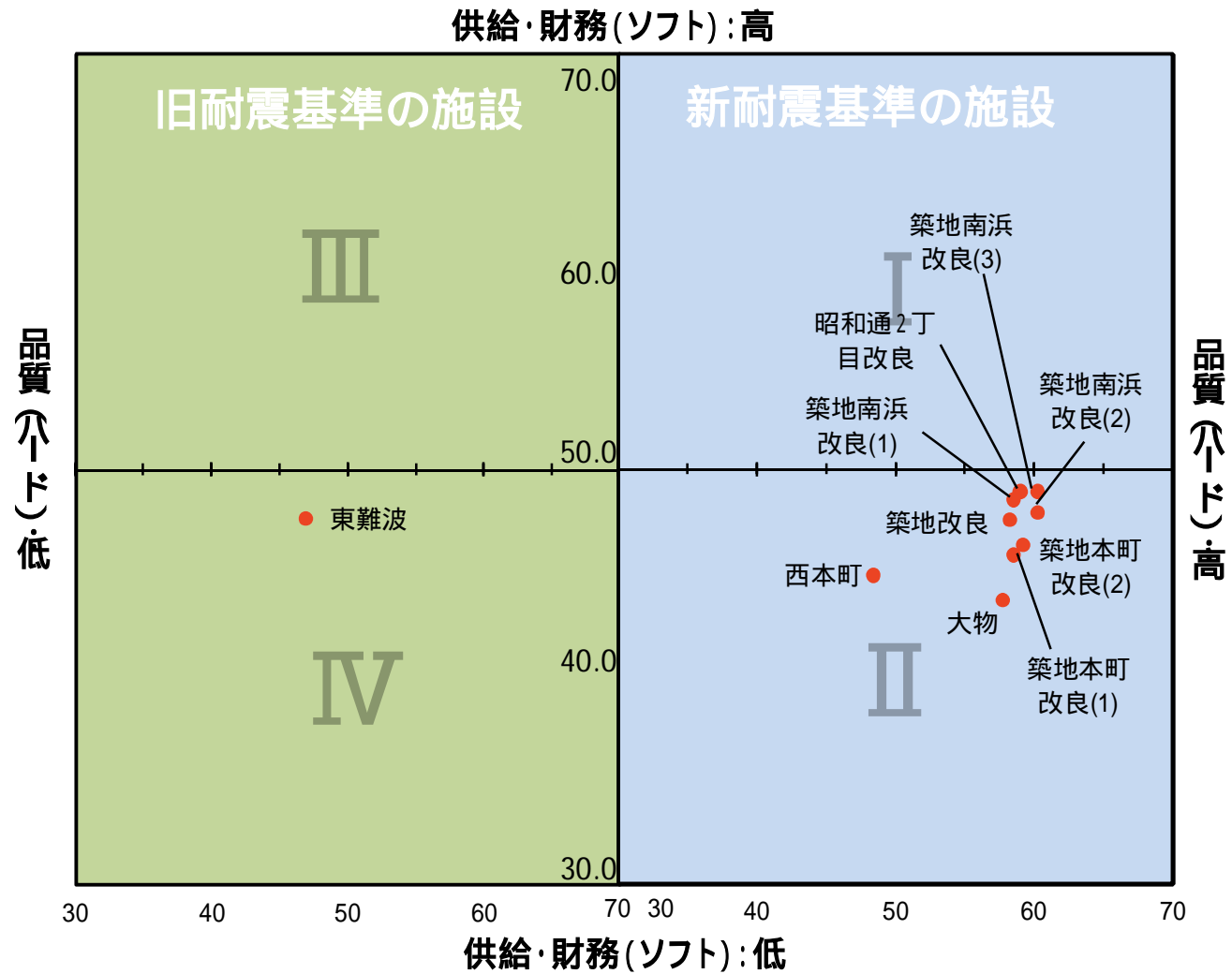


		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	0	0.00	0.00	0	0.00	0.00
	50未満	1	3,696.32	7.40	9	46,250.27	92.60

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
19.3	100.0	2.00

現況分析(市営住宅 本庁地区)

本庁地区



現況分析(市営住宅 本庁地区)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20502	大物	2,406.80	20.0	59.0	100.0	56.6	1.80	57.6	57.7	91.43	37.7	9.75	47.5	-2.90	45.8	-238.26	43.7	43.7		本庁
20539	築地改良	9,637.95	18.0	60.5	100.0	56.6	1.80	57.6	58.2	98.33	55.4	16.82	53.5	-2.47	37.5	-238.27	43.7	47.5		本庁
20540	築地南浜改良(1)	4,578.54	16.9	61.3	100.0	56.6	1.80	57.6	58.5	98.33	55.4	16.50	53.2	-2.69	41.7	-238.25	43.7	48.5		本庁
20541	築地本町改良(1)	8,689.78	17.0	61.3	100.0	56.6	1.80	57.6	58.5	97.12	52.3	13.99	51.1	-2.41	36.3	-238.27	43.7	45.9		本庁
20542	昭和通2丁目改良	3,618.76	15.0	62.7	100.0	56.6	1.80	57.6	59.0	97.50	53.3	30.75	65.3	-2.25	33.3	-238.22	43.7	48.9		本庁
20552	西本町	5,314.53	33.0	49.2	100.0	56.6	2.80	39.4	48.4	96.00	49.4	3.39	42.1	-2.82	44.3	-238.24	43.7	44.9		本庁
25540	築地南浜改良(2)	2,108.22	10.0	66.5	100.0	56.6	1.80	57.6	60.2	96.55	50.9	16.00	52.8	-2.82	44.2	-238.16	43.7	47.9		本庁
25541	築地本町改良(2)	8,124.81	14.2	63.3	100.0	56.6	1.80	57.6	59.2	100.00	59.7	10.25	47.9	-2.29	34.0	-238.27	43.7	46.3		本庁
30540	築地南浜改良(3)	1,770.88	10.0	66.5	100.0	56.6	1.80	57.6	60.2	98.92	57.0	14.75	51.7	-2.77	43.3	-238.14	43.7	48.9		本庁

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20501	東難波	3,696.32	39.0	44.6	100.0	56.6	2.80	39.4	46.9	96.67	51.2	6.69	44.9	-3.16	50.8	-238.24	43.7	47.6		本庁

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 入居戸数 / 入居可能戸数
 入居希望戸数 / 入居可能戸数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

現況分析(市営住宅 小田地区)

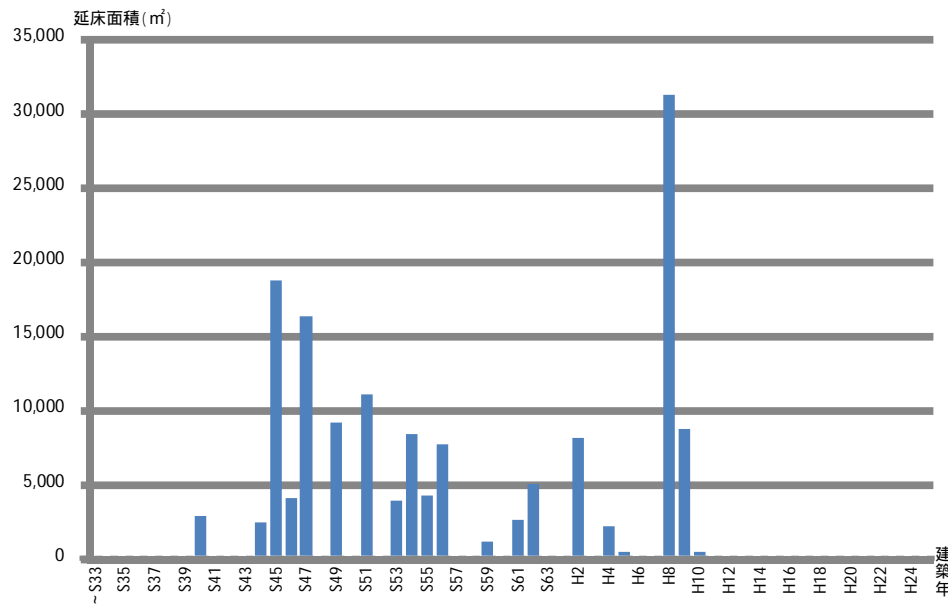
現状の評価

評価対象施設は26、面積は145千㎡となっており、そのうち旧耐震基準の施設は13、新耐震基準の施設は13、平均耐震対応率は6割程度で、安全面で課題のある施設が4割程度存在している。築年数では、平均値は31.8年で全体の平均値33.4年を下回っている。

供給面では入居率においては90%から100%と高い値となっており、差は見られない。入居倍率では3倍から40倍までとなっており、住宅によっては大きな差が生じている。

グループに属している8住宅は、入居倍率は約3倍から約10倍程度である。特に西川、浜つばめ改良、神崎は90%台前半の入居率で、相対的な評価が低くなっている。

延床面積で算出。

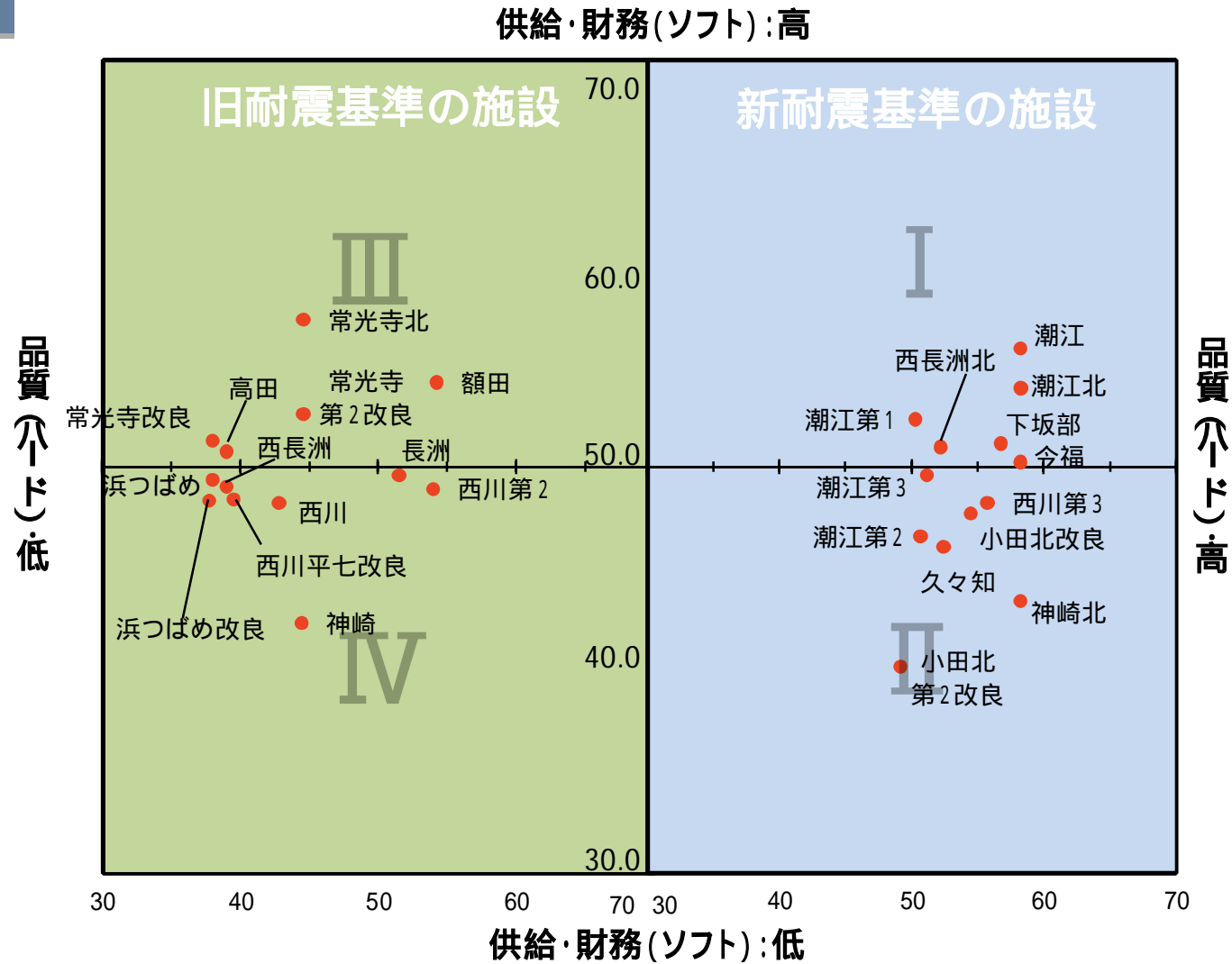


		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	5	34,861.16	24.01	6	39,260.06	27.04
	50未満	8	44,428.86	30.60	7	26,636.87	18.35

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
31.8	61.5	2.28

現況分析(市営住宅 小田地区)

小田地区



現況分析(市営住宅 小田地区)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務			平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/㎡)	偏差値	原価率			
20511	西川第3	2,444.33	28.0	52.9	100.0	56.6	1.80	57.6	55.7	97.14	52.4	13.00	50.2	-2.94	46.6	-238.25	43.7	48.2	小田
20512	下坂部	2,698.69	24.0	55.9	100.0	56.6	1.80	57.6	56.7	97.50	53.3	23.25	59.0	-3.05	48.6	-238.21	43.7	51.1	小田
20513	神崎北	5,087.03	18.0	60.5	100.0	56.6	1.80	57.6	58.2	92.86	41.4	9.22	47.0	-2.68	41.5	-238.26	43.7	43.4	小田
20514	今福	8,351.63	18.0	60.5	100.0	56.6	1.80	57.6	58.2	95.59	48.4	20.24	56.4	-3.24	52.4	-238.27	43.7	50.2	小田
20515	西長洲北	5,243.53	18.0	60.5	100.0	56.6	2.80	39.4	52.2	96.30	50.2	25.18	60.6	-3.08	49.3	-238.26	43.7	51.0	小田
20516	潮江	12,351.49	18.0	60.5	100.0	56.6	1.80	57.6	58.2	95.42	48.0	33.04	67.3	-3.86	64.3	-238.27	43.7	55.8	小田
20546	小田北改良	7,570.13	33.0	49.2	100.0	56.6	1.80	57.6	54.5	98.13	54.9	9.67	47.4	-2.85	44.8	-238.27	43.7	47.7	小田
20547	小田北第2改良	1,008.57	30.0	51.4	100.0	56.6	2.80	39.4	49.1	91.67	38.3	4.00	42.6	-2.40	36.1	-238.11	43.6	40.2	小田
20553	潮江第1	5,075.91	26.7	53.9	100.0	56.6	2.76	40.3	50.3	100.00	59.7	24.92	60.4	-2.89	45.5	-238.25	43.7	52.3	小田
20554	潮江第2	5,228.30	24.0	55.9	100.0	56.6	2.80	39.4	50.6	95.00	46.9	26.53	61.7	-2.29	34.0	-238.23	43.7	46.6	小田
20555	潮江第3	2,021.64	22.0	57.5	100.0	56.6	2.80	39.4	51.2	96.55	50.9	22.83	58.6	-2.87	45.2	-238.20	43.7	49.6	小田
20558	潮江北	5,538.81	17.0	61.3	100.0	56.6	1.85	56.8	58.2	98.72	56.4	37.50	71.1	-2.82	44.2	-238.26	43.7	53.9	小田
20559	久々知	3,276.87	17.0	61.2	100.0	56.6	2.80	39.4	52.4	92.31	40.0	13.74	50.9	-3.10	49.7	-238.23	43.7	46.1	小田

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務			平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/㎡)	偏差値	原価率			
20032	額田	4,036.20	34.0	48.4	100.0	56.6	1.80	57.6	54.2	94.44	45.5	2.31	41.1	-4.02	67.4	-348.60	62.6	54.1	小田
20503	西川	2,681.86	49.0	37.1	0.0	33.6	1.80	57.6	42.8	94.00	44.3	3.77	42.4	-3.76	62.4	-238.24	43.7	48.2	小田
20504	浜つばめ改良	2,242.58	45.0	40.1	0.0	33.6	2.80	39.4	37.7	90.00	34.0	4.63	43.1	-4.28	72.5	-238.22	43.7	48.3	小田
20505	神崎	7,817.36	42.5	42.0	0.0	33.6	1.80	57.6	44.4	90.83	36.2	3.33	42.0	-2.98	47.3	-238.27	43.7	42.3	小田
20506	常光寺北	4,782.00	42.0	42.4	0.0	33.6	1.80	57.6	44.5	98.75	56.5	40.17	73.4	-3.39	55.3	-238.26	43.7	57.2	小田
20507	高田	4,473.04	40.0	43.9	0.0	33.6	2.80	39.4	39.0	98.75	56.5	3.67	42.3	-3.66	60.5	-238.26	43.7	50.7	小田
20508	西長洲	4,476.60	40.0	43.9	0.0	33.6	2.80	39.4	39.0	96.25	50.1	6.00	44.3	-3.53	58.1	-238.27	43.7	49.0	小田
20509	長洲	10,547.64	36.4	46.6	100.0	56.6	2.15	51.2	51.5	97.65	53.7	11.60	49.0	-3.22	51.9	-238.27	43.7	49.6	小田
20510	西川第2	5,045.82	35.0	47.6	100.0	56.6	1.80	57.6	54.0	97.50	53.3	9.10	46.9	-3.20	51.7	-238.28	43.7	48.9	小田
20543	常光寺改良	14,176.68	44.0	40.9	0.0	33.6	2.80	39.4	38.0	100.00	59.7	6.25	44.5	-3.49	57.2	-238.29	43.7	51.3	小田
20544	常光寺第2改良	7,393.24	42.0	42.4	0.0	33.6	1.80	57.6	44.5	100.00	59.7	15.13	52.0	-3.37	55.0	-238.28	43.7	52.6	小田
20545	西川平七改良	7,225.26	38.0	45.4	0.0	33.6	2.80	39.4	39.5	100.00	59.7	4.22	42.8	-2.98	47.4	-238.26	43.7	48.4	小田
25504	浜つばめ	4,391.74	44.0	40.9	0.0	33.6	2.80	39.4	38.0	97.50	53.3	3.10	41.8	-3.57	58.7	-238.25	43.7	49.4	小田

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数、耐震対応率、現地調査
 供給: 入居戸数 / 入居可能戸数、入居希望戸数 / 入居可能戸数
 財務: 収支 / 延床面積、(支出-収入) / 支出

現況分析(市営住宅 大庄地区)

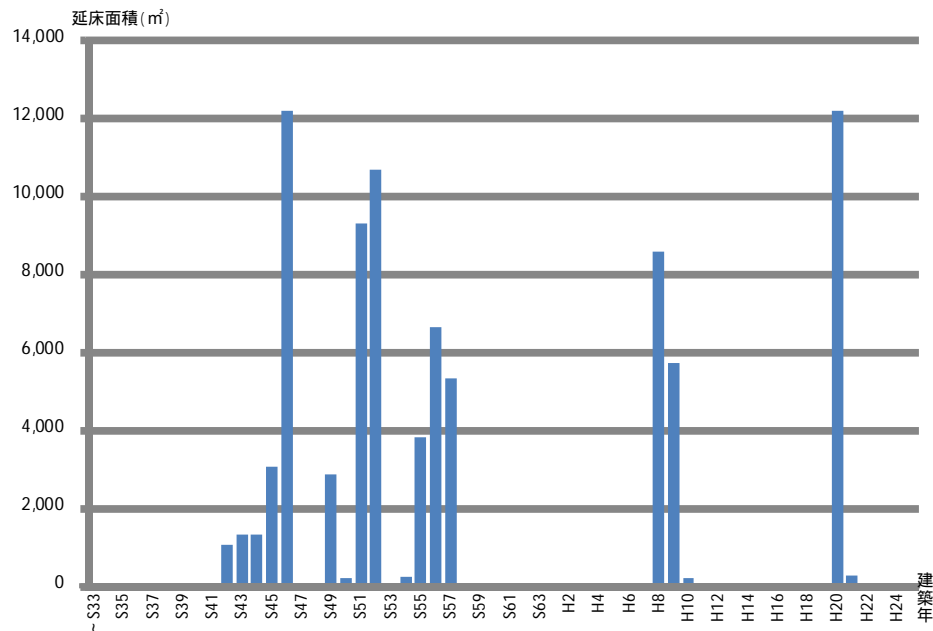
現状の評価

評価対象施設13、面積は約84千㎡で、旧耐震基準は7施設、新耐震基準は6施設となっており、耐震対応率は7割程度となっており、課題のある施設が3割程度を占めている。築年数では、平均値は31年で、全体の平均値の33.4年を下回っている。

供給面では、入居率は概ね90%後半であり、差は見られない一方で、入居倍率では2倍台から約49倍までとなっており大きな差が生じている。

グループに属している4住宅は、旧耐震基準の建物であり、入居倍率が2.6～3.9倍となっており、相対的な評価が低くなっている。

延床面積で算出。

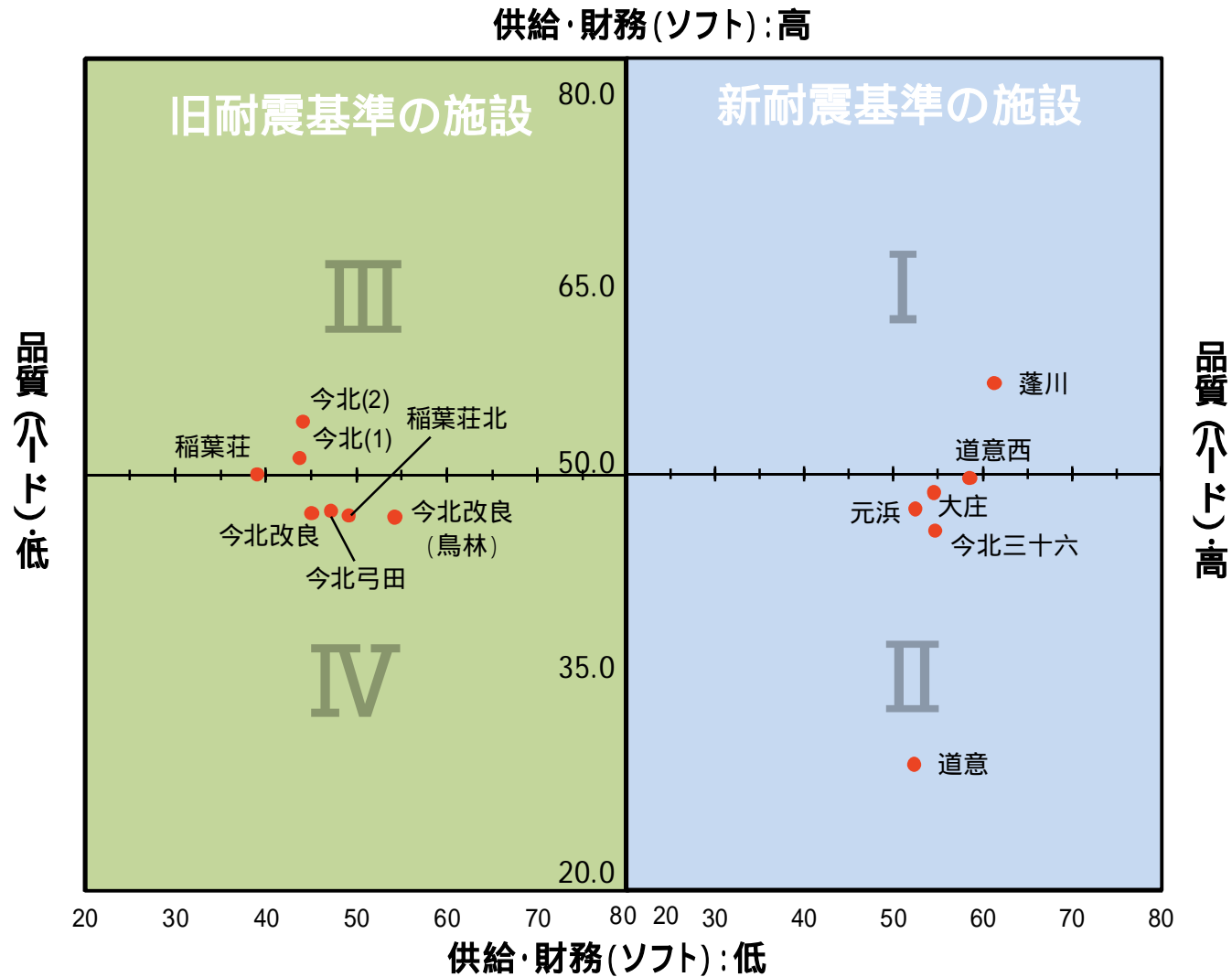


		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	3	9,320.09	11.12	1	12,297.76	14.68
	50未満	4	36,026.72	43.00	5	26,148.14	31.21

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
31.0	69.2	2.16

現況分析(市営住宅 大庄地区)

大庄地区



現況分析(市営住宅 大庄地区)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質					平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区	
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査		偏差値	入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率				偏差値
20518	蓬川	12,297.76	6.0	69.5	100.0	56.6	1.80	57.6	61.3	97.31	52.8	48.90	80.8	-3.06	48.8	-238.28	43.7	56.5		大庄
20523	大庄	3,289.30	33.0	49.2	100.0	56.6	1.80	57.6	54.5	98.00	54.6	9.56	47.3	-3.07	49.0	-238.23	43.7	48.6		大庄
20524	今北三十六	8,545.94	32.4	49.6	100.0	56.6	1.80	57.6	54.6	95.38	47.9	5.97	44.3	-3.00	47.7	-238.28	43.7	45.9		大庄
20525	道意	8,657.93	18.0	60.5	100.0	56.6	2.79	39.7	52.3	92.67	40.9	20.35	56.5	-1.10	11.0	-29.35	7.8	29.0		大庄
20556	道意西	3,714.84	17.0	61.2	100.0	56.6	1.80	57.6	58.5	100.00	59.7	16.42	53.1	-2.71	42.2	-238.24	43.7	49.7		大庄
20557	元浜	1,940.13	17.0	61.2	100.0	56.6	2.80	39.4	52.4	100.00	59.7	13.50	50.7	-2.38	35.9	-238.17	43.7	47.5		大庄

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質					平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区	
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査		偏差値	入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率				偏差値
20519	今北(1)	5,022.51	45.4	39.8	0.0	33.6	1.80	57.6	43.7	93.64	43.4	10.73	48.3	-4.12	69.4	-238.26	43.7	51.2		大庄
20520	稲葉荘	2,797.92	40.0	43.9	0.0	33.6	2.80	39.4	39.0	98.00	54.6	5.07	43.5	-3.56	58.5	-238.25	43.7	50.0		大庄
20521	稲葉荘北	5,538.45	38.0	45.4	100.0	56.6	2.47	45.5	49.2	96.67	51.2	3.99	42.6	-3.15	50.7	-238.25	43.7	47.0		大庄
20522	今北弓田	3,701.71	38.0	45.4	100.0	56.6	2.80	39.4	47.1	96.67	51.2	2.67	41.4	-3.28	53.2	-238.25	43.7	47.4		大庄
20548	今北改良	23,049.96	40.2	43.8	0.0	33.6	1.80	57.6	45.0	100.00	59.7	3.60	42.2	-2.76	43.2	-238.28	43.7	47.2		大庄
20549	今北改良(鳥林)	3,736.60	34.0	48.4	100.0	56.6	1.80	57.6	54.2	96.67	51.2	3.07	41.8	-3.18	51.2	-238.26	43.7	46.9		大庄
25519	今北(2)	1,499.66	44.0	40.9	0.0	33.6	1.80	57.6	44.0	100.00	59.7	6.67	44.8	-4.00	67.1	-238.25	43.7	53.8		大庄

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 入居戸数 / 入居可能戸数
 入居希望戸数 / 入居可能戸数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

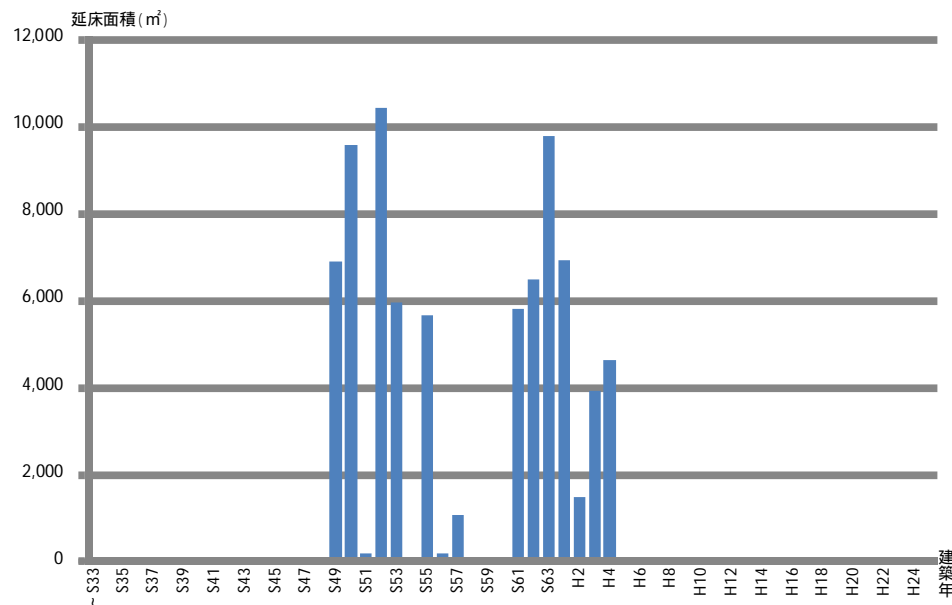
現況分析(市営住宅 立花地区)

現状の評価

評価対象施設は23、面積は約78千㎡で旧耐震基準は16施設、新耐震基準は7施設となっているが、耐震対応率は約6割で安全面で課題のある建物は4割程度となっている。築年数では、平均値が33.9年で、全体の平均値程度となっている。

供給面では、入居率は85%から100%となっておりばらつきが見られ、入居倍率では1.5倍から40倍超と大きな差が生じている。

グループの建物は、南七松(2)住宅の入居率が低い評価、また、入居倍率で3.0から9.0倍の住宅が5住宅あり、相対的な評価が低くなっている。
延床面積で算出。

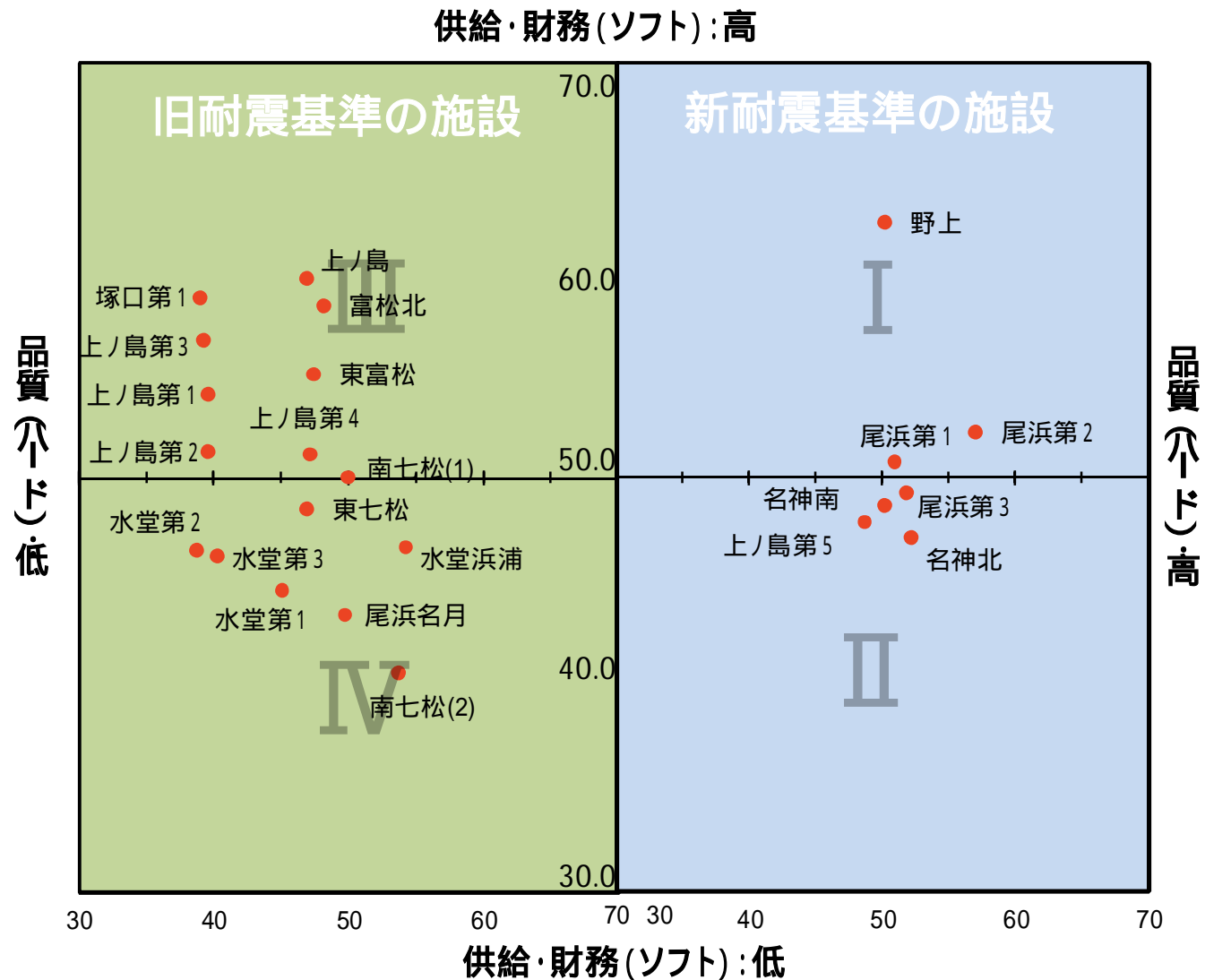


		旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	9	20,443.23	26.21	3	14,861.25	19.05
	50未満	7	17,991.69	23.07	4	24,705.13	31.67

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
33.9	65.0	2.52

現況分析(市営住宅 立花地区)

立花地区



現況分析(市営住宅 立花地区)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20005	上ノ島第5	991.31	32.0	49.9	100.0	56.6	2.80	39.4	48.6	91.67	38.3	9.50	47.3	-2.77	43.2	-348.32	62.6	47.8		立花
20010	野上	10,992.84	25.9	54.5	100.0	56.6	2.80	39.4	50.2	97.44	53.1	46.48	78.7	-3.36	54.7	-348.64	62.6	62.3		立花
20533	名神北	7,152.13	27.2	53.5	100.0	56.6	2.42	46.3	52.2	97.17	52.5	8.03	46.0	-2.93	46.3	-238.26	43.7	47.1		立花
20534	名神南	12,008.66	26.1	54.4	100.0	56.6	2.80	39.4	50.1	98.20	55.1	15.14	52.1	-2.79	43.7	-238.27	43.7	48.6		立花
20535	尾浜第1	2,575.41	23.0	56.7	100.0	56.6	2.80	39.4	50.9	100.00	59.7	20.33	56.5	-2.76	43.1	-238.23	43.7	50.7		立花
20536	尾浜第2	1,293.00	23.0	56.7	100.0	56.6	1.80	57.6	57.0	100.00	59.7	20.50	56.6	-3.05	48.6	-238.20	43.7	52.2		立花
20537	尾浜第3	4,553.03	22.0	57.5	100.0	56.6	2.70	41.3	51.8	98.46	55.8	14.50	51.5	-2.91	46.1	-238.25	43.7	49.3		立花

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20001	上ノ島第1	1,079.80	39.9	43.9	0.0	33.6	2.71	41.1	39.6	100.00	59.7	1.50	40.4	-3.29	53.3	-348.43	62.6	54.0		立花
20002	上ノ島第2	1,134.44	39.9	43.9	0.0	33.6	2.71	41.1	39.6	93.75	43.7	11.00	48.5	-3.13	50.2	-348.31	62.6	51.2		立花
20003	上ノ島第3	1,213.39	39.0	44.6	0.0	33.6	2.80	39.4	39.2	100.00	59.7	-	-	-2.99	47.6	-348.36	62.6	56.6		立花
20004	上ノ島第4	1,678.15	33.9	48.5	7.1	35.3	1.80	57.6	47.1	95.45	48.0	7.50	45.6	-3.03	48.3	-348.45	62.6	51.1		立花
20006	塚口第1	2,413.64	39.9	43.9	0.0	33.6	2.80	39.4	39.0	100.00	59.7	17.67	54.2	-3.54	58.2	-348.48	62.6	58.7		立花
20007	上ノ島	3,696.36	39.0	44.6	100.0	56.6	2.80	39.4	46.9	100.00	59.7	14.75	51.7	-3.86	64.4	-348.58	62.6	59.6		立花
20008	東富松	2,341.45	37.0	46.1	100.0	56.6	2.80	39.4	47.4	94.74	46.2	14.50	51.5	-3.62	59.6	-348.48	62.6	55.0		立花
20009	富松北	1,988.56	34.0	48.4	100.0	56.6	2.80	39.4	48.1	100.00	59.7	17.00	53.6	-3.49	57.2	-348.49	62.6	58.3		立花
20526	水堂第1	2,638.00	40.0	43.9	0.0	33.6	1.80	57.6	45.1	95.00	46.9	3.00	41.7	-2.91	45.9	-238.24	43.7	44.5		立花
20527	水堂第2	1,197.50	38.9	44.7	0.0	33.6	2.89	37.8	38.7	100.00	59.7	4.00	42.6	-2.60	39.9	-238.18	43.7	46.5		立花
20528	水堂第3	1,197.52	36.9	46.2	0.0	33.6	2.72	41.0	40.3	100.00	59.7	6.75	44.9	-2.42	36.5	-238.06	43.6	46.2		立花
20529	東七松	3,072.46	39.0	44.6	100.0	56.6	2.80	39.4	46.9	96.00	49.4	10.33	48.0	-3.26	52.8	-238.22	43.7	48.5		立花
20530	尾浜名月	6,944.50	37.0	46.1	88.6	54.0	2.28	49.0	49.7	91.07	36.8	4.14	42.7	-3.13	50.3	-238.28	43.7	43.4		立花
20531	南七松(1)	4,897.44	36.0	46.9	100.0	56.6	2.43	46.3	49.9	97.47	53.2	12.92	50.2	-3.27	53.0	-238.25	43.7	50.0		立花
20532	水堂浜浦	2,058.78	34.0	48.4	100.0	56.6	1.80	57.6	54.2	93.75	43.7	17.11	53.7	-2.88	45.5	-238.20	43.7	46.6		立花
25531	南七松(2)	882.93	36.0	46.9	100.0	56.6	1.80	57.6	53.7	85.71	23.0	9.00	46.8	-3.06	48.8	-238.11	43.6	40.6		立花

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質：築年数、耐震対応率、現地調査
 供給：入居戸数/入居可能戸数、入居希望戸数/入居可能戸数
 財務：収支/延床面積、(支出-収入)/支出

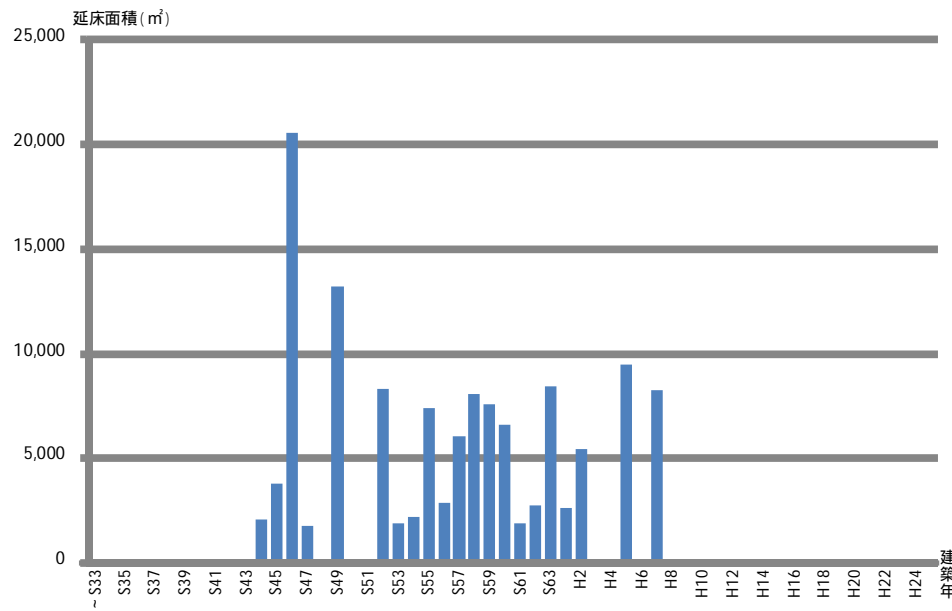
現況分析(市営住宅 武庫地区)

現状の評価

評価対象施設は12、面積は約128千㎡で、旧耐震基準の施設は5、新耐震基準の施設は7となっており、耐震対応率は約70%であり、安全面で課題のある施設が3割程度となっている。築年数では平均値が32.1年で、全体の平均値程度となっている。

供給面では、入居率が約82%から100%までとばらつきが生じている。入居倍率では、友行西カイチの約20倍以外は1桁台である他、1倍を下回っている住宅が2住宅あり、相対的な評価が低くなっている。

グループの施設4住宅は、入居率が80%台のものが3住宅で、いずれも入居倍率が5倍を下回っている。そのうち、耐震対応済の施設が1住宅となっている。 延床面積で算出。

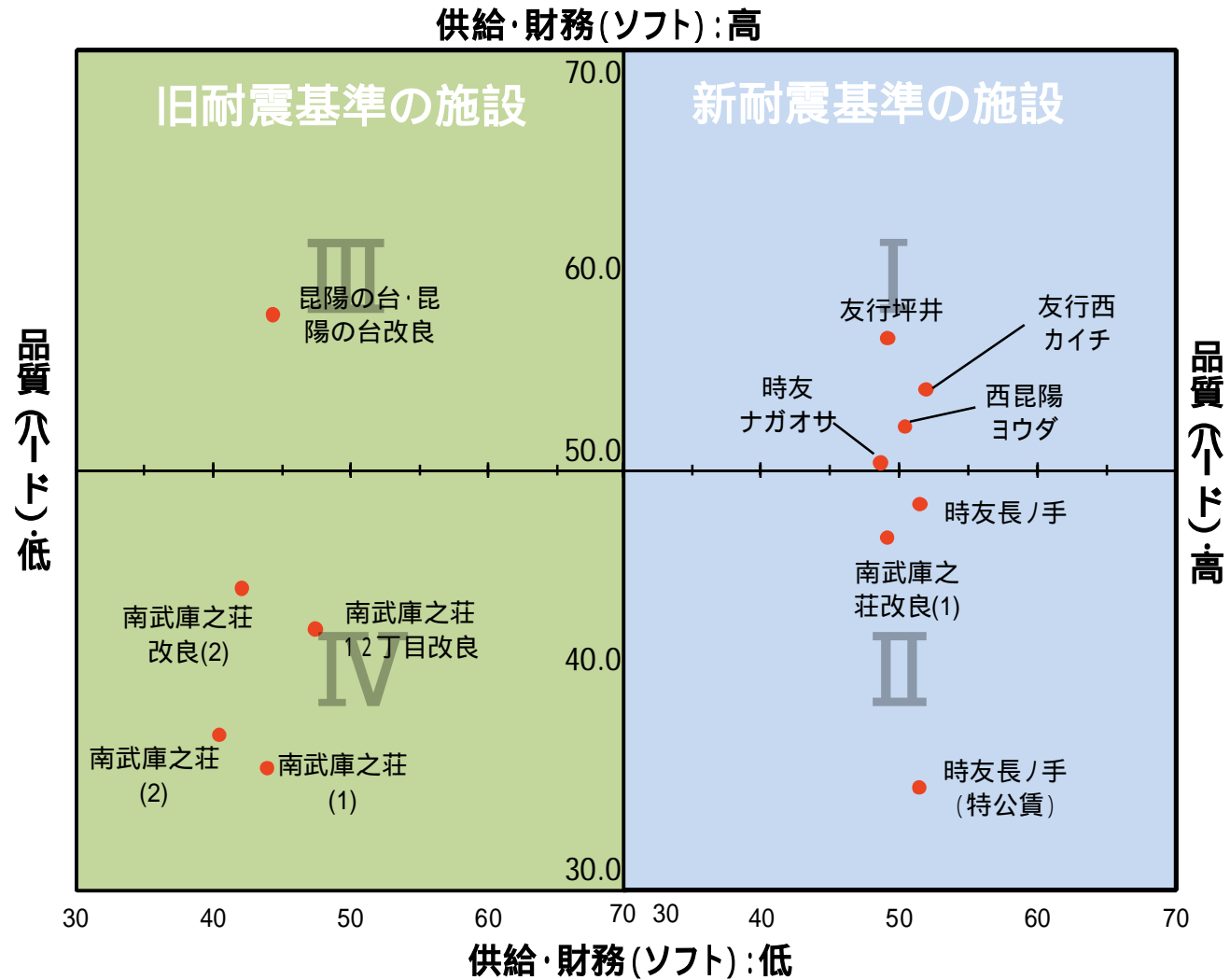


		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	1	18,222.72	14.21	4	15,476.63	12.07
	50未満	4	38,139.66	29.73	3	56,434.34	44.00

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
32.1	67.3	2.57

現況分析(市営住宅 武庫地区)

武庫地区



現況分析(市営住宅 武庫地区)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20012	時友ナガオサ	3,284.13	32.0	49.9	100.0	56.6	2.80	39.4	48.6	92.00	39.2	3.25	41.9	-3.51	57.6	-348.58	62.6	50.3		武庫
20013	西昆陽ヨウダ	5,261.80	31.0	50.7	100.0	56.6	2.55	43.9	50.4	95.00	46.9	2.25	41.1	-3.51	57.6	-348.61	62.6	52.0		武庫
20014	友行坪井	5,045.07	30.0	51.4	100.0	56.6	2.80	39.4	49.1	97.50	53.3	9.63	47.4	-3.73	61.7	-348.60	62.6	56.3		武庫
20015	時友長ノ手	12,605.16	20.0	58.9	100.0	56.6	2.84	38.8	51.4	93.29	42.5	7.17	45.3	-2.76	43.1	-348.62	62.6	48.4		武庫
20016	友行西カイチ	1,885.63	19.0	59.7	100.0	56.6	2.80	39.4	51.9	95.83	49.0	19.83	56.1	-2.99	47.6	-348.55	62.6	53.8		武庫
20034	時友長ノ手(特公賃)	2,831.93	21.0	58.2	100.0	56.6	2.80	39.4	51.4	84.00	18.6	-	-	-1.74	23.4	-348.39	62.6	34.9		武庫
20551	南武庫之荘改良(1)	40,997.25	31.1	50.6	65.8	48.8	2.33	48.0	49.1	100.00	59.7	0.82	39.9	-2.80	43.8	-238.29	43.7	46.8		武庫

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率(%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値			
20011	昆陽の台・昆陽の台改良	18,222.72	43.0	41.6	0.0	33.6	1.80	57.6	44.3	100.00	59.7	4.96	43.4	-3.83	63.8	-348.64	62.6	57.4		武庫
20538	南武庫之荘(1)	3,413.84	44.6	40.4	0.0	33.6	1.80	57.6	43.9	81.67	12.6	2.56	41.3	-2.89	45.7	-238.26	43.7	35.8		武庫
20550	南武庫之荘12丁目改良	3,482.02	37.0	46.1	100.0	56.6	2.80	39.4	47.4	88.71	30.7	0.04	39.2	-3.43	56.1	-238.22	43.7	42.4		武庫
25538	南武庫之荘(2)	5,948.80	43.1	41.5	0.0	33.6	2.44	46.0	40.4	82.73	15.4	3.64	42.3	-3.03	48.3	-238.27	43.7	37.4		武庫
25551	南武庫之荘改良(2)	25,295.00	33.5	48.8	41.4	43.1	3.09	34.1	42.0	95.83	49.0	2.13	41.0	-2.80	43.8	-238.28	43.7	44.4		武庫

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 入居戸数 / 入居可能戸数
 入居希望戸数 / 入居可能戸数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

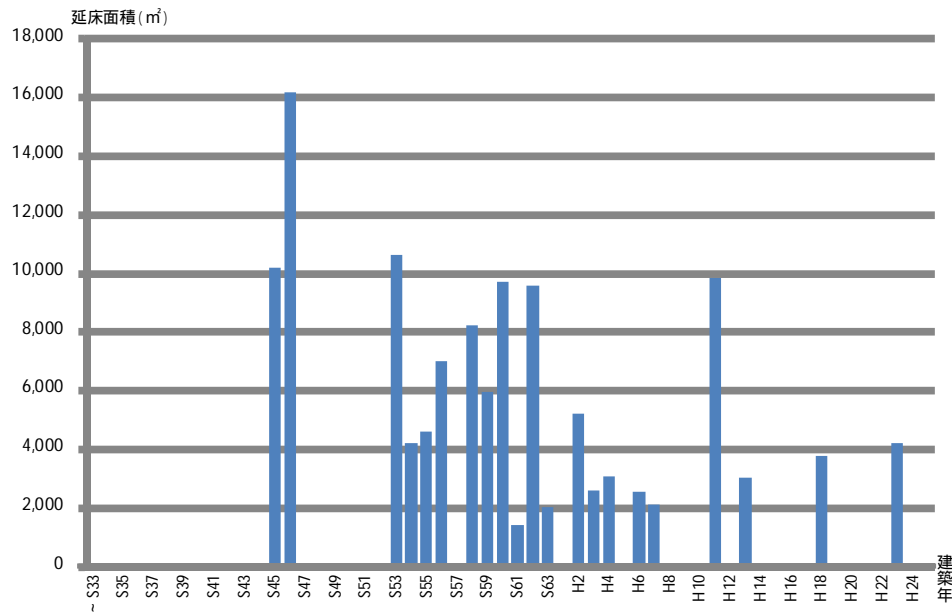
現況分析(市営住宅 園田地区)

現状の評価

評価対象施設は18、面積は124千㎡で、旧耐震基準は6、新耐震基準は12となっており、耐震対応率は8割を超え、安全面での課題のある施設は2割程度となっている。築年数では平均値で28年で全体の平均値33.4年を下回っている。

供給面では、いずれも90%を超えており、差は生じていないが、入居倍率で1倍を切るものから20倍を超える施設まであり、ばらつきが生じている。

延床面積で算出。

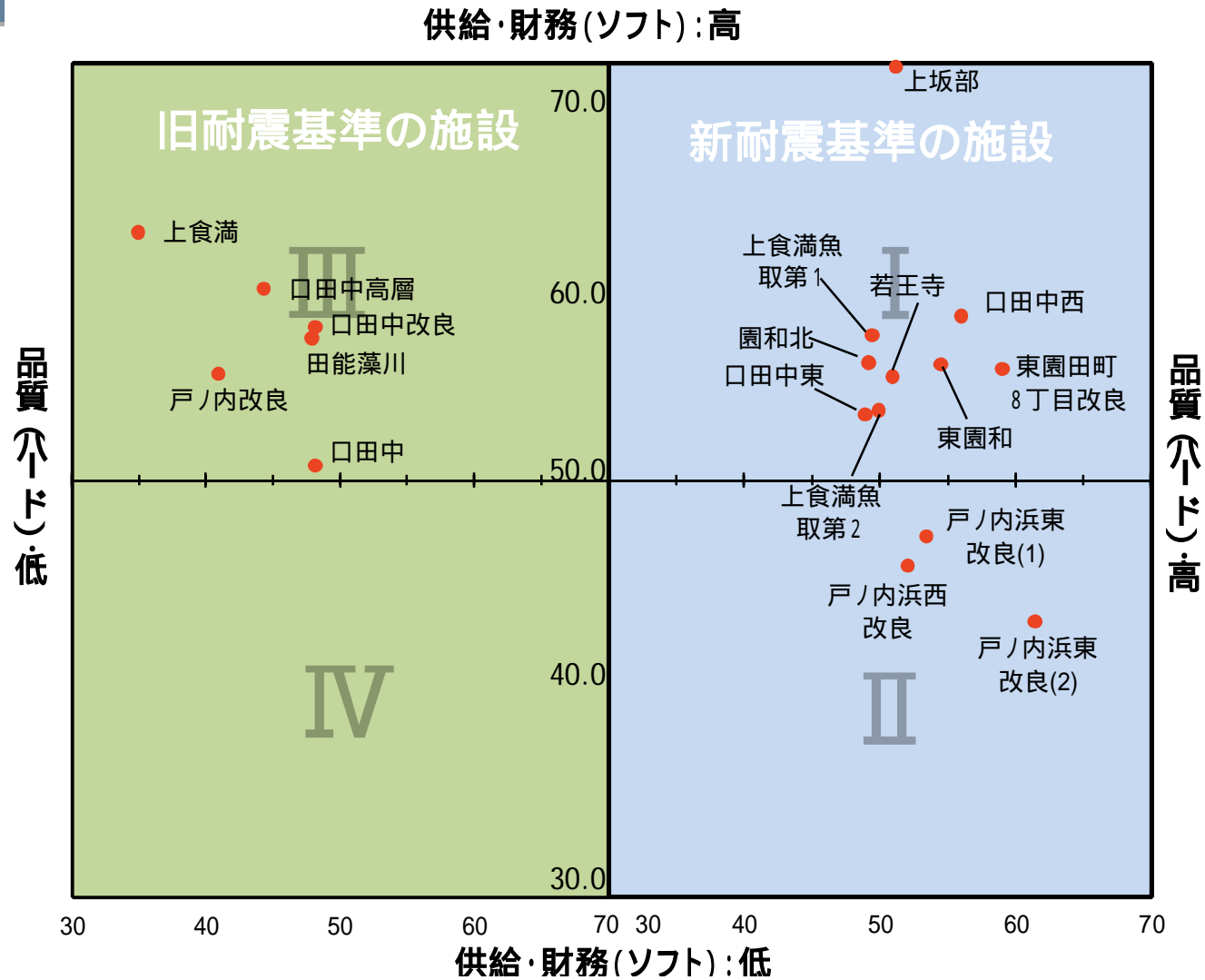


		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソフト	50以上	6	48,110.45	38.78	9	45,666.71	36.81
	50未満	0	0.00	0.00	3	30,268.33	24.40

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
28.0	84.6	2.55

現況分析(市営住宅 園田地区)

園田地区



現況分析(市営住宅 園田地区)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給				財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限	地区
			築年数 (年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率 (%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値			
20021	東園和	6,925.69	33.0	49.2	100.0	56.6	1.80	57.6	54.5	96.12	49.7	16.22	53.0	-3.47	56.8	-348.63	62.6	55.5		園田
20022	口田中東	4,598.08	31.0	50.7	100.0	56.6	2.80	39.4	48.9	94.29	45.0	9.21	47.0	-3.53	57.9	-348.58	62.6	53.1		園田
20023	園和北	1,966.05	30.0	51.4	100.0	56.6	2.80	39.4	49.1	96.55	50.9	15.83	52.6	-3.45	56.3	-348.49	62.6	55.6		園田
20024	上食満魚取第1	7,373.58	29.0	52.2	100.0	56.6	2.80	39.4	49.4	100.00	59.7	7.17	45.3	-3.64	60.1	-348.64	62.6	56.9		園田
20025	上食満魚取第2	2,644.88	27.0	53.7	100.0	56.6	2.80	39.4	49.9	95.00	46.9	7.00	45.1	-3.57	58.7	-348.55	62.6	53.3		園田
20026	若王寺	2,489.70	23.0	56.7	100.0	56.6	2.80	39.4	50.9	94.44	45.5	22.28	58.1	-3.30	53.6	-348.50	62.6	54.9		園田
20027	上坂部	2,972.38	22.0	57.5	100.0	56.6	2.80	39.4	51.2	100.00	59.7	77.00	104.7	-3.23	52.2	-348.56	62.6	69.8		園田
20029	戸ノ内浜西改良	19,709.31	26.0	54.4	100.0	56.6	2.49	45.1	52.0	90.66	35.7	0.68	39.7	-2.88	45.4	-348.65	62.6	45.9		園田
20030	戸ノ内浜東改良(1)	2,790.54	13.0	64.2	100.0	56.6	2.80	39.4	53.4	93.33	42.6	-	-	-2.43	36.7	-348.49	62.6	47.3		園田
20031	東園田町8丁目改良	9,871.51	15.0	62.8	100.0	56.6	1.80	57.6	59.0	99.21	57.7	15.83	52.6	-3.03	48.3	-348.62	62.6	55.3		園田
20033	口田中西	6,824.84	27.0	53.7	100.0	56.6	1.80	57.6	56.0	98.98	57.1	20.00	56.2	-3.40	55.5	-348.63	62.6	57.9		園田
25030	戸ノ内浜東改良(2)	7,768.48	5.4	70.0	100.0	56.6	1.80	57.6	61.4	90.80	36.1	-	-	-2.13	30.9	-348.62	62.6	43.2		園田

旧耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給				財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限	地区
			築年数 (年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		入居率 (%)	偏差値	入居倍率	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値			
20017	上食満	11,636.52	41.4	42.8	13.1	36.7	3.58	25.3	34.9	100.00	59.7	19.63	55.9	-4.12	69.3	-348.64	62.6	61.9		園田
20018	口田中高層	16,094.39	43.0	41.6	0.0	33.6	1.80	57.6	44.3	100.00	59.7	10.18	47.8	-3.97	66.5	-348.64	62.6	59.2		園田
20019	田能藻川	4,100.59	35.0	47.6	100.0	56.6	2.80	39.4	47.9	100.00	59.7	3.50	42.1	-3.78	62.7	-348.61	62.6	56.8		園田
20020	口田中改良	2,573.91	34.0	48.4	100.0	56.6	2.80	39.4	48.1	100.00	59.7	7.83	45.8	-3.70	61.2	-348.59	62.6	57.3		園田
20028	戸ノ内改良	11,774.61	35.5	47.3	10.5	36.1	2.80	39.4	40.9	100.00	59.7	1.41	40.4	-3.51	57.6	-348.64	62.6	55.1		園田
25020	口田中	1,930.43	34.0	48.4	100.0	56.6	2.80	39.4	48.1	93.33	42.6	5.67	44.0	-3.30	53.5	-348.51	62.6	50.7		園田

ただし、「支出」について、計画修繕(外壁改修、屋上防水等)に伴う「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 入居戸数 / 入居可能戸数
 入居希望戸数 / 入居可能戸数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

現況分析(公園施設)

現状の評価

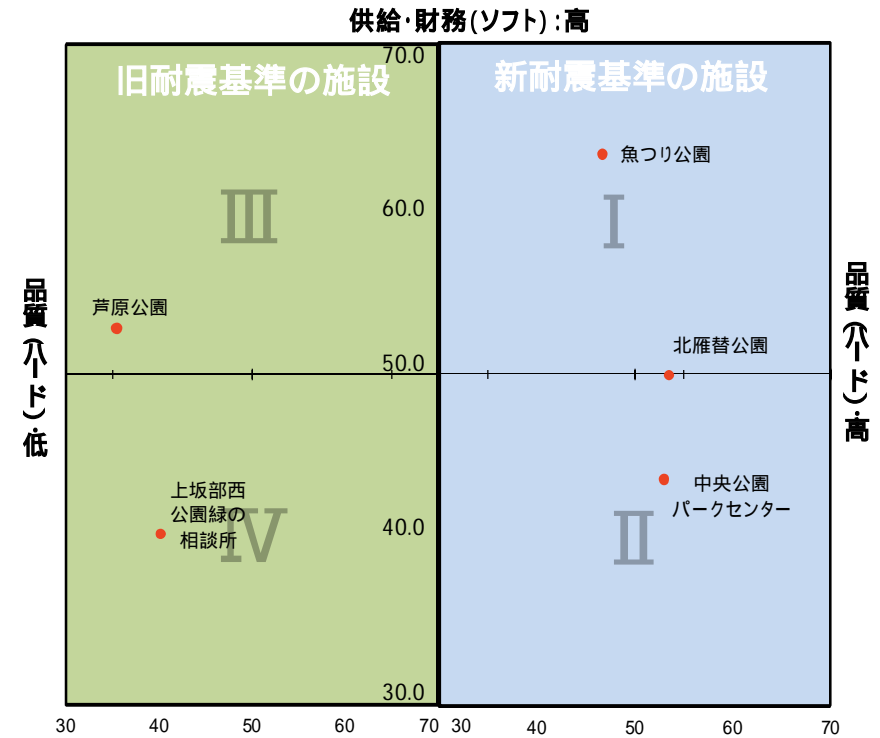
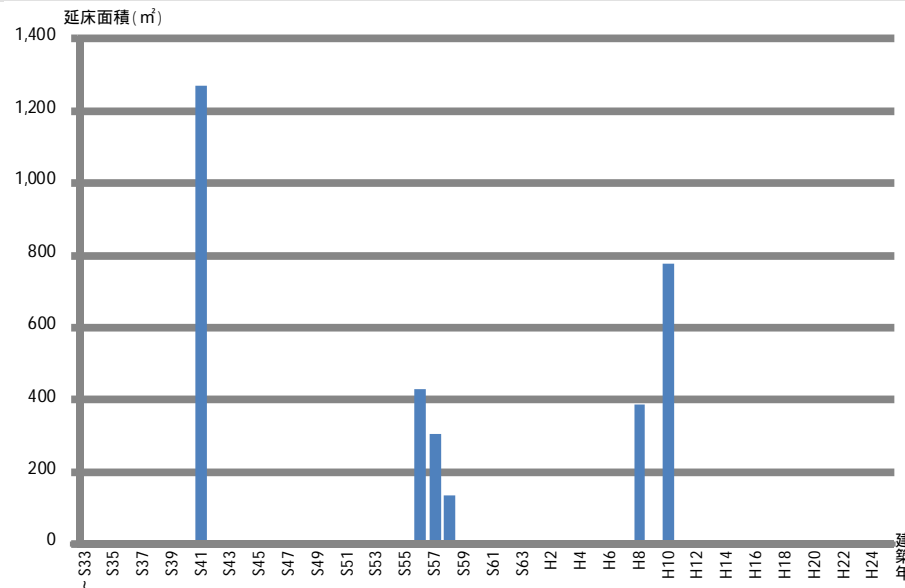
評価対象施設は5、面積は約3千㎡で全体の0.3% を占めている。旧耐震基準が2施設、新耐震基準が3施設となっているが、耐震対応率は60%で、安全面で課題のある施設は少なくなっている。

供給面において、利用度で芦原公園と魚つり公園の1日あたり利用者数が多く、相対的に高い評価となっている。その他の施設は1日あたり約40~60人が利用している。

財務面では、面積あたり市の収支が0千円/㎡から81千円/㎡とばらつきが生じている。

グループの上坂部西公園緑の相談所は、利用度・利用者一人当面積・面積当収支において相対的な評価が低く、課題となっている。

延床面積で算出。



		供給・財務(ソフト):低					
		旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]			
ソフト	50以上	1	1,386.70	42.7	1	295.78	9.1
	50未満	1	421.28	13.0	2	1,144.19	35.2

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
29.1	60.0	2.89

現況分析(公園施設)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(1日あたり利用者)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
620	北雁替公園	377.20	18.0	60.5	100.0	56.6	2.58	43.5	53.5	66.27	45.3	5.69	55.9	23.21	51.3	78.8	47.3	49.9	
623	中央公園パークセンター	766.99	16.0	62.0	100.0	56.6	2.74	40.5	53.0	53.98	43.2	14.21	38.5	24.80	50.8	100.0	42.2	43.7	
778	魚つり公園	295.78	32.0	49.9	100.0	56.6	3.12	33.6	46.7	176.83	64.2	1.67	64.1	0.00	58.5	0.0	66.3	63.3	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(1日あたり利用者)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
506	芦原公園	1,386.70	46.5	39.0	0.0	33.6	3.11	33.8	35.5	131.96	56.6	10.51	46.1	6.95	56.3	58.4	52.2	52.8	
137	上坂部西公園緑の相談所	421.28	33.0	49.2	0.0	33.6	2.89	37.8	40.2	38.99	40.7	10.80	45.5	81.57	33.1	100.0	42.2	40.3	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(消防施設)

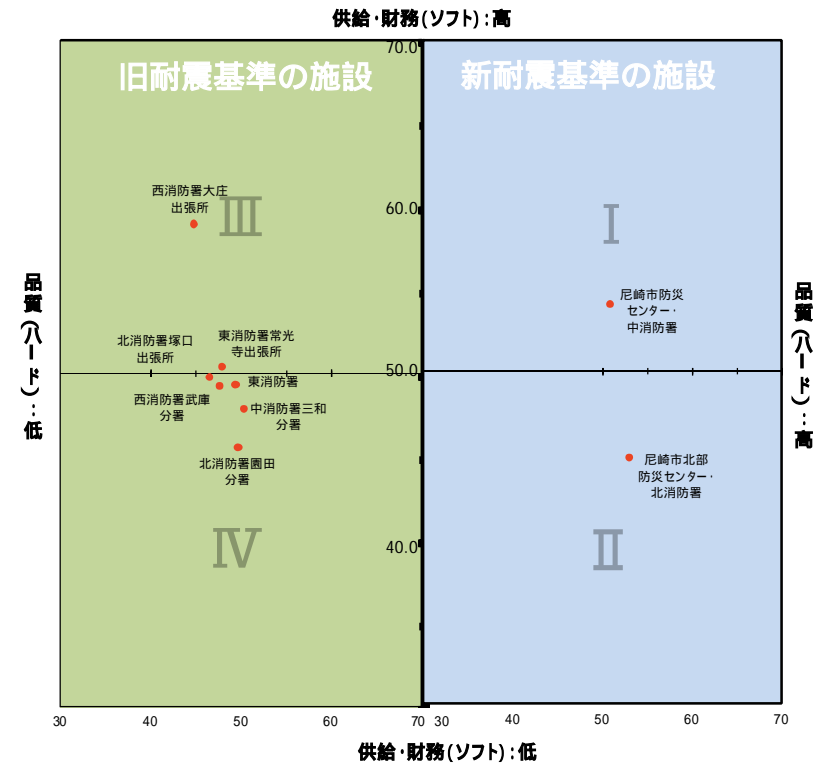
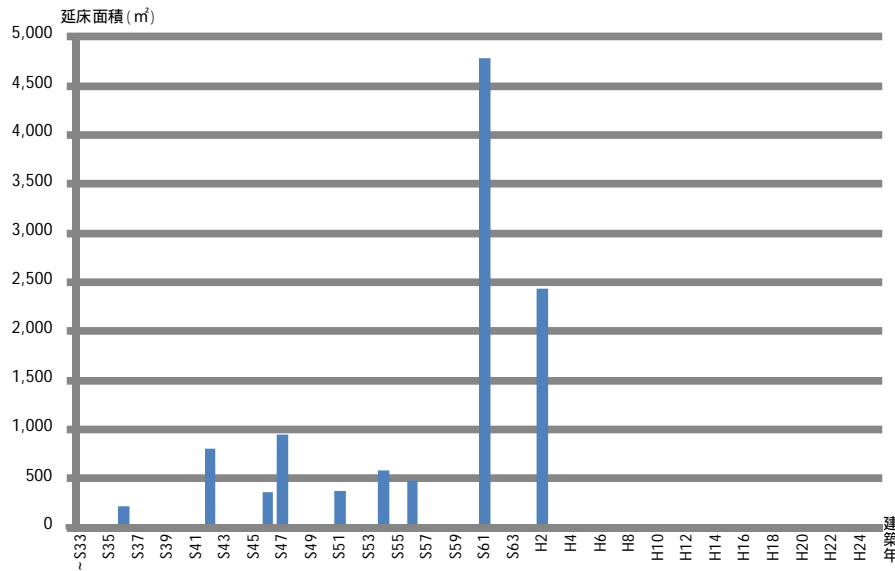
現状の評価

評価対象施設は9、10.7千㎡で面積は全体の0.86% を占めている。そのうち7が旧耐震基準、2が新耐震基準の施設であり、平均築年数は38.1年で平均値の33.4年を上回っているが、耐震対応率は100%で、安全面での機能は有している施設となっている。

供給面では、職員一人あたり面積で最も低いものが10.52㎡/人の北消防署園田分署であるのに対し、最も高いもので59.23㎡/人の尼崎市北部防災センター・北消防署となっており、ばらつきが見られる。

財務面では、面積あたり市の収支が相対的に高い値となっており、最も低いものが137千円/㎡の尼崎市北部防災センター・北消防署であるのに対し、最も高いもので北消防署園田分署で769千円/㎡となっており、コスト面でもばらつきが見られる。

延床面積で算出。



ソフト	築年	旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	2	517.42	4.8	1	4,753.28	44.4	
50未満	5	3,027.52	28.3	1	2,408.57	22.5	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
38.1	100.0	2.51

現況分析(消防施設)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給		財務				平均偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		職員一人あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支 (千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
1068	尼崎市防災センター・中消防署	4,753.28	28.0	52.9	100.0	56.6	2.60	43.1	50.9	33.53	43.5	240.57	60.1	99.904	58.65	54.1	
1069	尼崎市北部防災センター・北消防署	2,408.57	24.0	55.9	100.0	56.6	2.41	46.5	53.0	59.23	26.2	137.93	65.5	99.964	42.86	44.8	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給		財務				平均偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		職員一人あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支 (千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
7	中消防署三和分署	549.33	35.0	47.6	100.0	56.6	2.55	44.0	49.4	17.53	54.2	465.75	48.2	99.953	45.60	49.3	
8	東消防署	919.61	42.0	42.4	100.0	56.6	2.56	43.8	47.6	22.99	50.5	353.80	54.1	99.963	43.07	49.2	
9	東消防署常光寺出張所	324.79	43.0	41.6	100.0	56.6	2.47	45.4	47.9	14.76	56.1	544.44	44.0	99.933	51.08	50.4	
11	西消防署大庄出張所	192.63	53.0	34.1	100.0	56.6	2.57	43.6	44.8	19.26	53.0	417.90	50.7	99.850	73.15	59.0	
13	北消防署塚口出張所	767.55	47.0	38.6	100.0	56.6	2.53	44.5	46.6	22.58	50.8	360.37	53.7	99.957	44.72	49.8	
15	北消防署園田分署	340.28	38.0	45.4	100.0	56.6	2.38	47.1	49.7	10.52	58.9	769.34	32.2	99.954	45.54	45.5	
12	西消防署武庫分署	450.75	33.0	49.2	100.0	56.6	2.48	45.2	50.3	13.66	56.8	592.56	41.5	99.954	45.35	47.9	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 延床面積 / 職員数
 財務: 収支 / 延床面積
 支出 / 収入

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(幼稚園)

現状の評価

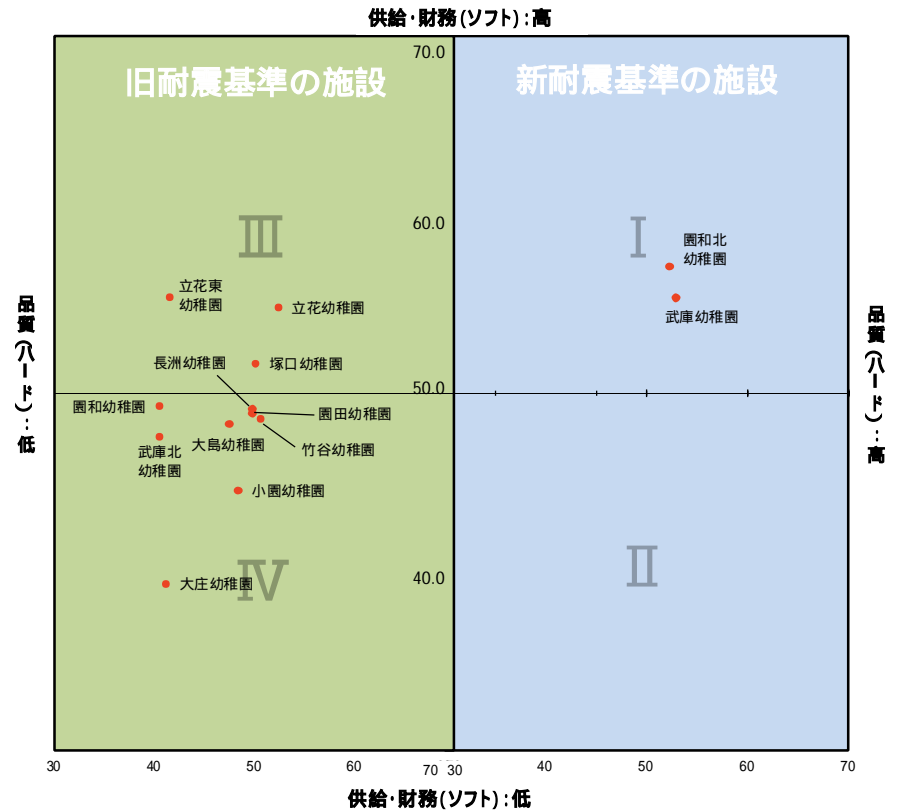
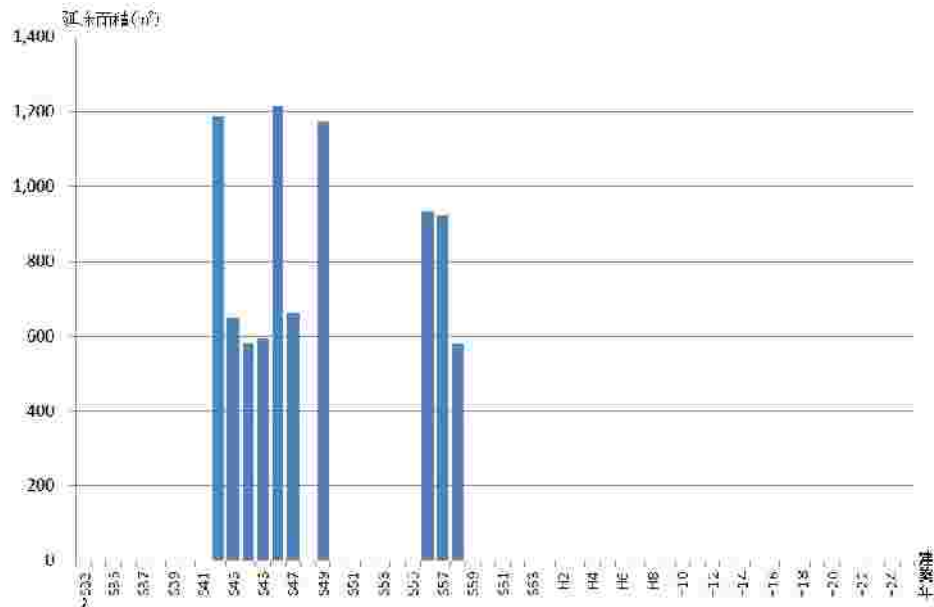
幼稚園は18施設で、現在、「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」に基づいた取組を進めており、そのうち廃止を決定した5園を除いた評価対象施設は13、面積は8千㎡で全体の0.7%を占めている。旧耐震基準の施設が11、新耐震基準の施設が2で、平均築年数が41.0年で平均値を上回っているが、平均耐震対応率は約70%で安全面での対応を進めている。

供給面では、定員に対する充足率は約32~62%程度とばらつきが生じている。

財務面では、面積あたりの市の収支はおおよそ約1.00~約1.80千円/㎡の間に収まっており、各施設において大きなばらつきは見られない。

グループに属している大庄・園和・武庫北の各幼稚園は充足率が低いため、竹谷・長洲・大島・園田・小園の各幼稚園は面積あたりの市の収支が相対的に高い値になっているため、評価が低くなっている。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[m ²]	割合[%]		面積[m ²]	割合[%]
50以上	3	2,167.00	25.5	2	1,504.00	17.7	
50未満	8	4,828.00	56.8	0	0.00	0.0	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
41.0	69.2	2.22

現況分析(幼稚園)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給		財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10062	武庫幼稚園	924.00	32.0	49.9	100.0	56.6	2.10	52.2	52.9	53.5	51.8	1.23	58.9	100.0	-	55.3	
10066	園和北幼稚園	580.00	31.0	50.7	100.0	56.6	2.25	49.6	52.3	62.7	63.5	1.44	50.7	100.0	-	57.1	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給		財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10055	竹谷幼稚園	603.00	40.0	43.9	100.0	56.6	2.14	51.5	50.7	54.5	53.2	1.61	44.0	100.0	-	48.6	
10056	大庄幼稚園	581.00	45.0	39.9	0.0	33.6	2.22	50.1	41.2	42.5	37.8	1.69	40.9	100.0	-	39.3	
10057	長洲幼稚園	581.00	43.0	41.6	100.0	56.6	2.15	51.4	49.9	53.3	51.6	1.54	46.7	100.0	-	49.1	
10058	大島幼稚園	595.00	47.0	38.6	100.0	56.6	2.36	47.4	47.5	56.3	55.4	1.68	41.1	100.0	-	48.3	
10059	立花幼稚園	935.00	33.0	49.2	100.0	56.6	2.14	51.6	52.4	54.0	52.4	1.28	57.2	100.0	-	54.8	
10060	立花東幼稚園	571.00	40.0	43.6	0.0	33.6	2.36	47.5	41.6	56.7	55.9	1.33	55.0	100.0	-	55.4	
10061	塚口幼稚園	661.00	42.0	42.4	100.0	56.6	2.14	51.5	50.2	46.9	43.4	1.21	60.0	100.0	-	51.7	
10063	武庫北幼稚園	595.00	47.0	38.4	0.0	33.6	2.24	49.7	40.6	32.8	25.4	0.96	69.8	100.0	-	47.6	
10064	園田幼稚園	632.00	43.0	41.6	100.0	56.6	2.15	51.3	49.8	60.5	60.8	1.79	37.0	100.0	-	48.9	
10065	園和幼稚園	646.00	46.0	39.2	0.0	33.6	2.29	48.8	40.5	49.4	46.6	1.41	52.0	100.0	-	49.3	
10067	小園幼稚園	595.00	44.0	40.9	100.0	56.6	2.34	47.8	48.4	53.8	52.2	1.79	36.9	100.0	-	44.6	

ただし、「支出」は突発的に発生する「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 実人員 / 定員
 財務: 収支 / 延床面積
 支出 / 収入

現況分析(小学校)

現状の評価

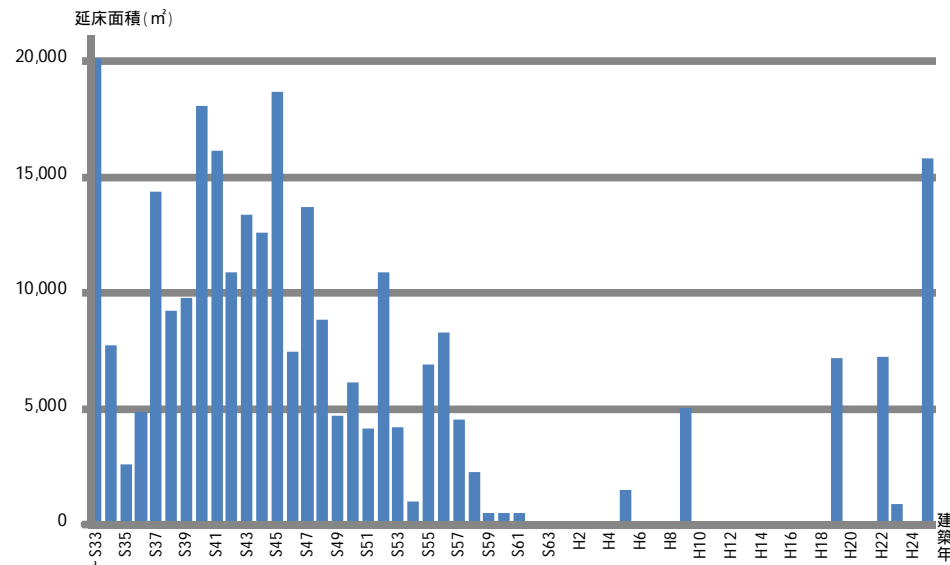
小学校については、「尼崎市立小・中学校適正規模・適正配置推進計画」に基づいた取組を進めており、計画の対象校である6校を除いた評価対象施設は37、面積は約276千㎡で、全体の22.2% を占めている。旧耐震基準の施設は32、新耐震基準の施設は5、平均築年数は42.2年と全体の平均値を上回っているが、平均耐震対応率は7割を超えており、安全面での対策は進められている。

供給面では、クラス数で6～31クラス、生徒一人当面積で約9～約39㎡/人と大きなばらつきが生じており、市有財産の有効活用の観点から課題が生じている学校がある。

財務面では、面積当市の収支で、約1.31～2.49 / ㎡となっており、各校間で大きな差は生じていない。

グループに属する17施設は、クラス数が相対的に少ない施設が11施設、面積当市の収支が5施設で相対的な評価が低く、その他が1となっている。

延床面積で算出。



		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
ソート	50以上	15	118,805.00	43.0	3	27,185.00	9.8
	50未満	17	116,306.00	42.1	2	14,156.00	5.1

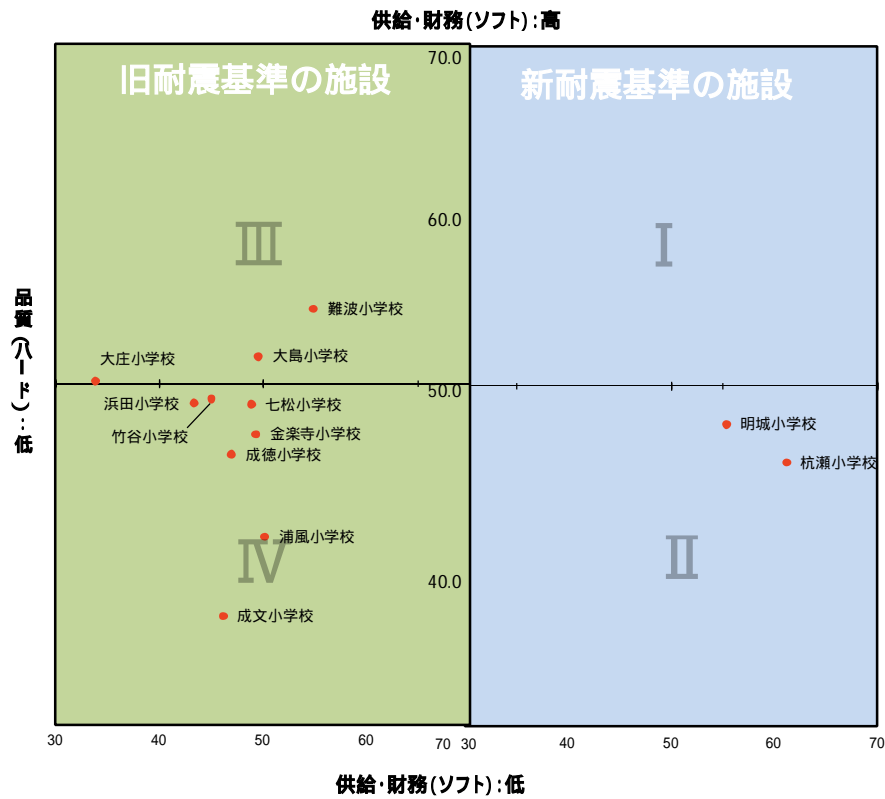
平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
42.2	74.7	1.85

評価指標
品質: 築年数
耐震対応率
現地調査
供給: 学級数
延床面積 / 児童数
財務: 収支 / 延床面積
(支出 - 収入) / 支出

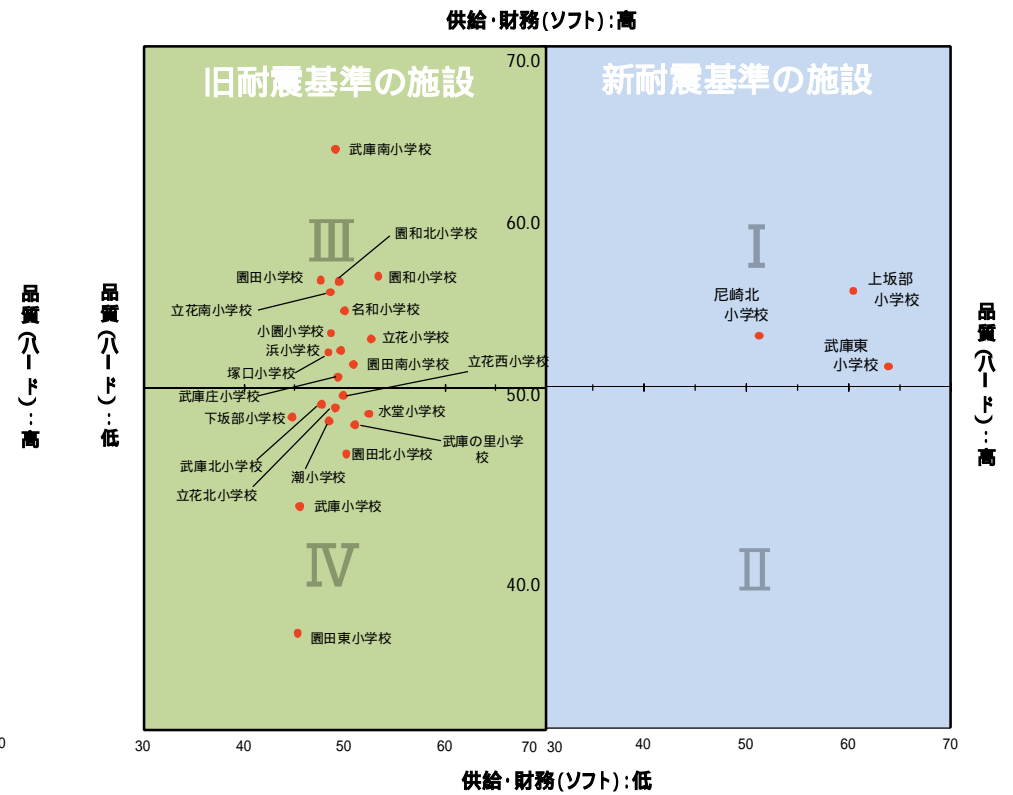
ただし、「支出」は突発的に発生する「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(小学校)

南部地区



北部地区



注: 郵便番号が661を北部、660を南部として分類

現況分析(小学校)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給				財務				平均偏差値 (ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		学級数	偏差値	児童一人あたり面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値			
10001	明城小学校	6,227.00	21.0	58.2	100.0	56.6	2.15	51.3	55.4	21.33	51.9	11.01	57.1	2.21	33.6	100.0	48.4	47.7		南部
10006	杭瀬小学校	7,929.00	11.7	65.2	100.0	56.6	1.57	61.8	61.2	14.33	40.1	18.77	43.1	1.73	50.4	100.0	48.4	45.5		南部
10021	尼崎北小学校	8,256.00	30.6	50.9	79.0	51.8	1.90	55.8	52.9	26.00	59.7	11.04	57.1	1.70	51.6	100.0	48.4	54.2		北部
10027	武庫東小学校	10,587.00	5.0	70.2	100.0	56.6	1.12	70.2	65.7	27.33	61.9	12.49	54.4	1.91	44.1	100.0	48.4	52.2		北部
10035	上坂部小学校	8,342.00	13.5	63.9	100.0	56.6	1.34	66.1	62.2	30.00	66.4	9.52	59.8	1.69	51.8	100.0	48.4	56.6		北部

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給				財務				平均偏差値 (ソフト)	象限	地区
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		学級数	偏差値	児童一人あたり面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値			
10002	難波小学校	7,893.00	33.8	48.6	100.0	56.6	1.70	59.5	54.9	22.00	53.0	13.07	53.4	1.37	62.9	100.0	48.4	54.4		南部
10003	竹谷小学校	6,714.00	63.8	25.9	100.0	56.6	2.35	47.6	43.4	14.67	40.7	17.47	45.5	1.43	61.0	100.0	48.4	48.9		南部
10007	浦風小学校	5,116.00	51.9	34.9	44.4	43.8	1.02	71.9	50.2	9.67	32.3	22.37	36.6	1.83	46.8	100.0	48.4	41.0		南部
10008	金楽寺小学校	5,581.00	47.7	38.1	66.7	49.0	1.62	61.0	49.3	19.00	48.0	11.68	55.9	2.15	35.9	100.0	48.4	47.0		南部
10010	大庄小学校	8,250.00	70.7	20.7	1.0	33.9	2.38	47.0	33.9	18.67	47.4	17.38	45.6	1.48	59.3	100.0	48.4	50.2		南部
10011	成文小学校	5,817.00	42.9	41.7	6.6	35.2	1.58	61.7	46.2	13.00	37.9	23.05	35.4	2.49	23.7	100.0	48.4	36.3		南部
10012	成徳小学校	5,375.00	48.1	37.7	100.0	56.6	2.41	46.6	47.0	12.67	37.3	17.34	45.7	1.68	52.0	100.0	48.4	45.9		南部
10013	大島小学校	7,447.00	47.7	38.1	42.7	43.4	1.28	67.2	49.6	24.33	56.9	11.00	57.1	1.91	44.1	100.0	48.4	51.6		南部
10014	浜田小学校	7,547.00	44.5	40.5	27.8	40.0	1.96	54.8	45.1	16.67	44.0	18.45	43.7	1.44	60.4	100.0	48.4	49.1		南部
10023	七松小学校	7,089.00	40.9	43.2	100.0	56.6	2.39	47.0	48.9	18.00	46.3	14.78	50.3	1.73	50.3	100.0	48.4	48.8		南部
10004	下坂部小学校	7,267.00	59.7	29.0	100.0	56.6	2.29	48.8	44.8	15.67	42.4	15.94	48.2	1.62	54.2	100.0	48.4	48.3		北部
10005	潮小学校	5,694.00	45.5	39.7	100.0	56.6	2.28	49.0	48.4	14.00	39.6	18.51	43.6	1.44	60.7	100.0	48.4	48.1		北部
10009	浜小学校	7,566.00	46.6	38.9	100.0	56.6	2.23	49.8	48.4	23.67	55.8	11.78	55.7	1.79	48.5	100.0	48.4	52.1		北部
10015	立花小学校	7,546.00	47.1	38.5	0.0	33.6	0.26	85.8	52.6	20.67	50.8	13.57	52.5	1.46	59.9	100.0	48.4	52.9		北部
10016	立花南小学校	7,871.00	41.2	42.9	100.0	56.6	2.42	46.3	48.6	23.00	54.7	12.56	54.3	1.31	65.0	100.0	48.4	55.6		北部
10017	立花西小学校	8,621.00	46.4	39.0	91.2	54.6	1.90	55.9	49.9	21.67	52.4	14.59	50.7	1.84	46.8	100.0	48.4	49.6		北部
10018	立花北小学校	6,749.00	36.7	46.3	100.0	56.6	2.53	44.3	49.1	15.00	41.2	17.00	46.3	1.47	59.4	100.0	48.4	48.8		北部
10019	名和小学校	7,918.00	42.5	42.0	57.6	46.9	1.90	61.3	50.0	24.00	56.4	11.72	55.8	1.53	57.5	100.0	48.4	54.5		北部
10020	塚口小学校	8,379.00	49.3	36.8	82.0	52.5	1.69	59.6	49.6	29.00	64.7	10.02	58.9	2.12	36.8	100.0	48.4	52.2		北部
10022	水堂小学校	7,986.00	48.4	37.5	29.3	40.4	0.61	79.4	52.4	19.67	49.1	14.60	50.6	1.86	45.8	100.0	48.4	48.5		北部
10024	武庫小学校	8,830.00	54.0	33.3	100.0	56.6	2.40	46.7	45.6	15.67	42.4	20.92	39.3	1.96	42.3	100.0	48.4	43.1		北部
10025	武庫南小学校	8,403.00	42.9	41.7	100.0	56.6	2.28	49.0	49.1	23.33	55.2	12.82	53.9	2.10	37.6	99.9	109.2	64.0		北部
10026	武庫北小学校	9,015.00	44.5	40.5	90.4	54.4	2.32	48.2	47.7	20.33	50.2	16.55	47.1	1.73	50.4	100.0	48.4	49.0		北部
10028	武庫庄小学校	7,263.00	38.9	44.7	100.0	56.6	2.40	46.7	49.3	27.33	61.9	9.22	60.3	2.26	31.9	100.0	48.4	50.6		北部
10030	園田小学校	8,894.00	47.6	38.1	63.2	48.2	1.86	56.6	47.6	31.33	68.7	9.49	59.9	1.79	48.3	100.0	48.4	56.3		北部
10031	園田北小学校	5,737.00	41.4	42.8	100.0	56.6	2.16	51.1	50.2	13.00	37.9	18.41	43.8	1.61	54.5	100.0	48.4	46.1		北部
10032	園和小学校	8,439.00	49.3	36.9	3.5	34.4	0.09	88.8	53.4	29.33	65.3	10.23	58.5	1.63	54.0	100.0	48.4	56.5		北部
10033	園和北小学校	8,739.00	43.1	41.5	96.8	55.9	2.17	50.9	49.5	25.00	58.0	11.55	56.1	1.39	62.4	100.0	48.4	56.2		北部
10034	園田東小学校	6,056.00	50.5	36.0	0.0	33.6	1.32	66.5	45.4	6.00	26.1	39.32	6.1	1.40	62.0	100.0	48.4	35.6		北部
10036	小園小学校	7,571.00	43.7	41.1	83.3	52.8	2.10	52.2	48.7	22.33	53.6	12.05	55.2	1.58	55.7	100.0	48.4	53.2		北部
10037	園田南小学校	6,626.00	33.7	48.6	100.0	56.6	2.36	47.4	50.9	20.00	49.6	11.11	56.9	1.73	50.6	100.0	48.4	51.4		北部
10029	武庫の里小学校	7,112.00	33.0	49.2	100.0	56.6	2.37	47.4	51.0	20.33	50.2	12.12	55.1	2.09	37.7	100.0	48.4	47.8		北部

現況分析(中学校)

現状の評価

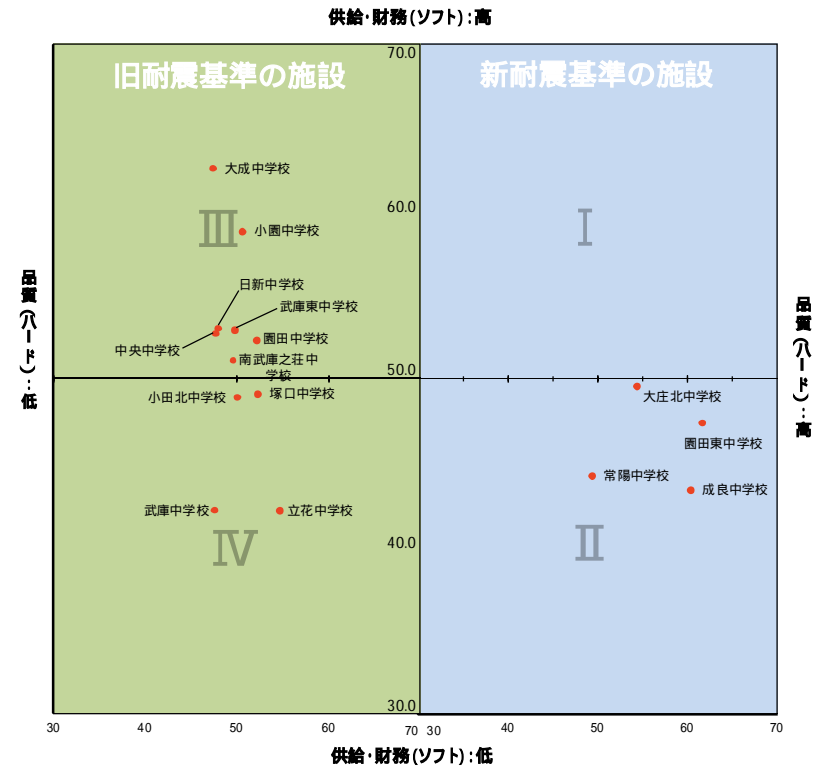
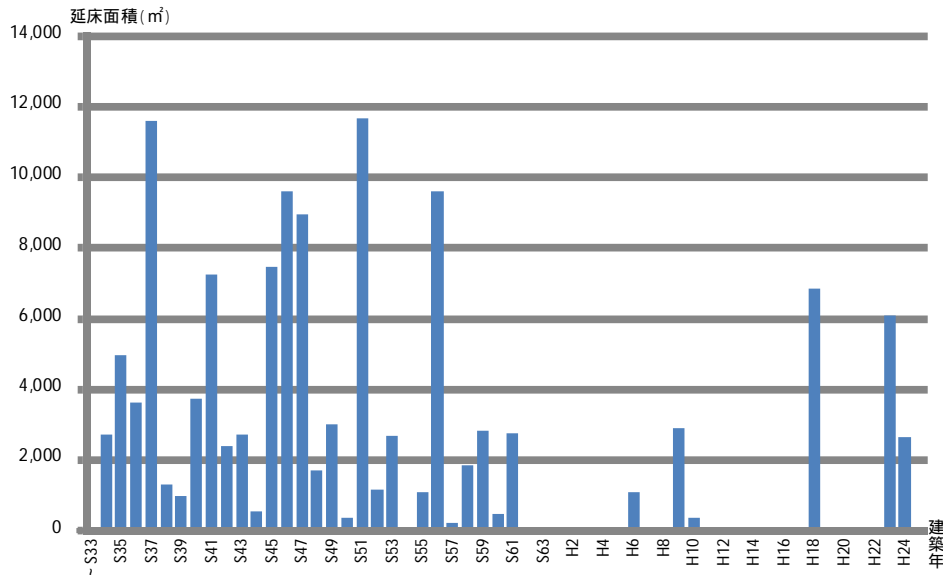
中学校については、「尼崎市立小・中学校適正規模・適正配置推進計画」に基づいた取組を進めており、計画の対象校である4校を除いた評価対象施設は15、面積は124千㎡で全体の10.0%を占めている。旧耐震基準の施設が11、新耐震基準の施設が4となっており、平均築年数は37.4年で全体の平均を上回っているが、平均耐震対応率は9割を超えており、安全面で課題のある施設は少なくなっている。

供給面では、クラス数で11～24クラス、生徒一人当面積で9～25㎡/人とばらつきが生じており、市有財産の効率利用の観点から課題が生じている学校がある。

財務面では、面積当市の収支で、0.97～2.16と費用負担の面で各校間でばらつきは少なく、均一な維持管理となっている。

グループに属する小田北中学校、立花中学校、武庫中学校はクラス数が相対的に少なく、塚口中学校は、面積当たりしの収支が相対的に高いため、評価が低くなっている。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震		新耐震			
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[m ²]	割合[%]		面積[m ²]	割合[%]
50以上	7	57,409.00	46.1	0	0.00	0.0	
50未満	4	35,848.00	28.8	4	31,264.00	25.1	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
37.4	92.3	1.97

現況分析(中学校)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給				財務				平均偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		学級数	偏差値	生徒一人あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支 (千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
10038	成良中学校	7,857.00	14.0	63.5	100.0	56.6	1.61	61.1	60.4	14.0	39.1	19.1	40.7	1.5	48.9	96.8	44.7	43.4	
10043	大庄北中学校	6,994.00	32.9	49.2	100.0	56.6	1.81	57.5	54.4	17.3	48.0	14.4	51.8	1.3	55.0	97.0	43.5	49.6	
10049	常陽中学校	7,902.00	32.5	49.5	100.0	56.6	2.66	42.1	49.4	14.0	39.1	20.1	38.5	1.6	47.1	95.5	52.1	44.2	
10051	園田東中学校	8,511.00	13.3	64.0	100.0	56.6	1.43	64.4	61.7	19.7	54.2	13.6	53.6	1.5	51.5	99.3	30.2	47.4	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均偏差値 (ハード)	供給				財務				平均偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		学級数	偏差値	生徒一人あたり面積 (㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収支 (千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
10039	中央中学校	8,643.00	43.1	41.6	100.0	56.6	2.50	45.0	47.7	20.3	56.0	12.8	55.4	1.5	51.4	96.2	48.1	52.7	
10040	日新中学校	7,628.00	49.1	37.0	100.0	56.6	2.21	50.2	48.0	17.3	48.0	15.3	49.6	1.3	57.1	94.6	57.4	53.0	
10041	小田北中学校	8,042.00	42.6	41.9	100.0	56.6	2.13	51.6	50.1	13.0	36.5	18.5	42.1	1.3	55.0	93.8	61.9	48.9	
10042	大成中学校	7,268.00	47.3	38.4	100.0	56.6	2.37	47.2	47.4	19.0	52.4	11.4	58.7	1.0	65.5	91.7	73.6	62.6	
10044	立花中学校	9,199.00	37.7	45.6	100.0	56.6	1.56	62.0	54.7	17.0	47.1	17.2	45.3	2.2	30.9	96.7	45.1	42.1	
10045	塚口中学校	9,083.00	44.4	40.6	42.5	43.4	0.96	73.0	52.3	19.7	54.2	13.6	53.6	1.9	38.1	95.8	50.4	49.1	
10046	武庫中学校	9,524.00	48.4	37.5	97.6	56.0	2.26	49.3	47.6	11.3	32.1	25.7	25.4	1.0	63.5	96.2	47.7	42.1	
10047	南武庫之荘中学校	9,353.00	39.7	44.1	100.0	56.6	2.32	48.1	49.6	20.7	56.8	13.2	54.4	1.4	54.0	97.7	39.1	51.1	
10048	武庫東中学校	8,084.00	37.0	46.1	100.0	56.6	2.40	46.7	49.8	20.0	55.1	11.9	57.5	1.7	44.9	95.1	54.1	52.9	
10050	園田中学校	7,908.00	43.4	41.3	44.4	43.8	1.04	71.6	52.2	23.7	64.8	9.8	62.5	2.1	32.8	96.0	49.0	52.3	
10052	小園中学校	8,525.00	36.2	46.8	100.0	56.6	2.30	48.5	50.6	24.3	66.6	10.4	61.0	1.4	54.4	95.3	53.1	58.8	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 学級数
 延床面積 / 生徒数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(高等学校)

現状の評価

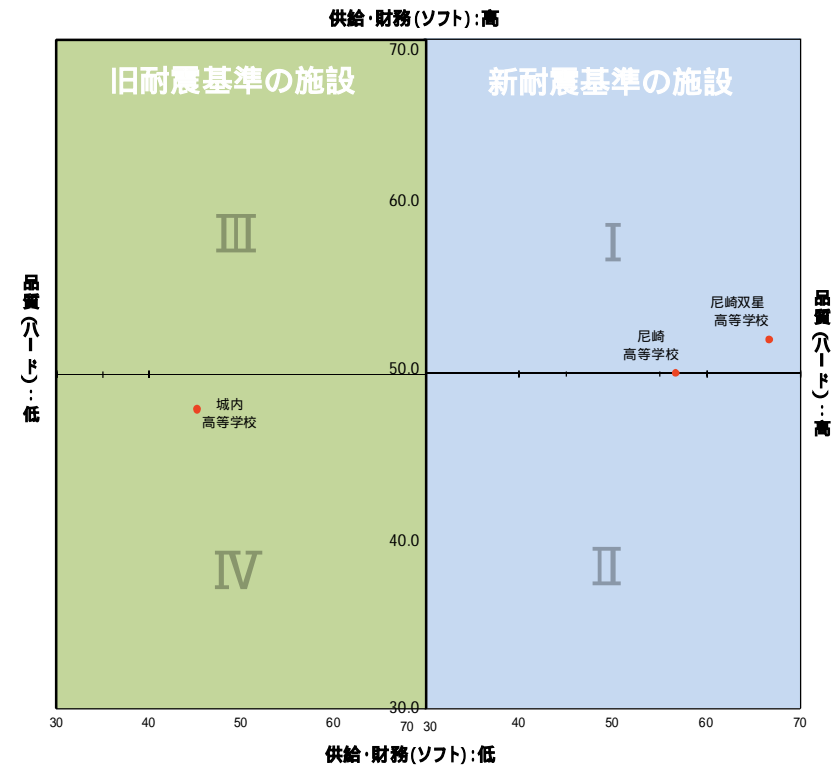
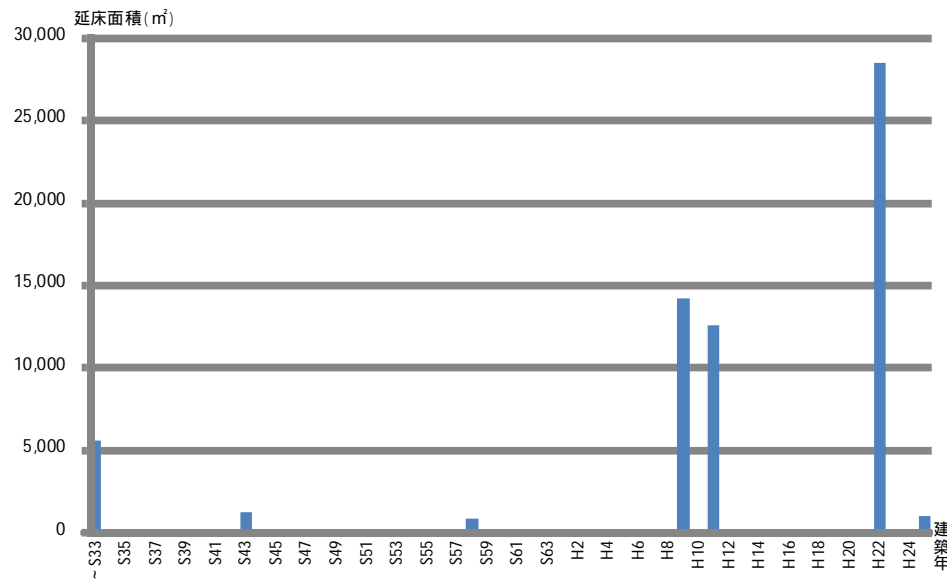
評価対象施設は3、面積は62千㎡で全体のうち5.0% を占めている。旧耐震基準の施設が1、新耐震基準の施設が2となっており、耐震対応率は100%であり、安全面では対応はなされている。

供給面では、各校とも生徒一人あたり面積は30~40[㎡/人]前後であり、ばらつきは見られない。

財務面では、尼崎高等学校が面積あたりの市の収支で高くなっていることから相対的な評価が低くなっている。

グループに属している城内高等学校は、充足率が75%となっており、他2校が100%であるため、相対的な評価が低くなっている。

延床面積で算出。



ソフト	施設数	旧耐震		新耐震		
		延床面積		施設数	延床面積	
		面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	0	0.00	0.0	2	55,417.00	88.3
50未満	1	7,336.00	11.7	0	0.00	0.0

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
28.5	100.0	1.71

現況分析(高等学校)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	生徒一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10053	尼崎高等学校	27,072.00	16.5	61.6	100.0	56.6	2.12	51.8	56.7	98.9	55.6	28.52	55.5	2.74	38.6	97.78	50.4	50.0	
10145	尼崎双星高等学校	28,345.00	4.0	71.0	100.0	56.6	1.00	72.3	66.6	99.3	55.9	39.75	38.5	1.56	54.0	95.83	59.8	52.0	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	生徒一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10054	城内高等学校	7,336.00	64.9	25.1	100.0	56.6	2.00	54.0	45.2	75.0	38.5	28.18	56.0	1.30	57.4	100.00	39.8	47.9	

城内高等学校は全面改修工事中であったため現地調査は未実施だが、改修工事により補強されるため現地調査結果はランク2とした。

評価指標
 品質：築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給：実人員 / 定員
 延床面積 / 生徒数
 財務：収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(教育系研修施設)

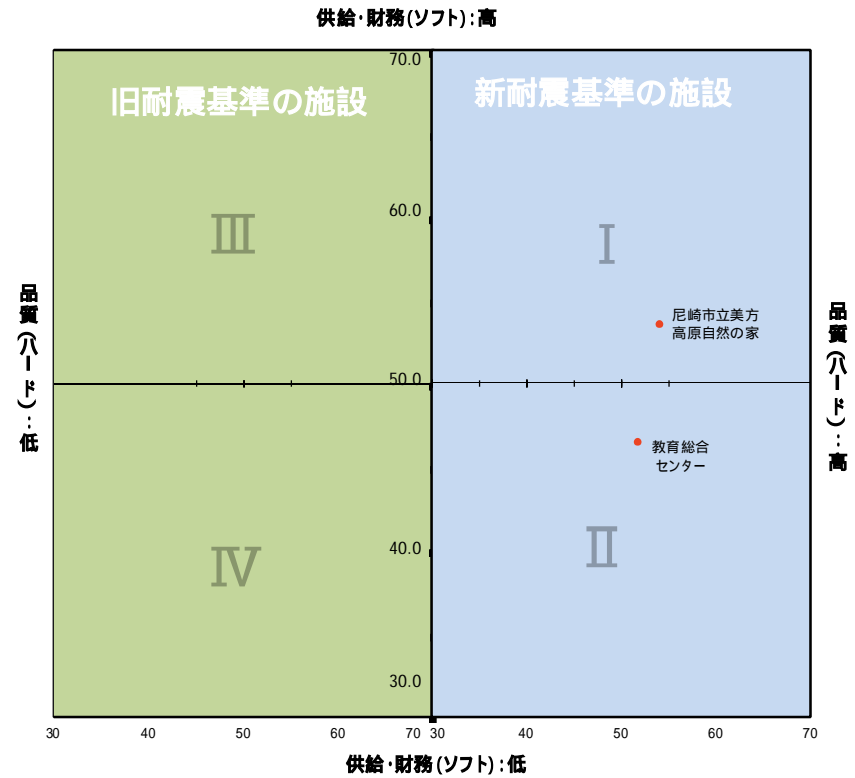
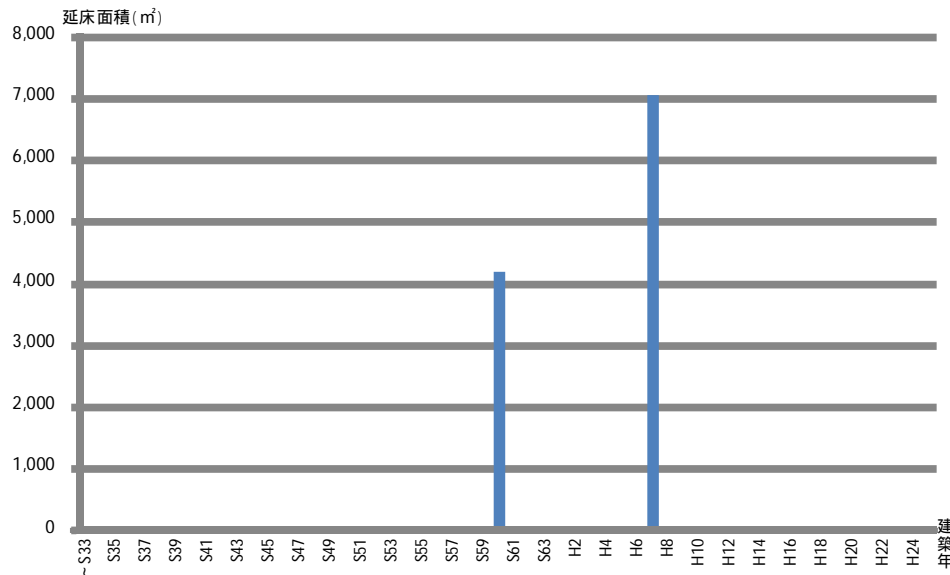
現状の評価

評価対象施設は2、11.1千㎡で面積は全体の0.9% を占めている。全施設が新耐震基準の施設であり、平均築年数は24年で平均値の33.4年を下回っており、耐震対応率は100%で、安全面での機能は有している施設となっている。

供給面では、利用率で教育総合センターが約27%と低く、一方、尼崎市立美方高原自然の家で約42%でばらつきが見られる。

財務面では、面積あたり市の収支で他用途の施設との比較で低い値となっているが、尼崎市立美方高原自然の家で約14千円/㎡、教育総合センターで35千円/㎡となっており、コスト面でばらつきが見られる。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	0	0.00	0	1	7,014.34	62.9	
50未満	0	0.00	0	1	4,142.16	37.1	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
24.00	100.00	2.43

現況分析(教育系研修施設)

新耐震基準の施設

台帳 番号	施設名称	占有面積 (㎡)	品質						平均 偏差値 (ハード)	供給				財務				平均 偏差値 (ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震 対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率 (%)	偏差値	利用者一人あた り面積(㎡/人)	偏差値	面積あたりの市の収 支(千円/㎡)	偏差値	原価率	偏差値		
827	教育総合センター	4,142.16	29.0	52.2	100.0	56.6	2.41	46.6	51.8	27.46	42.9	21.24	57.1	35.78	42.9	99.79	42.9	46.5	
1048	尼崎市立美方高原自然の家	7,014.34	19.0	59.7	100.0	56.6	2.45	45.8	54.0	42.17	57.1	49.06	42.9	14.54	57.1	77.37	57.1	53.5	

旧耐震基準の施設

注: 該当施設存在せず

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(図書館)

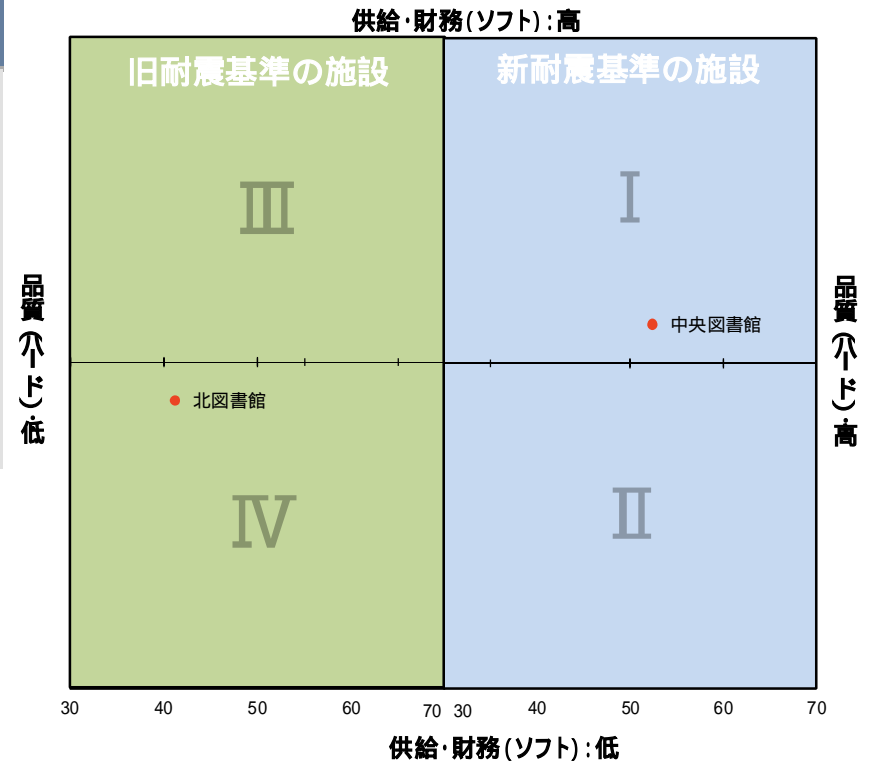
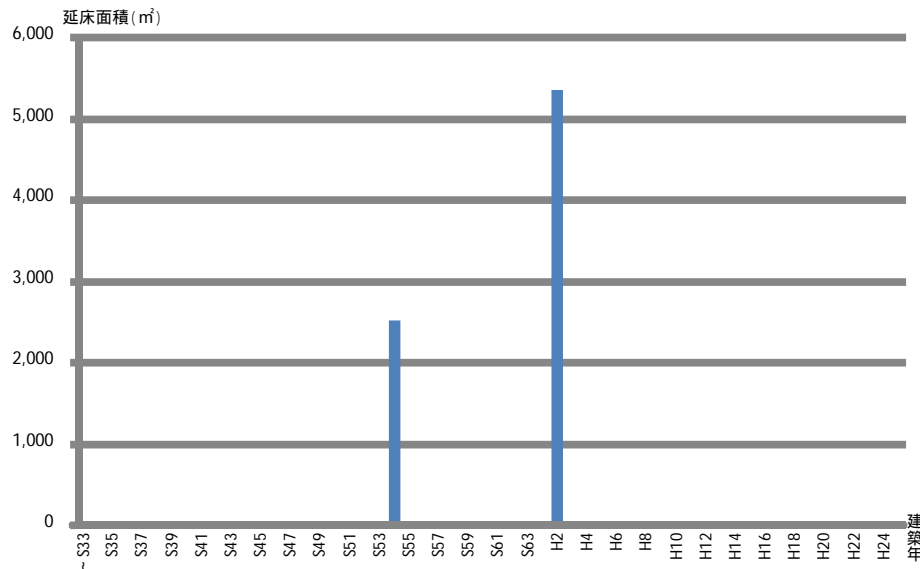
現状の評価

評価対象施設は2、面積は約8千㎡で、全体の0.6% を占めており、旧耐震基準の施設が1、新耐震基準の施設が1で平均耐震対応率は50%となっており、安全面で課題のある施設がある。

供給面では、貸し出し冊数が多いことから稼働率で北図書館の相対的な評価が高くなっている。

財務面では、中央図書館が北図書館より面積あたりの市の収支や原価率において相対的に効率的な運営となっていることから、北図書館の評価が低くなっている。

延床面積で算出。



ソフト	施設数	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	0	0.00	0.0	1	5,314.68	68.2	
50未満	1	2,477.49	31.8	0	0.00	0.0	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
29.5	50.0	2.58

現況分析(図書館)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質					平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査		偏差値	稼働率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率			偏差値
2326	中央図書館	5,314.68	24.0	55.9	100.0	56.6	2.52	44.6	52.4	111.78	42.9	-	-	20.12	57.1	98.66	57.1	52.4	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質					平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限	
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査		偏差値	稼働率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率			偏差値
2327	北図書館	2,477.49	35.0	47.6	0.0	33.6	2.64	42.5	41.3	351.89	57.1	-	-	39.35	42.9	99.64	42.9	47.6	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間貸出冊数 / 蔵書数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(公民館)

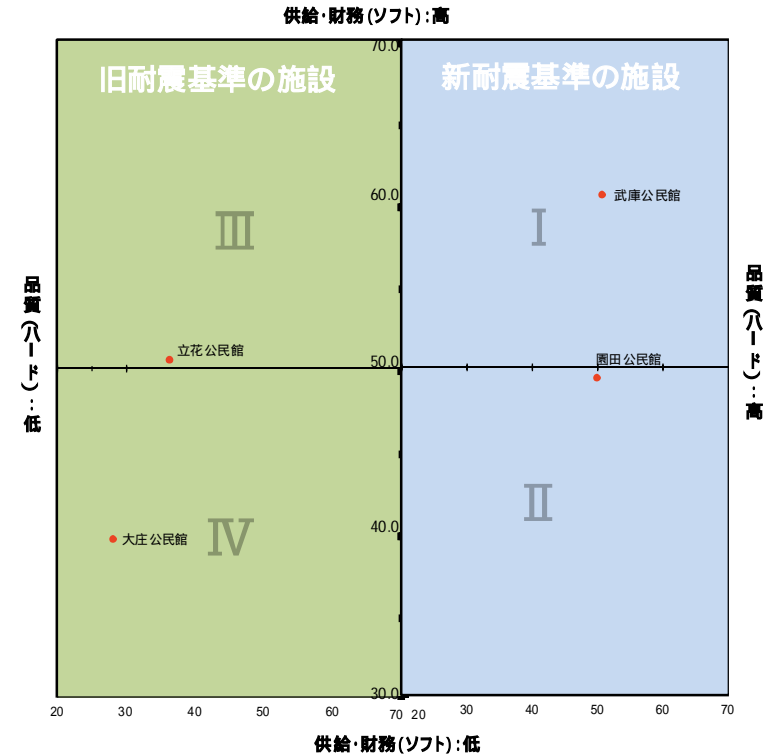
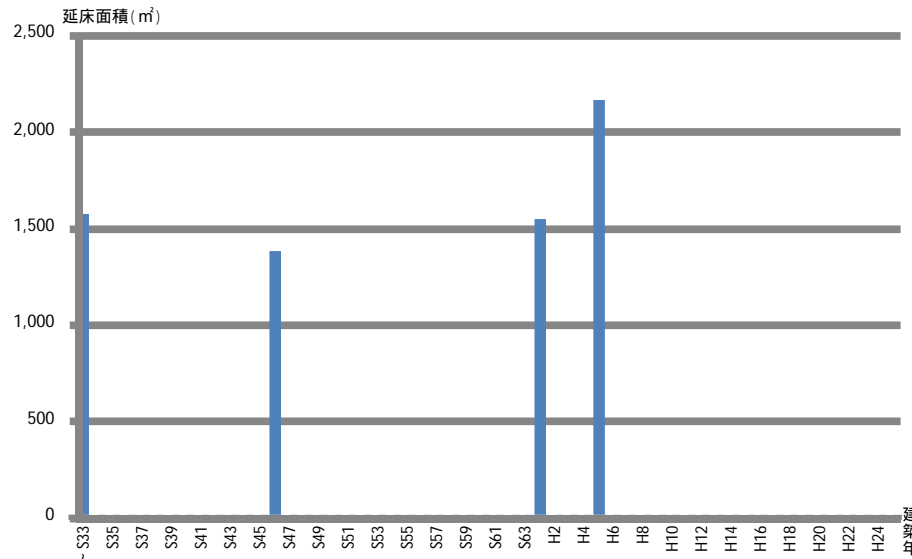
現状の評価

評価対象施設は4、6.6千㎡で面積は全体の0.53% を占めている。そのうち2が旧耐震基準、2が新耐震基準の施設であり、平均築年数は41.5年で平均値の33.4年を大きく上回っており、耐震対応率は50%で、安全面での課題のある施設が半数を占めている。

供給面では、利用率で大庄公民館で約23%と最も低く、武庫公民館は約40%と最も高くなっている。

財務面では、面積あたり市の収支、原価率とも各施設との比較において差が少なくなっている。

延床面積で算出。



		旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[m²]	割合[%]		面積[m²]	割合[%]
ソフト	50以上	1	1,369.54	20.7	1	2,154.36	32.5
	50未満	1	1,560.50	23.6	1	1,537.54	23.2

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
41.5	50.0	3.00

現況分析(公民館)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
958	園田公民館	1,537.54	25.0	55.2	100.0	56.6	2.89	37.8	49.9	32.16	48.7	8.79	56.4	27.28	45.9	93.90	46.5	49.4	
970	武庫公民館	2,154.36	21.0	58.2	100.0	56.6	2.92	37.2	50.7	40.63	60.1	9.14	54.7	21.43	64.5	91.46	62.7	60.5	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
963	大庄公民館	1,560.50	77.0	16.0	0.0	33.6	3.06	34.7	28.1	23.24	36.7	13.33	35.1	26.69	47.7	95.04	38.9	39.6	
966	立花公民館	1,369.54	43.0	41.6	0.0	33.6	3.11	33.7	36.3	36.39	54.4	9.33	53.8	28.53	41.9	93.08	51.9	50.5	

評価指標
 品質: 築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給: 年間利用コマ数
 / 年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務: 収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。

現況分析(体育施設)

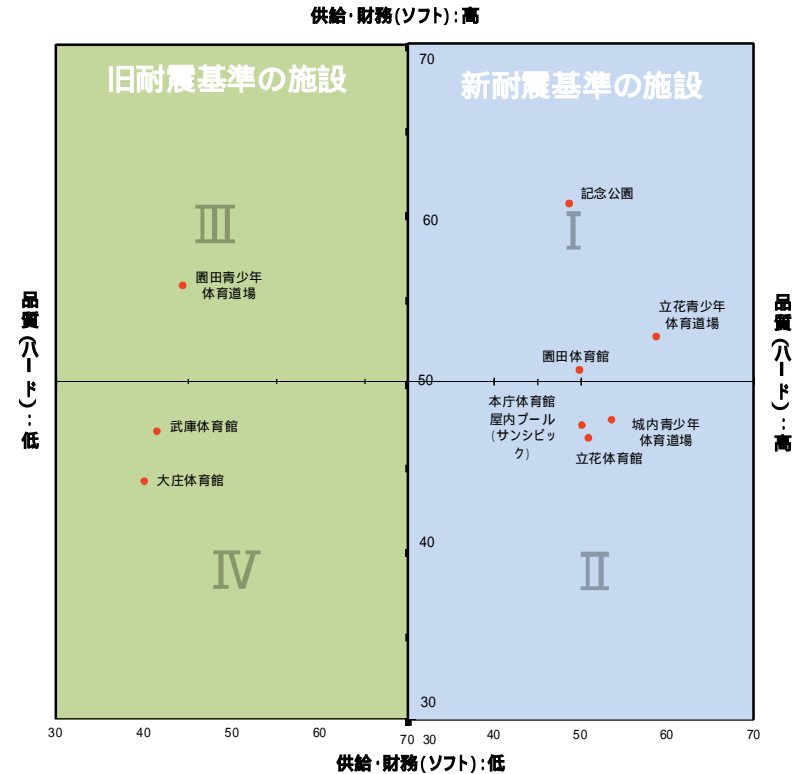
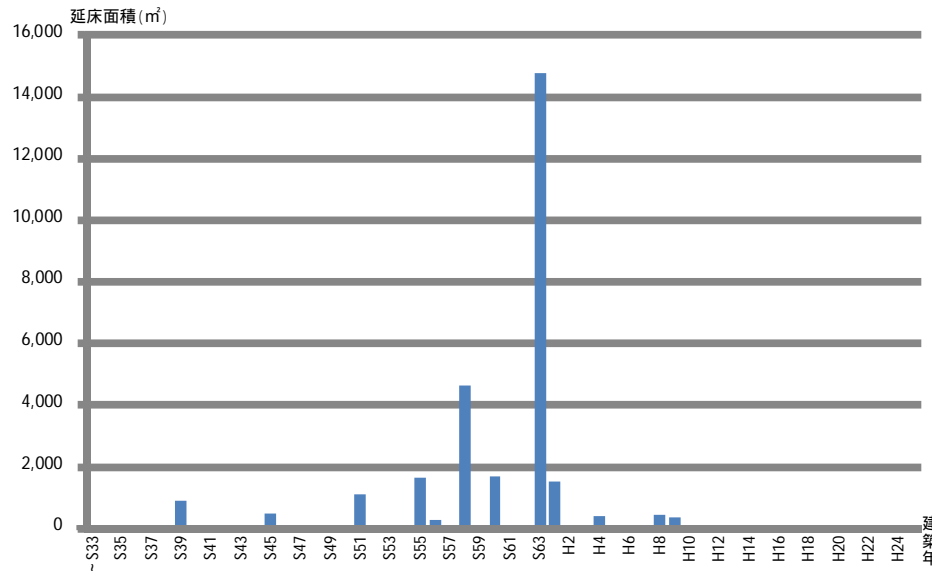
現状の評価

評価対象施設は9、27千㎡で面積は全体の2.18% を占めている。そのうち3が旧耐震基準、6が新耐震基準の施設であり、平均築年数は27.7年で平均値の33.4年を下回っており、耐震対応率は約68%で、安全面での課題のある施設は少ない。

供給面では、利用率で大庄体育館、城内青少年体育道場で約50%と最も低く、園田体育館では90%を越えるところもあるが、他の用途の施設と比較して、総じて高い数値となっている。

財務面では、面積あたり市の収支では3つの青少年体育道場は約2千円/㎡と低く、旧耐震基準の建物で最も高いものは武庫体育館の約20千円/㎡であり総じて低く効率的な運営になっている。原価率では、記念公園が約28%であり最も、収益性の高い施設となっている。

延床面積で算出。



ソフト	築年数	旧耐震			新耐震		
		施設数	延床面積		施設数	延床面積	
			面積[㎡]	割合[%]		面積[㎡]	割合[%]
50以上	1	192.78	0.7	3	17,689.36	65.3	
50未満	2	2,748.34	10.1	3	6,465.16	23.9	

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
27.7	68.3	2.58

現況分析(体育施設)

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
633	記念公園	15,986.47	27.7	53.2	91.8	54.7	2.87	38.1	48.7	-	-	7.44	49.9	3.94	58.6	28.03	73.1	60.5	
2329	本庁体育館屋内プール(サンシビック)	4,522.03	31.0	50.7	100.0	56.6	2.61	42.9	50.1	78.04	55.8	18.04	25.0	12.13	50.0	61.65	58.8	47.4	
2332	立花体育館	1,595.33	29.0	52.2	100.0	56.6	2.56	43.8	50.9	65.56	47.8	6.23	52.7	22.51	39.1	89.71	47.0	46.7	
2334	園田体育館	1,437.93	25.0	55.2	100.0	56.6	2.89	37.8	49.9	90.23	63.6	5.59	54.2	23.64	37.9	89.48	47.1	50.7	
1045	立花青少年体育道場	264.96	17.0	61.2	100.0	56.6	1.76	58.3	58.7	68.77	49.9	4.07	57.8	2.21	60.4	100.00	42.6	52.7	
1049	城内青少年体育道場	347.80	18.0	60.5	100.0	56.6	2.56	43.8	53.6	50.08	38.0	7.41	50.0	2.11	60.5	100.00	42.6	47.8	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		利用率(%)	偏差値	利用者一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
2331	大庄体育館	1,432.15	34.0	48.4	0.0	33.6	2.88	38.1	40.0	49.43	37.6	8.28	47.9	19.06	42.7	86.53	48.3	44.1	
2333	武庫体育館	1,316.19	34.4	48.1	22.6	38.8	2.92	37.3	41.4	61.10	45.0	5.40	54.7	20.96	40.7	87.47	47.9	47.1	
1046	園田青少年体育道場	192.78	33.0	49.2	0.0	33.6	2.20	50.4	44.4	88.22	62.3	4.07	57.8	2.55	60.1	100.00	42.6	55.7	

評価指標
 品質：築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給：年間利用コマ数
 /年間利用可能コマ数
 延床面積 / 1日利用者数
 財務：収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。